Canon

レーザビームプリンタ

LASER SHOT LBP-1610

ユーザーズガイド

最初にお読みください。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

マニュアルの構成について

キヤノンLASER SHOT LBP-1610をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本プリンタには、次のようなマニュアルが用意されています。目的に応じてマニュアルをお読みいただき、本プリンタを十分にご活用ください。また、マニュアルはお読みいただいた後も、大切に保管しておいてください。

本体添付のマニュアル

- プリンタを設置したい
- プリンタの操作方法を知りたい
- 困ったときには

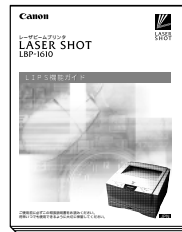
→ **ユーザーズガイド**（本書）

- プリンタドライバをインストールしたい
- 印刷したい
- 添付ソフトウェアの使いかたを知りたい

→ **LIPSソフトウェアガイド**

- より詳しく知りたい

→ **LIPS機能ガイド**

操作パネルによるメニュー機能の使いかたなどを解説しています。プリンタが持つ機能に関するリファレンス的なマニュアルです。

その他のマニュアル

*別売のマニュアルやオプション品のお求めについては販売店にご相談ください。

プログラマーズマニュアル（別売）

LIPS対応のプリンタドライバや印刷設定プログラムなどを作成するための、プログラマー用のマニュアルです。

オプション品のマニュアル

各オプション品の設置のしかたや使いかたを説明しています。

●本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
●本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

ユーザーズガイドの使いかた

第1章　設置前の準備　必ずお読みください　1

本プリンタを設置する前に必要な準備や、設置時の注意事項を説明しています。

第2章　設置のしかた　必ずお読みください　2

本プリンタをパッケージから取り出し、使えるようにするまでの手順を説明しています。

第3章　プリンタの使いかた　必ずお読みください　3

本プリンタを使用する際の日常操作や、プリンタ機能の設定方法について説明しています。

第4章　給紙・排紙のしかた　必ずお読みください　4

使用できる用紙や給紙のしかた、給紙/排紙の選択操作について説明しています。

第5章　プリンタのメンテナンス　必要に応じてお読みください　5

トナーカートリッジの交換など日常のメンテナンスについて説明しています。

第6章　困ったときには　必要に応じてお読みください　6

紙づまりが起こったときなどトラブルが起こったときの対処方法について説明しています。

付　録　必要に応じてお読みください　付録

オプション品の紹介や、仕様、用語集、索引をまとめています。

目次

第 1 章　設置前の準備

第 2 章　設置のしかた

第 3 章　プリンタの使いかた

第 4 章　給紙・排紙のしかた

第 5 章　プリンタのメンテナンス

第 6 章　困ったときには

付 録

LASER SHOT LBP-1610の特長

高速プリント

16.3ppm（A4時）の高速エンジンに高性能RISCプロセッサPowerPCとスーパー・レーザショット・チップで構成された新開発の高速コントローラを搭載して超高速処理を実現しました。ウォームアップ0秒（電源投入時は9秒以下）のクイックスタートやメモリ効率化機能「MaxiMem」、TrueTypeフォントを高速出力する「TypeWing」機能の強化により、コピーモードのみならずファーストプリントや複数ページ印刷も印字速度が向上し、快適な高速プリントを可能にしました。

超高精細画質

印字機構に1200dpiエンジンを搭載し、文字はもちろん写真データやグラデーションの印刷において超高精細画質を可能にしました。また、LIPS IVもデータ解像度1200dpi処理に対応することで「スーパーファインモード」を実現し、鮮明な画質の表現力を高めました。
さらに、より豊かな階調表現を可能にした「高階調モード」を新たに搭載。高画質プリントと超高速プリントの両立を可能にしました。

エコロジー

「資源エネルギー庁長官賞」受賞経験のある低消費電力を実現したオンデマンド定着方式を採用。オフィス機器における省エネルギー化推進のための国際的なプログラムである「国際エネルギースタープログラム」の基準に適合しています。さらにスタンバイ時の消費電力を抑える「パネルオフモード」機能を搭載することで、低消費電力化を追求しています。また、トナーの使用量を約半分*に抑えて印刷するトナー節約モードやオプションの両面ユニットによる両面印刷で用紙の節約等の機能を備える優れたエコロジープリンタです。

＊注 データによって異なります。

豊富なネットワーク機能

拡張インタフェースに各種オプションのネットワーク拡張ボードを装着することによって多様なホスト／OS環境に対応するネットワークプリンタとなります。また、高速DMA転送（プリンタのメモリに直接データを送る）や自動インタフェース切り替え、自動エミュレーション切り替え機能によって、ネットワーク環境下での快適なプリンティングが行えます。また、オプションのネットワークボードには、ブラウザを使ってネットワークボードの設定が変更できるHTTPサーバを内蔵しており、ネットワークボードの管理をネットワーク上のパソコンから行えます。

＊注 これらの機能はプリントサーバNB-4F装着時に使用可能です。

多彩なペーパーハンドリング

標準の給紙トレイとユニバーサルカセットに加え、オプションで250枚ペーパーフィーダと500枚ペーパーフィーダを用意。最大1100枚、4種類の用紙サイズの連続自動給紙を可能にしました。また、給紙トレイは、用紙サイズもハガキから最大A3フルブリード用紙にまで対応しており、多様な用途に応じた使い方を可能にしています。さらに、オプションの両面ユニットを装着することで、給紙トレイ（定形用紙サイズ）や給紙カセットにセットした用紙を自動両面印刷できます。

ユーザフレンドリー

USBインタフェースを標準装備し、WindowsのみでなくMac OSにも対応可能となった簡単操作が自慢の LIPS IV ドライバを用意しました。
印刷したい設定を「お気に入り」メニューから選択し、簡単に最適な設定でプリントを行えます。また、複数ページ印刷機能、製本作業を容易にした「仕上げ」等の便利なプリント機能を使用できます。
さらに、パソコン上でローカルおよびネットワークに接続されたプリンタの設定や管理を行うプリンタ管理ユーティリティ「NetSpot Suite」を提供します。プリンタの使用状況や出力総量の集計・分析が可能な「NetSpot Accountant」（有償）やプリンタの状態や印刷状態、自分の印刷が終わったかどうかをパソコン画面に知らせてくれる印刷終了通知等の機能を持った印刷ユーティリティソフトウェアの「NetSpot Job Monitor」等を同梱しています。

TrueType フォント「FontGallery」同梱

キヤノンの TrueType フォントでお馴染みの「FontGallery」を同梱しました。
Windows のみでなく Mac OS にも対応可能となり、幅広いビジネスをサポートします。
和文 20 書体、かな 28 書体、欧文 100 書体を標準で CD-ROM に収録しています。プリンタ内蔵の「平成明朝体 W3」「平成角ゴシック体 W5」 フォントと組み合わせてお使いいただくことで、WYSIWYG 環境を実現できます。
また、かなフォント組み替えユーティリティ「FontComposer」により、FontGalleryの各種TrueTypeフォントのかな部分（ひらがな、カタカナ、記号文字等）との組み替えが簡単に行え、より豊かな文章表現が可能です。

● 同梱のプリンタドライバや各種ユーティリティソフトウェアの対応 OS につきましては、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本書の読みかた

■マークについて

本書では、安全にお使いいただくために絶対にしないでいただきたいことや注意していただきたいこと、参考にしていただきたいことに、次のようなマークを付けています。これらのマークの説明は必ずお読みください。

警告

● 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意

●取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

お願い

● 操作上必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。

メモ

● 操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

■キーの表記について

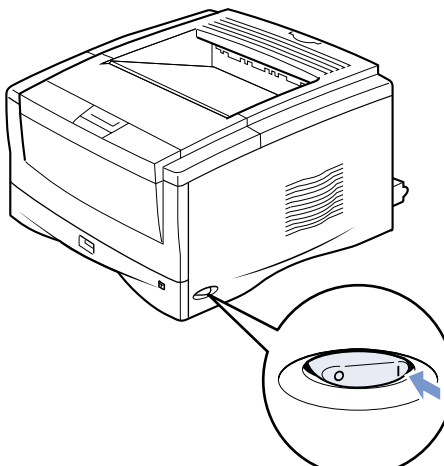
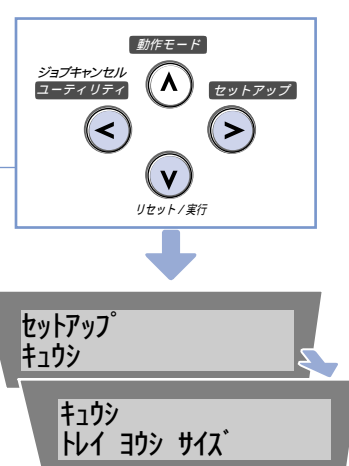
本書の説明文中で、操作パネルのキーを表すときは、キーの名称を（　　　）の枠で囲んでいます。
例）（オンライン）: 操作パネルの「オンライン」キーを表しています。

■イラスト内のキーやランプ表示について

本書の説明文中に使用している操作パネルのイラストで、ランプの状態は次のように表しています。

■略称について

本書では、Microsoft® Windows® を Windows と記述しています。
LASER SHOT LBP-1610 を LBP-1610 と記述しています。
キヤノンレーザショット内蔵型プリントサーバNB-4Fをプリントサーバ NB-4Fと記述しています。

■操作手順について

本書の説明で、手順通りに操作していただきたいところには番号を表示しています。
必ず番号順に操作をしてください。
手順番号に続いて、具体的な操作方法や操作の結果を説明しています。

■ディスプレイの表示について

操作の説明で、ディスプレイの表示と連動するところには、ディスプレイの画面例を表示しています。

3

＜または＞キーで「キュウシ」を表示し、
∨キーを押します。

動作モード
ジョブキャンセル
ユーティリティ
セットアップ
リセット／実行

セットアップ
キュウシ →

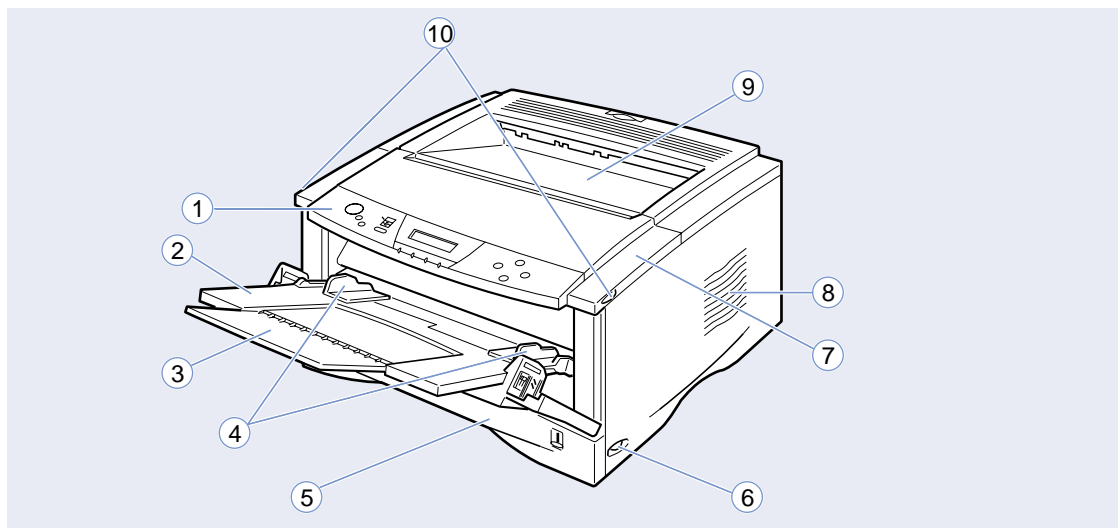
キュウシ
トレイ ヨウシ サイズ →

操作キーのイラスト
ブルーになっているキーを使う

ディスプレイの画面例：操作例→操作結果

各部の名称と機能

本プリンタは、いろいろな機能を持つ部品で構成されています。本プリンタを正しく使用し、機能を十分に活用していただくために、各部の名称と機能を覚えてください。

■本体前面

①操作パネル

プリンタの動作や状態を表示したり、機能の設定をします。**(→ P.14)**

②給紙トレイ

用紙を給紙トレイから給紙するときに、ここを開いて用紙をセットします。**(→ P.94)**

③補助トレイ

B4やA3サイズ、またはA4サイズなどの用紙を縦置きにセットするときに、用紙が垂れ下がらないように引き出します。**(→ P.94)**

④用紙ガイド

セットした用紙の両側面を固定するためのガイドです。積載制限マークが付いており、このマークまで用紙をセットできます。

⑤給紙カセット

普通紙で最大250枚までの用紙をセットします。A5からA3までの用紙をセットできます。
(→ P.37)

⑥電源スイッチ

プリンタの電源をオン/オフします。
(→ P.60, 61)

⑦上カバー

内部にトナーカートリッジがセットされています。トナーカートリッジの交換や紙づまりを除去するときにここを開けて作業します。
(→ P.111, 137)

⑧排気口

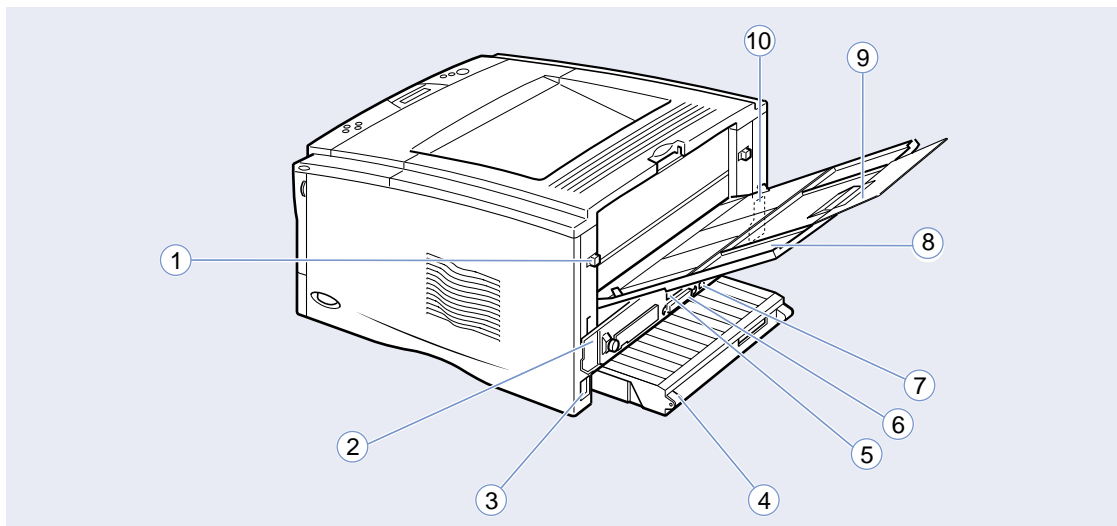
本体内部冷却用ファンの排気口です。ここを塞がないように設置してください。

⑨フェースダウン排紙トレイ

プリントされた用紙が下向き(フェースダウン)で排紙されます。**(→ P.90)**

⑩上カバー開閉ラッチ

上カバーのロックを解除します。両側を同時に手前へ引くと、上カバーが開きます。**(→ P.111, 137)**

■本体背面

①後カバー
紙づまりを除去するときにここを開きます。**(→ P.137)**

②アース線端子
アースを接続するときに、付属のアース線をここに接続します。**(→ P.51)**

③電源コード差し込み口
電源を取るときに、付属の電源コードをここに接続します。**(→ P.52)**

④給紙カセット後部
給紙カセットの後部です。絶対にここを持ってプリンタを持ち上げたりしないでください。

⑤拡張ボードスロット
プリントサーバなどのオプション拡張ボードをここへ取り付けます。**(→ P.194)**

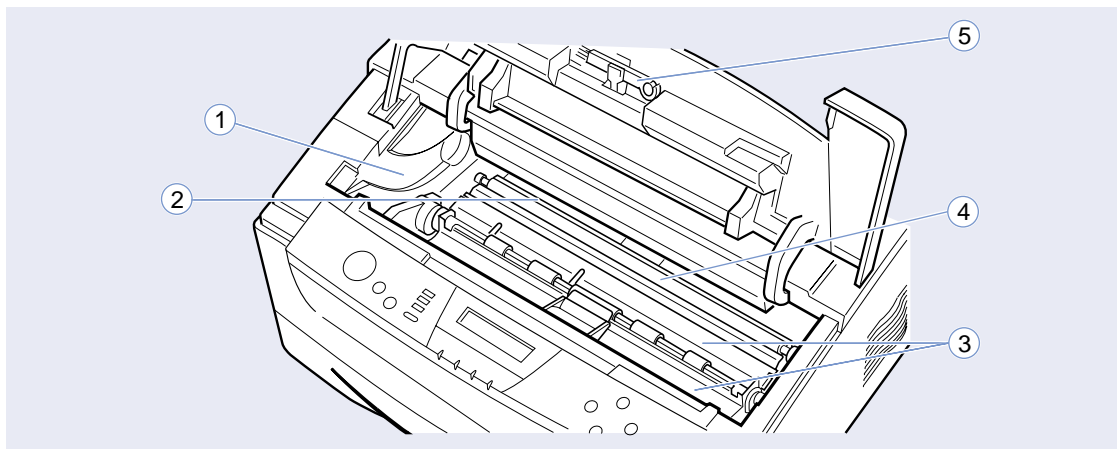
⑥パラレルコネクタ
セントロニクス準拠の８ビットパラレルインタフェースケーブルの接続部です。コンピュータのプリンタポートがパラレルインタフェースに対応しているときに、ここへ接続します。**(→ P.43, 44, 47)**

⑦USB コネクタ
コンピュータがUSBインタフェースに対応しているときに、ここへ接続します。**(→ P.43,45)**

⑧フェースアップ排紙トレイ
プリント面を上向き（フェースアップ）で排紙するときにこのトレイを開きます。**(→ P.90)**

⑨補助トレイ
B4やA3などの大きな用紙サイズを排紙するときは、補助トレイを引き出します。**(→ P.91)**

⑩定格銘板ラベル
プリンタ識別のためのシリアルナンバー（Serial No.）が記載されています。サービスや修理を受けるときに必要になります。明示されている電流値（5.3A）は、平均消費電流です。**(→ P.24)**

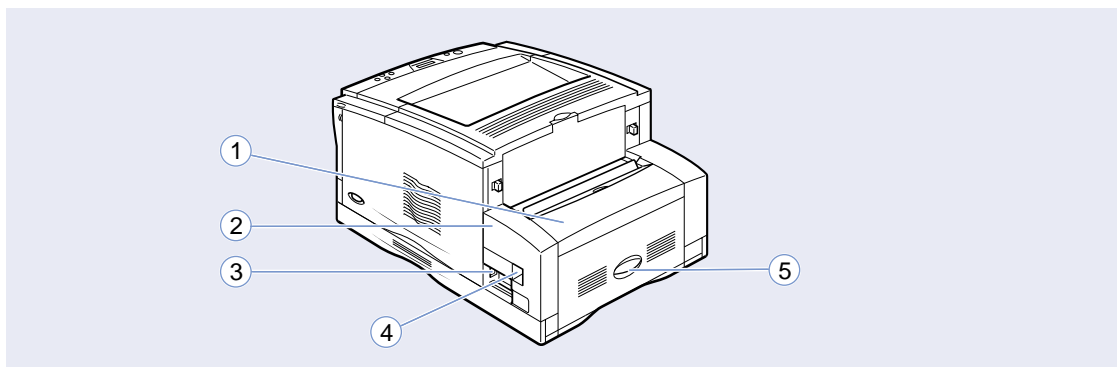
■上カバー内部

①トナーカートリッジガイド
トナーカートリッジをセットするとき、両端の突起をこのガイドに合わせて押し込みます。

②除電ユニット
プリント時に用紙の帯電を取り除く重要な部品です。(→ P.115)

③搬送ガイド
紙づまりを除去するときにここを開きます。(→ P.142)

④転写ローラ
印刷時にトナーを用紙に転写させる重要な部品です。印字品質が低下しますので、転写ローラは絶対に手で触ったり、拭いたりしないでください。

⑤除電針清掃ブラシ
除電ユニットが汚れたときにこのブラシで清掃します。(→ P.115)

■両面ユニット（オプション）

①両面ユニット上カバー
紙づまりを除去するときにここを開きます。(→ P.147)

②後部ユニット

③電源コード用開口部

④インタフェースケーブル用開口部

⑤後部ユニット開閉取っ手
インタフェースケーブルを接続したり、紙づまりを除去したりするときに、この取っ手を持って、後部ユニットを引き出します。

操作パネルの名称と機能

本体前面上部の操作パネルには、左側に3つの操作キーと給紙選択キーおよび給紙元表示ランプ、中央にディスプレイと3つの表示ランプ、右側に4つの操作キーがあります。これらの表示ランプ、操作キー、ディスプレイは、それぞれ次のような働きをします。

① オンライン キー／オンラインランプ

パソコンとの接続をオン（オンライン）／オフ（オフライン）します。
他の操作キーの機能を使うときには、このキーを押して、オフラインにします。
また、エラーが発生してプリンタが停止したときに、そのエラーを一時的に解除してプリントを続行させる機能も持っています。
キー内部にオンラインランプがあり、点灯により次の状態を表示します。

点灯：	オンライン状態（パソコンからプリントデータを受信できる状態）
点滅：	オンラインからオフラインへ切り替え途中の状態。自己診断中。ウォーミングアップ中。
消灯：	オフライン状態（パソコンからのプリントデータを受信せず、操作パネルのキー操作を受け付ける状態）

お願い

- **●エラーによっては、このキーを押しても解除できないことがあります。**
- **●プリンタがパネルオフモードに移行しているときには、オンラインの状態になっていてもオンラインランプは消灯し、印刷可ランプのみ点灯します。****（→ P.63）**

② 排出 キー

オフライン時：	プリンタのメモリに残っているプリントデータを強制的にプリントし、ジョブを終了させます。メモリのデータを強制的にプリントしているときは、「05 ハイシチュウ」とディスプレイに表示されます。
オンライン時：	オンラインの状態では動作しません。

何らかの原因でプリントデータが途中で途切れたり、プリントが中断したような場合、ジョブランプが点灯したままプリンタが停止してしまうことがあります。このようなときに 排出 キーでメモリに残っているデータを強制的にプリントします。メモリにデータが残っていない場合は、実行中のジョブを終了します（ジョブランプ消灯）。**（→ P.151）**

③ 両面 キー／両面ランプ

オフライン時：　両面プリントと片面プリントを切り替えます。
オンライン時：　オンラインの状態では動作しません。
メニュー操作時：メニュー操作中は動作しません。
キー内部に両面ランプがあり、点滅により次の状態を表示します。
点灯：　両面プリントに設定されている状態。
消灯：　片面プリントに設定されている状態。

メモ

● オプションの両面ユニットが装着されていない場合は、両面キーを押しても両面ランプは点灯しません。

④ 給紙選択 キー

オフライン時：　給紙選択メニューを表示します。
オンライン時：　オンラインの状態では動作しません。
給紙選択メニュー時：給紙元、トレイ用紙サイズの設定が順に切り替わります。
給紙選択メニューが表示されている状態で、ユーティリティ（<）キーまたはセットアップ（>）キーを押すことで、設定項目が切り替わります。
給紙元の設定値：　自動→カセット１→カセット２（オプション取付時）→カセット３（オプション取付時）→トレイ
トレイ用紙サイズの設定値：
A4→A4R→B4→A3→LT→LTR→LG→LD→EX→EXR→フリー→ユーザペーパー→ハガキ→往復ハガキ→封筒 Y4→B6→A5→A5R→B5→B5R
選択されている設定値は、リセット／実行（∨）キーまたはオンライン キー を押すと変更されます。
給紙元の設定値は、給紙元表示ランプおよびディスプレイで確認することができます。また、トレイ用紙サイズは、ディスプレイで確認することができます。

メモ

● 給紙元の選択は、給紙選択キーを押すことでも切り替え可能です。オンラインキーを押すと、給紙元が変更されます。

⑤給紙元表示ランプ（緑色）

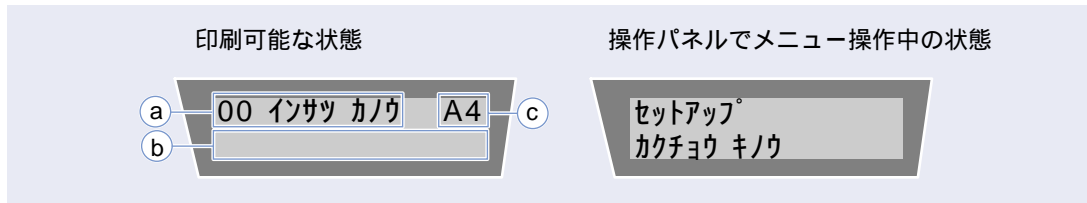
点灯：　現在選択されている給紙元のランプが点灯します。
点滅：　現在選択されている給紙元の用紙がない、またはカセットが装着されていない状態。
消灯：　現在選択されていない状態。オプションを含むカセットが装着されていない状態。

⑥ディスプレイ

プリンタの状態やメッセージ、メニュー機能の設定項目や設定値を表示します。

■印刷可能な状態

■操作パネルでメニュー操作中の状態

ｾｯﾄｱｯﾌﾟ
ｶｸﾁｮｳ ｷﾉｳ →

ⓐ プリンタの状態や動作モードを表示します。
ⓑ 警告メッセージや処理メッセージを表示します。
ⓒ 現在選択されている給紙元を用紙サイズまたは略号で表示します。次の用紙は略号で表示されます。（A5 縦：A5R、B5 縦：B5R、A4 縦：A4R、レター：LT、レター縦：LTR、リーガル：LG、レジャー：LD、エグゼクティブ：EX、エグゼクティブ縦：EXR、フリー：FR、ハガキ：HG、往復ハガキ：HG2 または H2、洋形 4 号封筒：Y4、ユーザペーパー：80 ～ 99）

⑦印刷可ランプ（緑色）

点灯：　プリント可能な状態。
点滅：　自己診断中または、ウォーミングアップ中。
消灯：　プリントできない状態。

メモ

● オンラインでパネルオフモードに入った場合は、印刷可ランプ（緑）のみ点灯し、その他のランプは全て消灯します。

⑧メッセージランプ（オレンジ色）

点灯：　プリンタに何かトラブルが起こってプリントできない状態。
消灯：　プリンタが正常な状態。

メモ

● オフラインでパネルオフモードに入った場合は、メッセージランプ（オレンジ）のみ点灯し、その他のランプは全て消灯します。

⑨ジョブランプ（緑色）

点灯：　プリントデータ受信中または、プリンタのメモリにプリントデータが残っている状態。
点滅：　プリントデータを処理している状態。
消灯：　プリンタのメモリにプリントデータが何もない状態。

⑩ ユーティリティ／ジョブキャンセル （<）キー

オフライン：　ジョブランプ点灯または点滅時はジョブキャンセルを行います。**（→ P.153）**
ジョブランプ消灯時はユーティリティメニューを表示します。**（→ P.54）**
オンライン：　オンラインの状態では動作しません。
メニュー：　メニューの左側の項目を表示します。

⑪ リセット／実行 （∨）キー

オフライン：　１秒以上押し続けると、ソフトリセットを行います。**（→ P.155）**
　５秒以上押し続けると、ハードリセットを行います。**（→ P.157）**

オンライン：　オンラインの状態では動作しません。

メニュー：　選択中の項目を実行、または選択項目のメニュー（下の階層）へ進みます。

●パソコン側でプリントをキャンセルしたときは、操作パネルでソフトリセットの操作を行い、プリンタのメモリに残っている不要なデータを消去してください。

⑫ セットアップ （>）キー

オフライン：　セットアップメニューを表示します。**（→ P.68）**

オンライン：　オンラインの状態では動作しません。

メニュー：　メニューの右側の項目を表示します。

⑬ 動作モード （∧）キー

オフライン：　動作モードメニューを表示します。
　3 秒以上押し続けると優先エミュレーションメニューを表示します。

オンライン：　オンラインの状態では動作しません。

メニュー：　ひとつ前のメニュー（上の階層）へ戻します。

第 1 章

設置前の準備

設置場所を決める

本プリンタを安全かつ快適にご使用いただくために、十分なスペースが確保でき、風通しがよく平坦で水平な、プリンタ重量に耐えられる十分な強度のある場所を選んで設置してください。

●本プリンタを設置する前に付属の「⚠安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
●本プリンタ及びオプションの重量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）に設置することはお避けください。

設置場所の環境について

本プリンタの設置場所は、次の環境条件を考慮の上、お選びください。

■電源

本プリンタの最大消費電力は715W* 以下（AC100V ± 10%,50/60Hz ± 2Hz）です。
電気的なノイズや許容範囲を超える電源電圧の降下は、本プリンタだけでなく、パソコン本体の誤作動やデータ消失の原因となることがあります。電源を取るときは、次のような点にご注意ください。

・必ず15A以上の電源コンセントから、プリンタの電源をお取りください。
・一つの電源コンセントを本プリンタ専用にしてください。同一電源コンセント上の他の差し込み口は、使用しないでください。
・パソコン本体の補助電源コンセントから電源を取らないでください。
・複写機やエアコン、シュレッダーなど、消費電力の大きな機器や電気的ノイズを発生する機器と同じ電源コンセントから電源を取らないでください。

お使いの電源について不明な場合は、ご契約の電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。
*** 注　フルオプション装着時／起動時の瞬間的なピークを除いた値です。**

警告

●感電防止のため、必ずアース線を専用のアースに接続してください。なお、アース線は絶対にガス管や水道管、電話線のアース、避雷針などには接続しないでください。感電の原因になります。

■温度湿度

・温度、湿度が以下の範囲内の場所でご使用ください。
　周囲温度：10 ～ 32.5℃
　周囲湿度：20 ～ 80%RH（結露のないこと）
・本プリンタのある部屋を急激に暖めた場合や、本プリンタを温度や湿度の低いところから高いところへ移動した場合、プリンタ内部に水滴が生じる（結露現象）ことがあります。このような場合、本プリンタを周囲の温度や湿度に慣らすために、2 時間以上放置してからご使用ください。
・プリンタ内部に水滴が生じると、用紙の搬送に不具合が起こり、紙づまりの原因となったり、プリント不良となることがあります。また、「5F-nn　サービス　コール」というメッセージ**（→ P.167）**が表示され、プリント処理が停止してしまうことがあります。

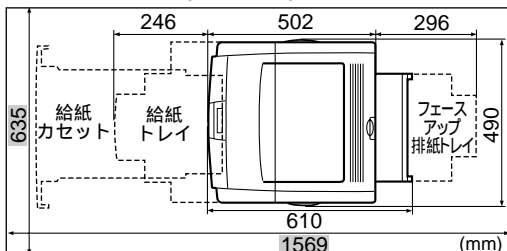
超音波加湿器をご使用のお客様へ
超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をお勧めします。

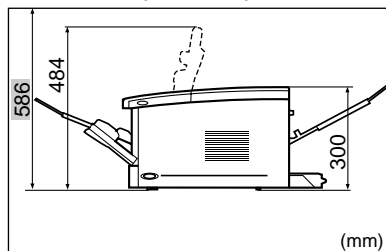
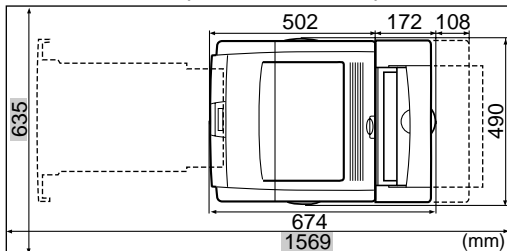
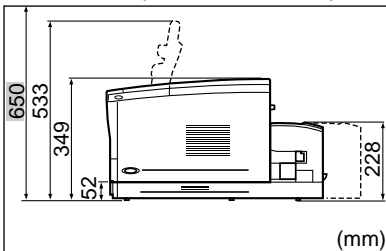
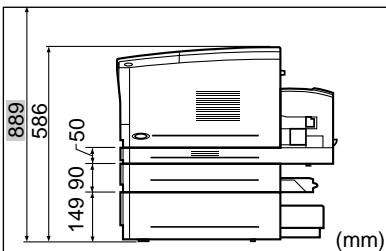
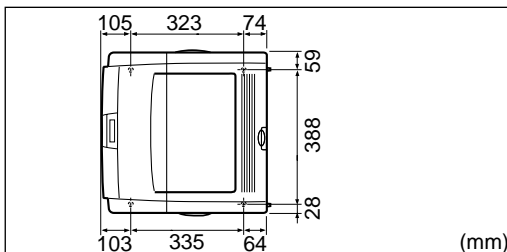
■設置環境

本プリンタは次のような場所に設置しないでください。思わぬ火災や故障の原因となることがあります。

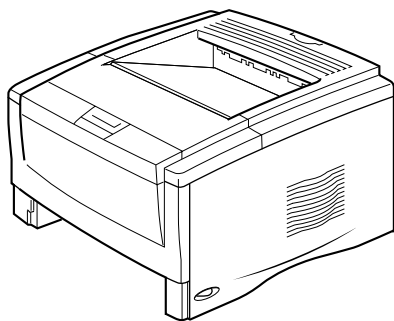
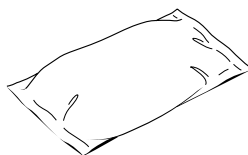
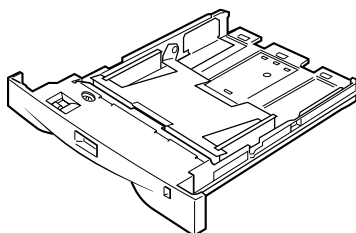
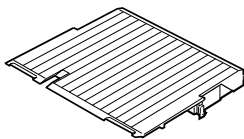
- **直射日光が当たる場所や高温な場所**
- **急激な温度変化や湿度変化がある場所**
- **風通しの悪い場所**
- **火気や水気のある場所**
- **振動がある場所**
- **ほこりが多い場所**
- **磁気や電磁波を発生する機器の近く**
- **実験室など、化学反応を起こすような場所**
- **空気が塩分や、毒性のガスを含んでいるような**場所

設置スペース

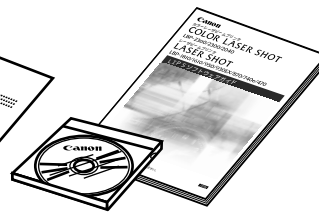
本プリンタの周囲には、次のような空間を確保し、本プリンタの質量に耐えられる場所を選んでください。各部の寸法、および周囲に必要な寸法、足の位置は次のようになっています。

周囲に必要な寸法（標準仕様）

横から見た図（標準仕様）

周囲に必要な寸法（両面ユニット仕様）

横から見た図（両面ユニット仕様）

横から見た図（250+500給紙カセット＆両面ユニット仕様）

足の位置

●ゴム足の高さは 5mm、先端の直径は 11mm です。

パッケージの内容を確認する

プリンタを設置する前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているかを確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合には、お買い上げの販売店までご連絡ください。

本体　**トナーカートリッジ**　**電源コード**

250 枚給紙カセット前部　**250 枚給紙カセットカバー**　**アース線**

マニュアルガイド

ユーザーズガイド（本書）
LIPS機能ガイド
⚠ 安全にお使いいただくために

ユーザソフトウェアセット
- **ユーザソフトウェアCD-ROM**
  - **ユーティリティソフト**
  - **プリンタドライバ**
- **LIPSソフトウェアガイド**

保証登録書／封筒セット

メモ

●本プリンタにはインタフェースケーブルは付属されていません。お使いのパソコン、または接続方法に合わせてご用意ください。

シリアルナンバーの表示位置について

本プリンタの保守やサービスをお受けになるときは、シリアルナンバー（Serial No.）が必要になります。本プリンタのシリアルナンバーは、下図の位置に表示されています。

お願い

●シリアルナンバーが書かれたラベルは、サービスや保守の際の確認に必要です。絶対にはがさないでください。

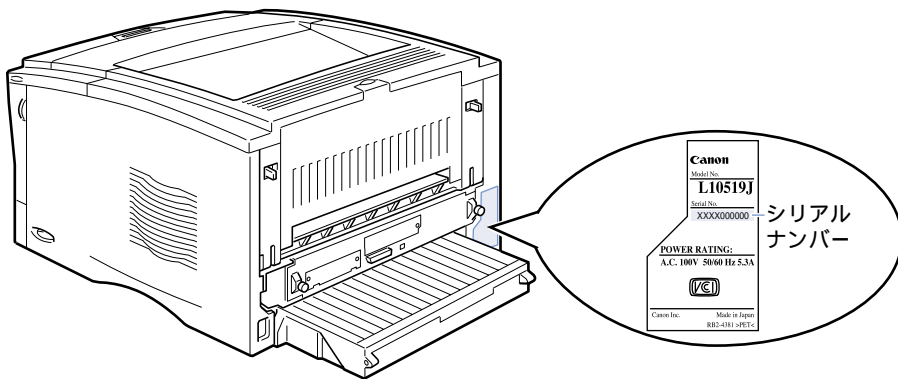
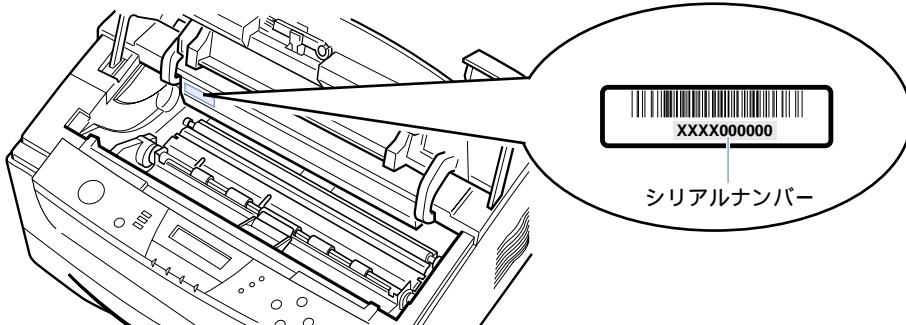
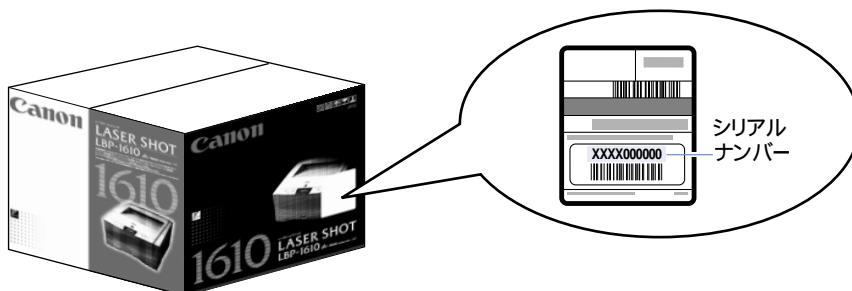
●本体背面

Canon
Model No.
L10519J
Serial No.
XXXX000000
シリアルナンバー
POWER RATING:
A.C. 100V 50/60 Hz 5.3A
Canon Inc.
Made in Japan
RB2-4381 >PET<

●上カバー内部

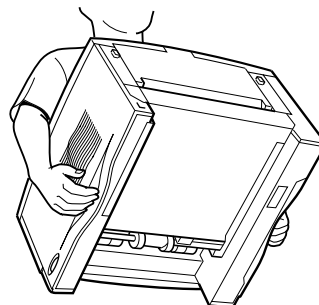
XXXX000000
シリアルナンバー

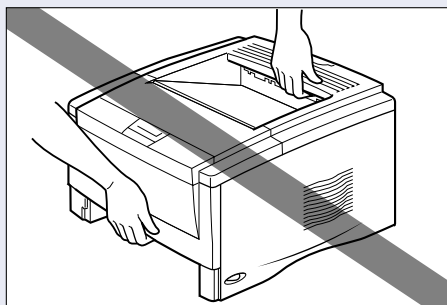
●パッケージ側面

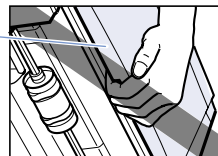
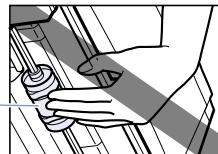
XXXX000000
シリアルナンバー

正しい持ち運びかた

本プリンタを初めて使用するときは、梱包材の取り外しやトナーカートリッジのセット、用紙のセットなどの作業が必要です。本プリンタを正しく持ち、作業しやすい場所へ移動してから作業を行ってください。梱包材を取り外す時は、第2章「梱包材を取り外す」**(→ P.28)**を参照してください。

1

給紙カセットを抜き取り､図のように本体の左右に手を掛け、しっかりと抱えて持ち運びます。

注意

● **本体を破損したり、落としたりしてけがをする危険性がありますので、給紙トレイの取っ手や排紙トレイの隙間には、絶対に手を掛けないでください。**

お願い

- 必ず給紙カセットを抜き取り、給紙トレイや上カバー、後カバー、フェースアップ排紙トレイが閉じていることを確認してから持ち運んでください。
- 給紙トレイには絶対に手を掛けないでください。給紙トレイが破損することがあります。

- 給紙ローラには絶対に手を触れないでください。給紙不良の原因となることがあります。

- 本プリンタは、本体のみで約23kg あります。十分に注意して持ち運んでください。（250枚給紙カセットは約2.5kg、トナーカートリッジは約1.9kg、オプションの両面ユニットは約10.4kg、250枚ペーパーフィーダは約7.2kg、500枚ペーパーフィーダは約11.4kg です。）
- 装備しているオプションは、すべて取り外して持ち運んでください。

メモ

- オプションの250枚ペーパーフィーダ、500枚ペーパーフィーダ、両面ユニットにも、同様の取っ手が左右に付いています。これらのオプションを持ち運ぶときは、両手で左右の取っ手を持ち、1つずつ運んでください。
- オプションの取り扱いに関しては、付録「オプションについて」（P.180）をご覧ください。

第 2 章

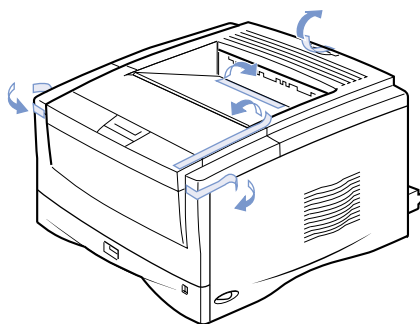
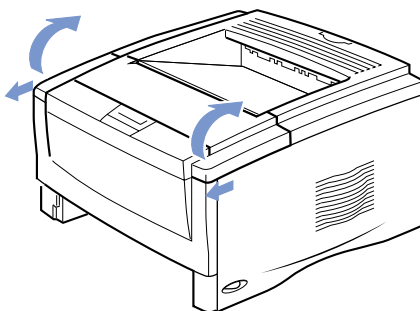
設置のしかた

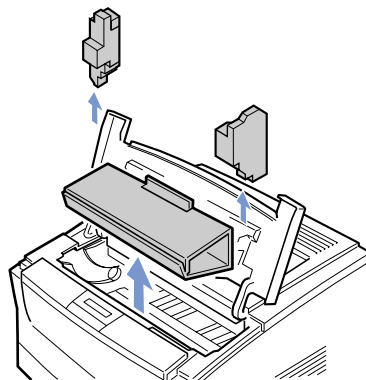
梱包材を取り外す

本プリンタには、輸送時の振動や衝撃から装置を保護するために、テープや梱包材が取り付けられています。必ず梱包材を取り外してからご使用ください。
また、本プリンタの運搬や修理の際には、梱包材が必要になりますので、大切に保管しておいてください。

1

給紙トレイやフェースアップ排紙トレイを止めているテープを取り外します。

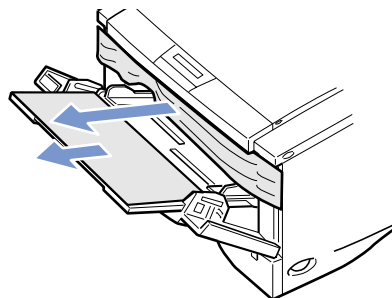
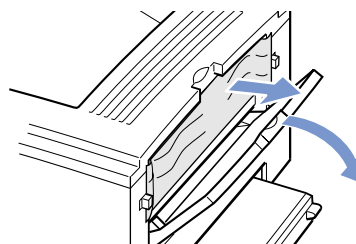
2

上カバー両側面の上カバー開閉ラッチを前側へ引いて、上カバーを開きます。

3

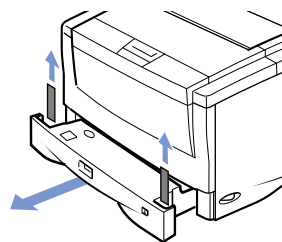
上カバー内の梱包材を取り外します。

お願い

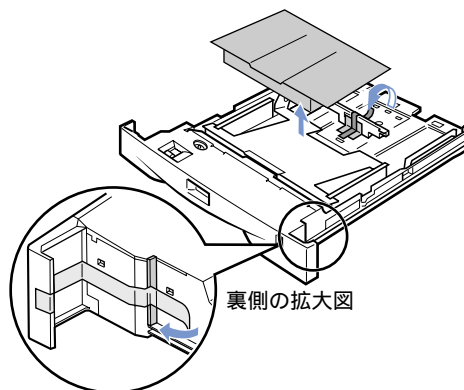
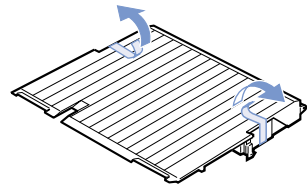
●転写ローラには、絶対に手を触れないでください。印字品質が低下することがあります。

4

給紙トレイを開き、中の梱包材を取り外します。

5

フェースアップ排紙トレイを開き､中の梱包材を取り外します。

6

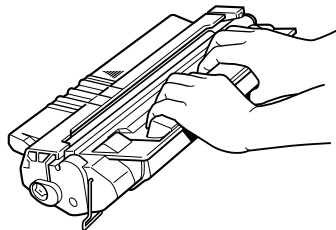
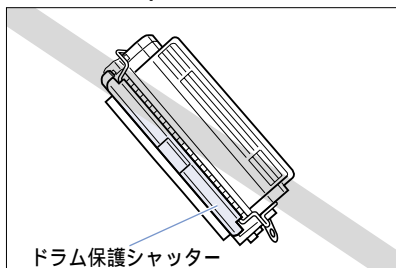
給紙カセットをプリンタ本体から取り外します。

7

給紙カセットのテープや梱包材をすべて取り外します。

カセットカバーのテープを取り外します。

上カバー、給紙トレイ、フェースアップ排紙トレイを閉じます。

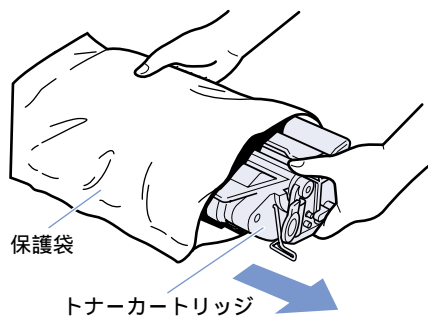
トナーカートリッジをセットする

トナーカートリッジは、次の手順で保護材を取り外してからセットします。
トナーカートリッジは精密な機構の部品で構成されており、磁気や光に対して非常に敏感です。取り扱いを誤ると、内部の感光ドラムが劣化し、印字品質が低下します。
トナーカートリッジを取り扱う際には、次の点に注意してください。

お願い

- 必ず本プリンタに付属、または専用のトナーカートリッジを使用してください。
- トナーカートリッジを取り扱う際は、図のように正しい持ちかたで持ち、必ず矢印のついている面を上にして取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。
- ドラム保護シャッターなど、指定以外の部分に触れないように注意して取り扱ってください。故障の原因になることがあります。

- 絶対にドラム保護シャッターを開けないでください。感光ドラムの品質が劣化します。
- 絶対に直射日光や強い光に当てないでください。
- 本体にセットするまでは保護袋から出さないでください。本体から取り外したときは、すみやかに厚い布で包むか、トナーカートリッジが入っていた保護袋に入れてください。
- トナーカートリッジは磁気製品です。ディスプレイやコンピュータ本体など、磁気を発生する装置に近付けないでください。
- フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気を嫌う製品には近づけないでください。データ破損などの原因になることがあります。

1

トナーカートリッジを保護袋から取り出します。

お願い

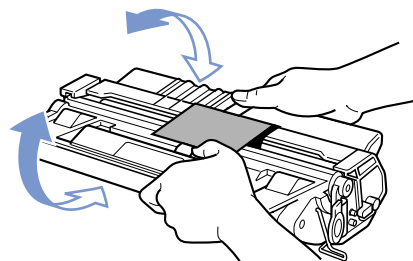
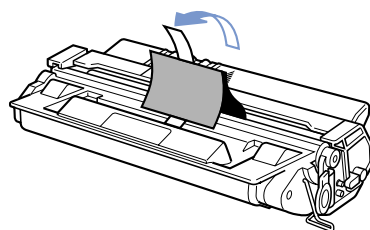
● トナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。本体のメンテナンスなどのためにトナーカートリッジを取り出した際、必要になります。

2

トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと5～6回振って内部のトナーを均一にならします。

お願い

● トナーが均一になっていないと、印字品質が低下します。

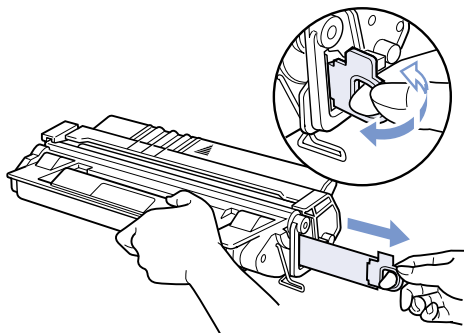
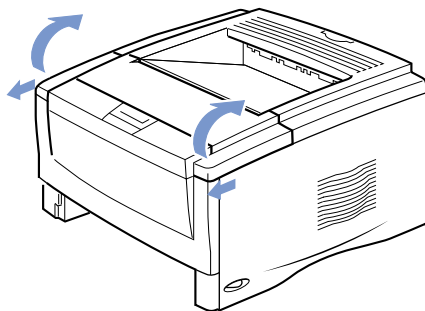
3

テープを持って静かに引き上げ、ラベルや黒い保護シートごと図の矢印の方向に引いて取り除きます。

4

トナーカートリッジを平らな場所に置き、カートリッジを押さえながらオレンジ色のタブを左右に数回折り曲げた後、タブをまっすぐ横に引いてシーリングテープを引き抜きます。

シーリングテープは、タブに指を掛け、真っ直ぐ横に引っ張って引き抜きます。

注意

- 万一、手や衣服がトナーで汚れた場合は、すぐに水で洗い流してください。このとき、温水は使わないでください。トナーが融着してとれなくなる恐れがあります。

お願い

- シーリングテープを最後まで完全に抜き取らないと、印字不良の原因になります。
- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張らないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。
- 引き抜いたシーリングテープは廃棄してください。

5

上カバー両側面の上カバー開閉ラッチを前側へ引いて、上カバーを開きます。

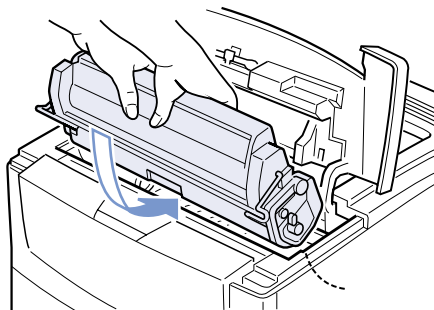
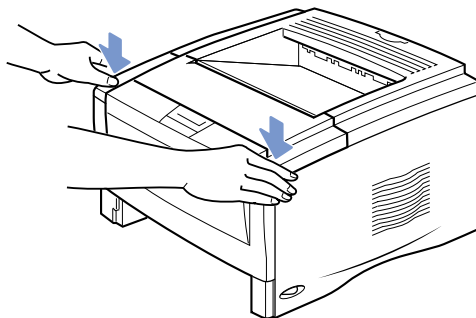
6

トナーカートリッジを図のように両手で持ち、トナーカートリッジ両側の突起を本体内側のトナーカートリッジガイドに合わせて奥に当たるまで押し込んだら、下に降ろします。

7

上カバーを閉じます。

上カバーは両手で、カチッと音がするまでしっかり閉じてください。

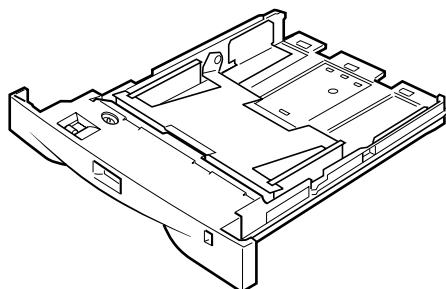
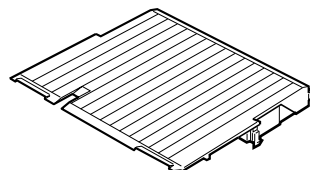
お願い

- トナーカートリッジが正しく取り付けられていないと、上カバーが完全にしまりません。無理に閉めようとすると、上カバーを破損する恐れがあります。上カバーが完全に閉まらないときは、もう一度上カバーを開けてトナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。
- トナーカートリッジを取り付けた後、上カバーを開けたまま長時間放置しないでください。

給紙カセットを組み立てる

本プリンタの給紙カセットは、給紙カセット前部とカセットカバーの2つに分割した状態で梱包されています。必ず組み立ててからお使いください。

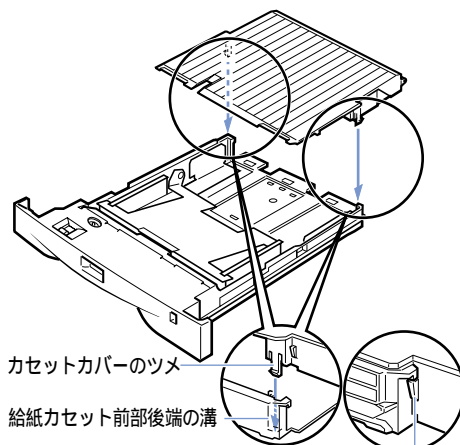
1

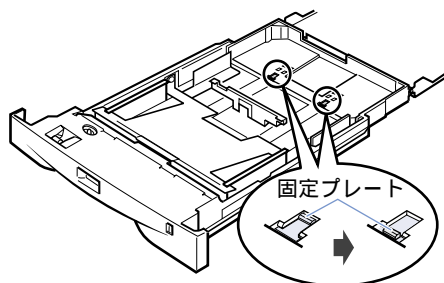
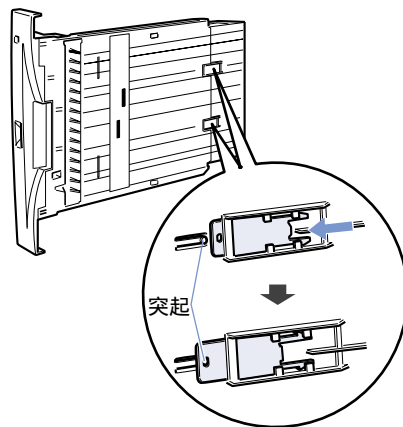
給紙カセット前部とカセットカバーを用意します。

給紙カセット前部がプリンタ本体にセットされているときは、給紙カセット前部を本体から抜き取ります。

給紙カセット前部

カセットカバー

2

カセットカバー左右のツメを給紙カセット前部後端の溝に合わせて差し込み、両側ともにロックするまで押し込みます。

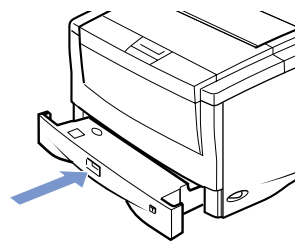
両側のツメがロックすると、カセットカバー外側の突起が両側とも噛み合います。

3

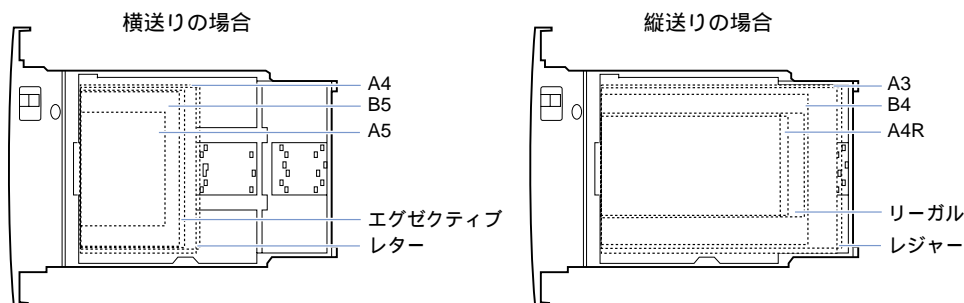
カセットカバーを開いて後側に倒し、カセットカバーの固定プレートを前側へスライドさせて、左右とも給紙カセット前部に固定します。

プレートが固定されると、プレートの穴に給紙カセット前部底面の突起がはまります。

お願い

● 給紙カセットは必ずカセットカバーを付けた状態でお使いください。取り付けないまま使用すると、両面プリント時に紙づまりの原因になることがあります。

4

給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

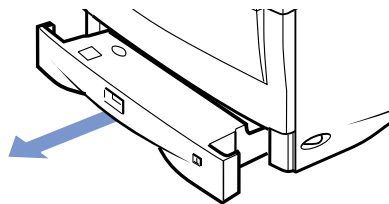
給紙カセットの前面が本体の前面と揃うまで、ゆっくりと差し込みます。

用紙をセットする

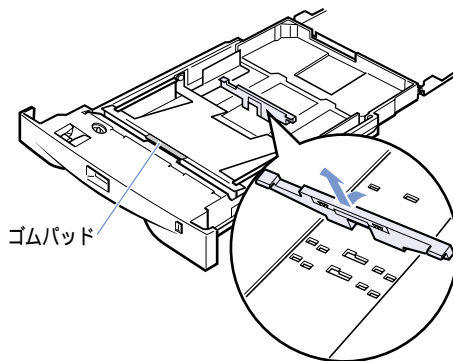
本プリンタの給紙カセットには、A5、B5、A4、B4、A3、エグゼクティブ、レター、リーガル、レジャーサイズの普通紙（64g/m²）を約250枚までセットできます。
また、A4サイズの用紙は通常横置きにセットしますが、縦置き（A4R）にもセットできます。それぞれの用紙は次のようにセットします。

紙づまりの原因となることがありますので、次の注意を守ってください。

- **プリント中に給紙カセットを抜き取らないでください。紙づまりや故障の原因となることがあります。**
- **普通紙（64～90g/m²）以外の用紙をセットしないでください。**
- **バリのある用紙、しわのある用紙やひどくカールした用紙はセットしないでください。**
- **用紙ガイドの積載制限マークを超えないようにしてください。セットできる枚数は、普通紙（64g/m²）で約250枚です。**
- **使用できる用紙についての詳細は、第4章「用紙について」(→ P.80) をご覧ください。**
- **セットした用紙がすべてなくなってから補充してください。なくならないうちに補充すると給紙不良の原因になります。**
- **用紙の開封面を下にしてセットしてください。**

- **オプションの500枚ペーパーフィーダを装着すると、500枚給紙カセットにレターRやユーザペーパーの用紙もセットすることができます。**
- **500枚ペーパーフィーダの用紙セット方法については、500枚ペーパーフィーダに付属の設置ガイドをご覧ください。**

1

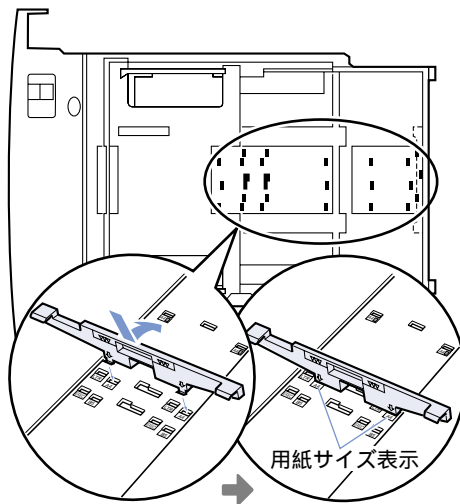
給紙カセットをプリンタ本体から取り外します。

2

カセットカバーを開き、後側の用紙ガイドを図のように前側に倒して外します。

お願い

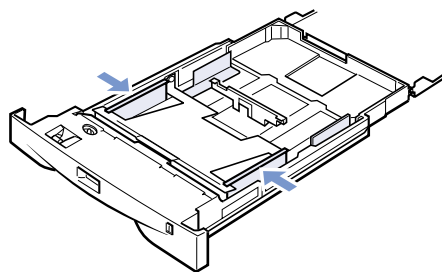
- **250 枚給紙カセット前側のゴムパットには絶対に手を触れないでください。給紙不良の原因となることがあります。**

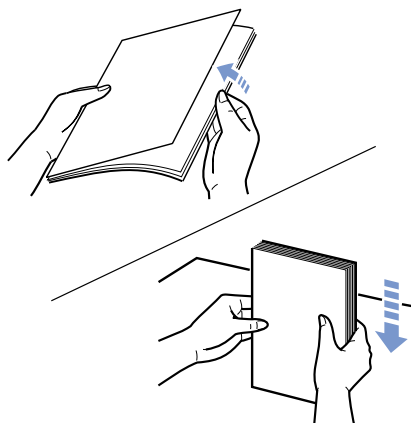
3

セットする用紙サイズの表示がある穴に、後側用紙ガイド左右のツメを差し込み、後側へ押してロックします。

後側用紙ガイドの矢印が現在セットされている用紙サイズを指し示します。

4

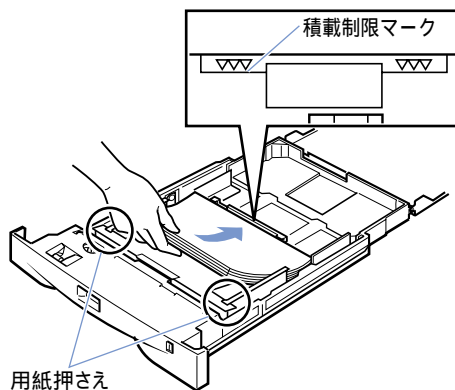
側面の用紙ガイドをスライドさせて、セットする用紙サイズに合わせます。

側面の用紙ガイドは左右が連動して動きます。

5

用紙の束をよくさばき、平らな場所で揃えます。

お願い

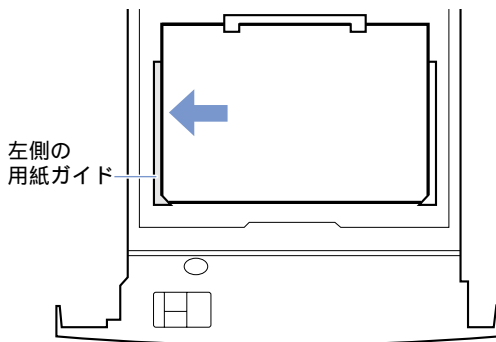
●用紙をさばかずにセットすると、給紙不良や紙づまりの原因になることがあります。

6

用紙の後端を用紙ガイドに合わせてセットし、用紙の前端が用紙押さえの下に入るように押さえます。

お願い

●給紙カセットにセットできる枚数は、普通紙（64g/m²）で約250枚です。絶対に後端の用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

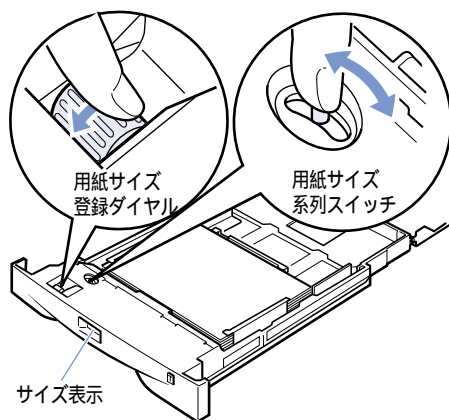
7

用紙を左側の用紙ガイドに揃えます。

お願い

● 用紙は必ず左側ガイドに揃えてください。用紙が揃っていないと印字不良の原因になります。

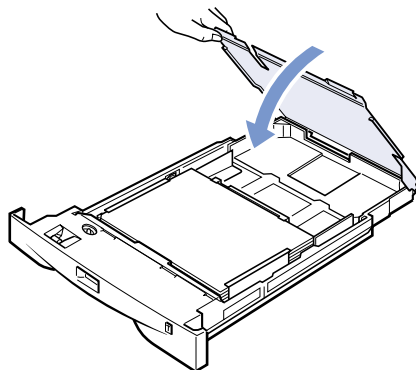
8

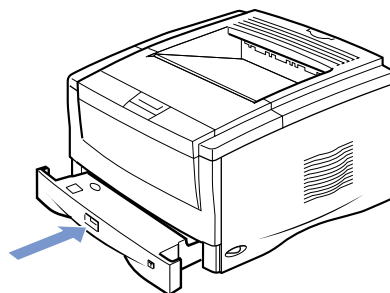
用紙サイズ系列スイッチと用紙サイズ登録ダイヤルを、セットした用紙のサイズに合わせます。

工場出荷時はA4にセットされています。レター、リーガルなどの外国用紙をセットする場合は、用紙サイズ系列スイッチを切り替えてから用紙サイズ登録ダイヤルを合わせてください。

お願い

● セットした用紙のサイズと用紙サイズ表示が合っていることを必ず確認してから給紙カセットを本体に差し込んでください。表示が合っていないと、誤動作の原因になります。

9

カセットカバーを閉じます。

10

給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

給紙カセットの前面が本体の前面と揃うまで、ゆっくりと差し込みます。

お願い

- **プリンタを設置後、初めて電源をオンにするときは、電源を入れる前に必ず給紙カセットを本体にセットしてからプリンタの電源を入れてください。**
- **プリンタを設置後、初めて電源をオンにしたときに、白紙が1枚排紙されることがありますが、異常ではありません。**

パソコンと接続する

本プリンタは、双方向通信対応のパラレルコネクタと、USBコネクタを標準装備しています。また、オプションのプリントサーバを拡張ボードスロットに装着することにより、ネットワークにも接続することができます。お使いのネットワークに合わせて、プリントサーバとケーブルをご用意ください。

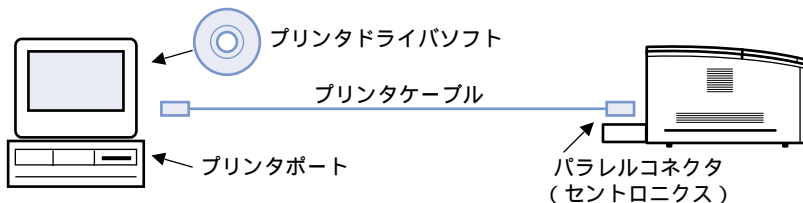
お願い

● 本プリンタにプリンタケーブルやネットワークケーブルは付属していません。あらかじめご使用のパソコンやネットワークに合ったケーブル（別売）をご用意ください。

DOS/Windows パソコンとの接続

本プリンタを DOS/Windows パソコンに直接接続するときは、プリンタポート（パラレルインタフェース）または USB ポートに接続します。

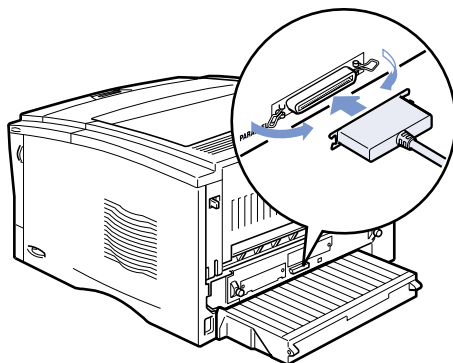
■プリンタポートに接続する場合

PC-9800 シリーズや IBM PC/AT 互換機（DOS/V パソコン）、その他の DOS/Windows パソコンのプリンタポートは、一般的にパラレルインタフェース（セントロニクス準拠）です。お使いのパソコン用のプリンタケーブルで本プリンタのパラレルコネクタとパソコンのプリンタポートを接続します。

注意

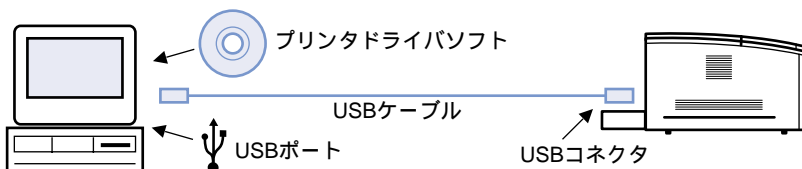
● プリンタケーブルを接続するときは、必ず次の手順を守ってください。感電の原因となることがあります。
①本プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
②パソコンの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

1

プリンタケーブルのセントロ36ピンコネクタ側を本プリンタ背面のパラレルコネクタへ接続し、両側の留め金を掛けます。

2

プリンタケーブルの反対側をパソコンのプリンタポートへ接続します。

■ USB ポートに接続する場合

USB（ユニバーサル・シリアル・バス）ポートを装備したパソコンの場合は、USB ケーブルで本プリンタ背面の USB コネクタとパソコンの USB ポートを接続します。

警告

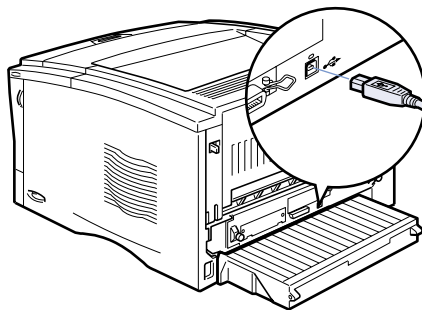
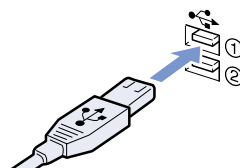
- **電源をオンにした状態でUSBケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。**
- **USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。**

お願い

- **次のようなときは、USB ケーブルを抜き差ししないでください。パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。**
  - **・プリンタドライバのインストール中**
  - **・パソコンの電源を入れた後の OS（Windows）起動中**
  - **・プリント中**
- **パソコンおよびプリンタの電源が入っている状態でUSBケーブルを抜き差しする場合は、抜いた後に必ず 5 秒以上の間隔を空けてから差し込んでください。抜いた直後に差し込むと、パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。**
- **USB ケーブルは 2m 以下のものをお使いください。**

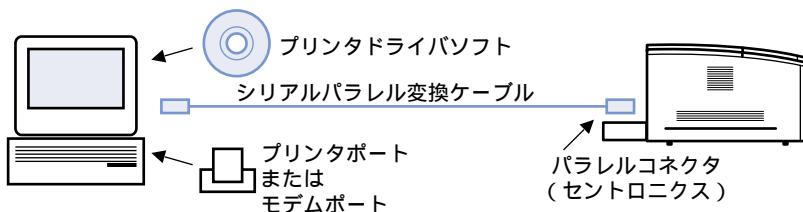
1

USB ケーブルの B タイプ（四角い）側を本プリンタ背面の USB コネクタへ接続します。

2

USB ケーブルの A タイプ（平たい）側をパソコンの USB ポートへ接続します。

Macintosh パソコンとの接続

本プリンタを Macintosh に直接接続するときは、2 つの方法があります。

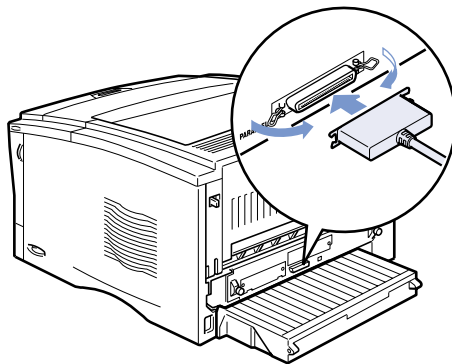
■シリアルポートに接続する場合

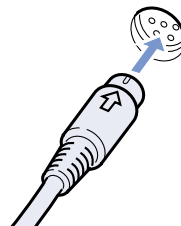
シリアルポートを装備したMacintoshは、シリアルパラレル変換ケーブルで本プリンタ背面のパラレルコネクタとMacintoshのシリアルポートを接続します。接続用のオプションとして、「NetHawk SP-LS III」（プリンタドライバ＋シリアルパラレル変換ケーブルセット）が用意されています。

注意

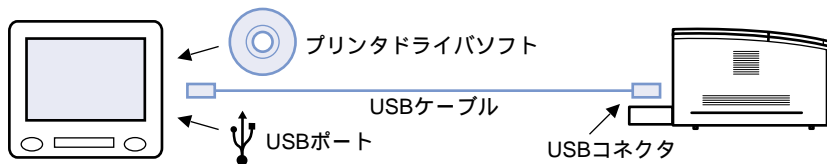
- プリンタケーブルを接続するときは、必ず次の手順を守ってください。感電の原因となることがあります。
  ①本プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
  ②パソコンの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- 「NetHawk SP-LS III」については、新潟キヤノテック（株）へお問い合わせください。（TEL.025-244-6445）

1

シリアルパラレル変換ケーブルのセントロ36ピンコネクタ側を本プリンタ背面のパラレルコネクタへ接続し、両側の留め金を掛けます。

2

シリアルパラレル変換ケーブルの反対側をMacintoshのプリンタポート(シリアルポート)へ接続します。

■ USBポートに接続する場合

USB（ユニバーサル・シリアル・バス）ポートを装備したMacintoshは、USBケーブルで本プリンタ背面のUSBコネクタとMacintoshのUSBポートを接続します。

警告

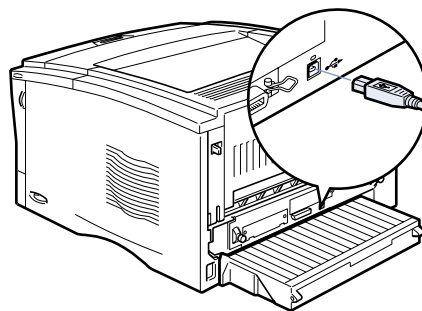
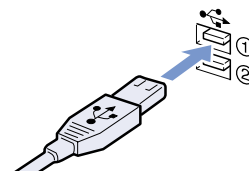
- 電源をオンにした状態でUSBケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- USBケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

お願い

- 次のようなときは、USBケーブルを抜き差ししないでください。パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。
  - ・プリンタドライバのインストール中
  - ・パソコンの電源を入れた後のOS（MacOS）起動中
  - ・プリント中
- パソコンおよびプリンタの電源が入っている状態でUSBケーブルを抜き差しする場合は、抜いた後に必ず5秒以上の間隔を空けてから差し込んでください。抜いた直後に差し込むと、パソコンやプリンタの動作不良の原因になります。
- USBケーブルは2m以下のものをお使いください。

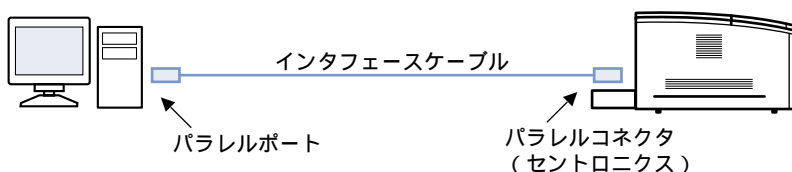
1

USBケーブルのBタイプ（四角い）側を本プリンタ背面のUSBコネクタへ接続します。

2

USBケーブルのAタイプ（平たい）側をMacintoshのUSBポートへ接続します。

その他のパソコンとの接続

ご使用のパソコンのプリンタポートがパラレルインタフェース（セントロニクス準拠）のときは、そのパソコンのコネクタに合ったインタフェースケーブルで本プリンタと接続します。

注意

●インタフェースケーブルを接続するときは、必ず次の手順を守ってください。感電の原因となることがあります。
①本プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
②パソコンの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

なお、本プリンタをPS/55シリーズ、FM-Rシリーズなどのパソコンに接続して使用する場合、オプションのコントロールROMが必要です。また、これらのパソコンからプリントする場合、インタフェースの自動切り替えや動作モードの自動切り替えができないことがあります。この場合、使用しているインタフェースおよびコントロールROMのエミュレーションモードに固定してご使用ください。コントロールROMには、次の種類が用意されています。

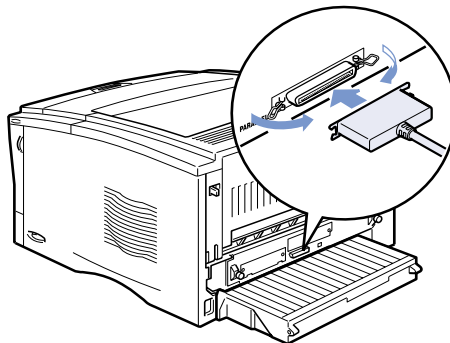
製品名	
CR-MES	下記のコントロールROMおよびフォントROMの内容を収録 ・PC-PR201/80Aプリンタエミュレーション拡張版 ・ESC/P準拠プリンタエミュレーション拡張版 ・IBM5577プリンタエミュレーション ・NEC N5273プリンタエミュレーション ・富士通 FMPR-359プリンタエミュレーション ・HP7550B（HP-GL）プロッタエミュレーション ・バーコードフォントROM（FR-BFV2CL相当）

お願い

●使用できるインタフェースケーブルについては、お買い求めの販売店、またはキヤノン販売（株）「お客様相談センター」にお問い合わせください。
●コントロールROMの取り付けについては、付録「RAM、ROMの取り付け」(→P.186)をご覧ください。
●インタフェースおよびエミュレーションモードの固定方法については、「LIPS 機能ガイド」をご覧ください。

1

プリンタケーブルのセントロ36ピンコネクタ側を本プリンタ背面のパラレルコネクタへ接続し、両側の留め金を掛けます。

2

プリンタケーブルの反対側をパソコンのプリンタポートへ接続します。

ネットワークとの接続

本プリンタにオプションのプリントサーバを取り付けると、ネットワークへ直接接続してネットワークプリンタとしてWindowsやMacintosh、UNIXなどのコンピュータからプリンタを共有することができます。IPX/SPX、TCP/IP、EtherTalkのプロトコルに対応しているプリントサーバがあります。

本プリンタ用のプリントサーバとして、次のオプション品が用意されています。

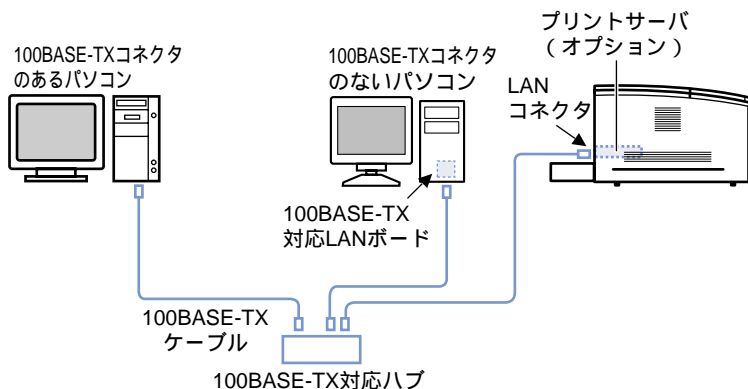
製品名称	対応プロトコル	ｲﾝﾀﾌｪｰｽ	メーカ名
JC-CONNECT 540TNE LIO V2	IPX/SPX, TCP/IP, EtherTalk,NetBEUI	10BASE-T 100BASE-TX	日本ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ工業(株)
JC-CONNECT 540T LIO V2	TCP/IP, NetBEUI	10BASE-T 100BASE-TX	日本ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ工業(株)
SEDNet S-705 LIO V2	IPX/SPX, TCP/IP	10BASE-T	住商電子ﾃﾞﾊﾞｲｽ(株)
SEDNet S-715 LIO V2	IPX/SPX, TCP/IP	10BASE-T 100BASE-TX	住商電子ﾃﾞﾊﾞｲｽ(株)
NetHawk N-100 LIO V2	TCP/IP, NetBEUI	10BASE-T 100BASE-TX	新潟ｷﾔﾉﾃｯｸ(株)
NetHawk N-110 LIO V2	IPX/SPX, TCP/IP, EtherTalk,NetBEUI	10BASE-T 100BASE-TX	新潟ｷﾔﾉﾃｯｸ(株)
内蔵型ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ NB-4F	IPX/SPX, TCP/IP, EtherTalk,NetBEUI	10BASE-T 100BASE-TX	キヤノン(株)

これら製品の詳細や購入については、プリンタをお買い上げの販売店へお問い合わせください。

- **従来機用のプリントサーバ（5V用プリントサーバ）は、使用できません。必ず本プリンタに対応したプリントサーバを使用してください。**
- **本プリンタに対応していないプリントサーバを誤って使用した場合は、正しく動作しません。**

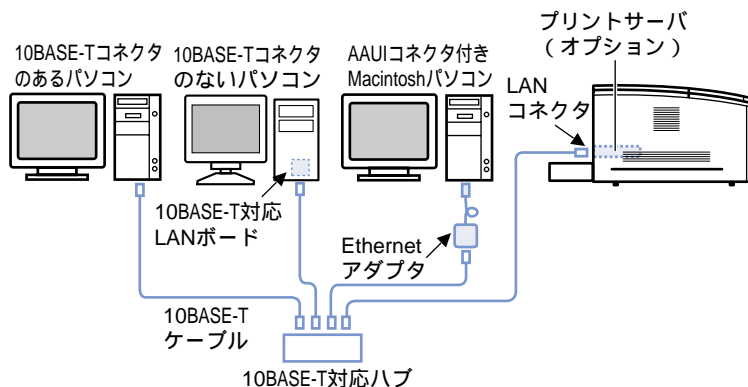
- **本プリンタにプリントサーバを装着してネットワークに接続して使用する場合、ネットワークOS（NetWare®, UNIXなど）の設定やネットワークプリンタとしてのインストール作業、プリントサーバの設定などが必要です。これらの作業についてはネットワークOSやプリントサーバに付属の取扱説明書をご覧ください。**

■ 100BASE-TXで接続する場合

プリントサーバのLANコネクタとハブのポートを100BASE-TX対応LANケーブル（カテゴリ5用ツイストペアケーブル）で接続します。100BASE-TXのネットワークに対応していないパソコンの場合は、100BASE-TX対応のネットワークボードも必要になります。さらにネットワーク上のパソコンにはネットワーク管理ソフトをインストールして、プリントサーバの設定を行います。

メモ

● ハブやLANケーブル、パソコン用ネットワークボードなど、LANに接続している機器は、すべて100BASE-TXに対応しているものが必要になります。詳しくはお買い求めの販売店、またはキヤノン販売（株）「お客様相談センター」へお問い合わせください。

■ 10BASE-Tで接続する場合

プリントサーバのLANコネクタとハブのポートを10BASE-T対応LANケーブル（カテゴリ3〜5用ツイストペアケーブル）で接続します。ネットワークに対応していないパソコンの場合は、ネットワークボードも必要になります。さらにネットワーク上のパソコンにはネットワーク管理ソフトをインストールして、プリントサーバの設定を行います。

電源コードを接続する

パソコンとの接続が終わったら、電源コードとアース線を接続します。接続する際には、付属の「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

警告

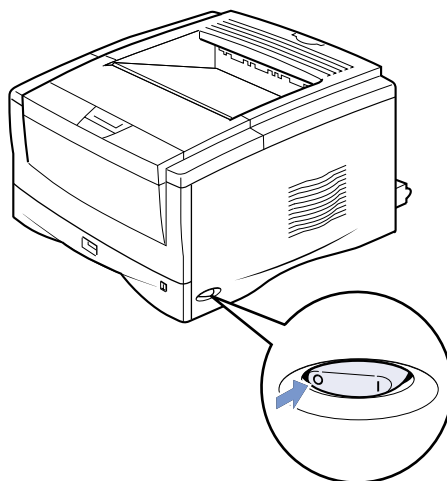
次の事項を必ず守ってお使いください。守られない場合、火災や感電の原因になります。

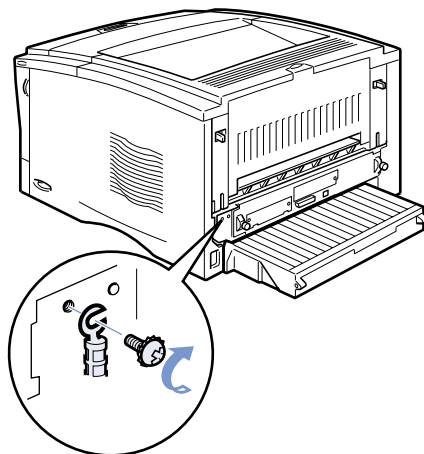
- **電源スイッチがオフになっていることを確認してから作業を行ってください。**
- **感電防止のため、必ずアース線を専用のアースに接続してください。なお、アース線は絶対にガス管や水道管、電話線のアース、避雷針などには接続しないでください。火災や感電の原因となることがあります。**
- **電源電圧や周波数の許容範囲は、AC100V ± 10%（50/60Hz ± 2Hz）です。本プリンタの最大消費電力は715W 以下（フルオプション装着時／起動時の瞬間的なピークを除いた値）です。**
- **必ず 15A 以上の電源コンセントから、プリンタの電源をお取りください。**
- **一つの電源コンセントを本プリンタ専用にしてください。同一電源コンセント上の他の差し込み口は、使用しないでください。**
- **電源コードの上にものを置いたり、踏んだりしないでください。**
- **電源コードやケーブル、本体内部のギアや電気部品に子供が触れないように注意してください。**
- **電源プラグを抜きやすいように、電源コンセントの回りには物を置かないでください。**
- **電源コードを抜くときは、必ずプラグの部分を持ってください。電源コードの部分を持って抜かないでください。**
- **発火するおそれがありますので、電源コードを束ねたままで使用しないでください。**
- **延長コードの使用はできるだけ避けてください。やむをえず使用する場合は次の注意をお守りください。**
  a. 延長コードの使用定格電流を超えないようにしてください。
  b. 延長コードはできるだけ短いものを使用してください。
  c. 延長コードをつなぎ合わせて使用することは絶対におやめください。

- **アース線を接続するときは、プリンタ、パソコン双方とも接続を行ってください。片方だけ接続すると機器間に電位差が生じ、故障の原因になることがあります。**

1

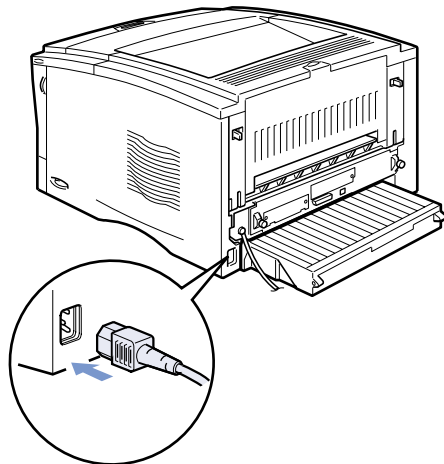
プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認してください。

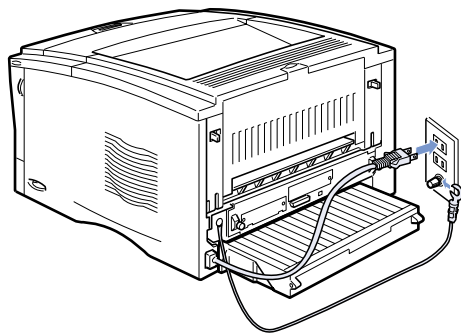
電源スイッチの“ ○ ”側が奥になっている状態がオフです。

2

アース線端子のネジをゆるめて取り外し、付属のアース線をネジ止めします。

お願い

- **アース線を取り付けるときは、アース線がまっすぐ下に向くように注意してください。**

3

電源コード差し込み口に、付属の電源コードをしっかりと差し込みます。

4

アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

注意

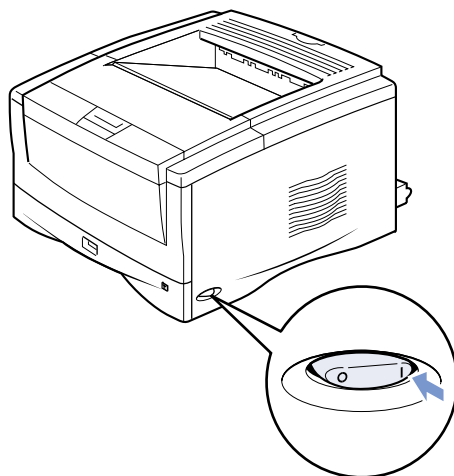
- **必ずアース線を接続してください。アース線が接続されていないと、万一漏電した場合、感電の原因となることがあります。**

動作を確認する

本プリンタには、プリンタの状態などを確認するための機能が付いています。プリンタの設置が終わったときやプリンタの動作状態をチェックしたいときは、ステータスプリントを行い、正しく動作することを確認してください。

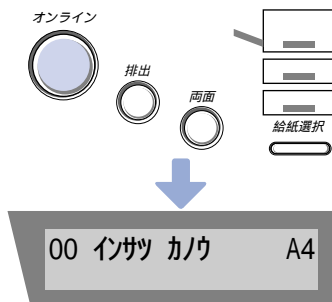
1

本体右側面にある電源スイッチの“ | ”側を押します。

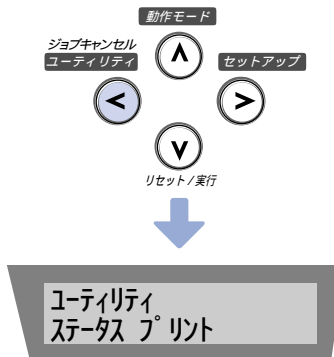
しばらくするとディスプレイに「00　インサツ　カノウ」と表示され、プリント可能な状態になります。
エラー表示があった場合には、第6章「メッセージが表示されたときは」（→ P.159）をご覧ください。

お願い

- プリンタを設置後、初めて電源をオンにするときは、電源を入れる前に必ず給紙カセットを本体にセットしてからプリンタの電源を入れてください。
- プリンタを設置後、初めて電源をオンにしたときに、白紙が1枚排紙されることがありますが、異常ではありません。

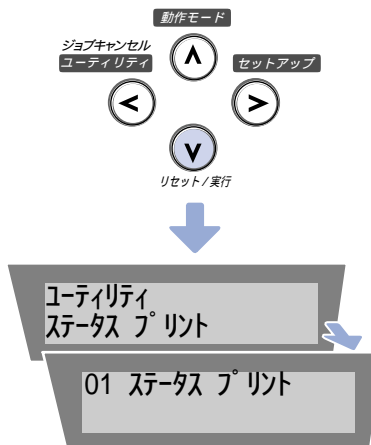
2

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

3

ユーティリティ キーを押します。

ディスプレイに「ステータス　プリント」と表示されます。

4

V キーを押します。

ステータスプリントを開始します。

5

ステータスプリントが終わったら、電源スイッチの“○”側を押して電源をオフにします。

■ステータスプリントのプリント内容

プリンタが正常に動作していると、次のような内容が表示されます。
ステータスプリントでは、現在使用できる機能やプリンタ機能メニューで設定されている設定値の一覧、プリンタに内蔵されているソフトウェア／ハードウェアのバージョン名、プリント枚数などを確認できます。

Canon STATUS PRINT LASER SHOT LBP-1610

バージョン：R1.07/MOM0J22A
サブバージョン：15.00/2EI-4113-C410-66.7-100/34/00
エンジンバージョン：MAI/004c
フォントバージョン：20000705

給紙モード：自動
排紙モード：フェースダウン
両面モード：片面印刷

全体メモリ搭載状況：16 (16 MB + 0 MB)
空きメモリ量：2824 Kbytes
動作モード：自動
優先エミュレーション：N201

拡張機能グループ
コピー枚数：1枚
タイムアウト：15秒
パネルオフモード：15分
ブザー警告：1回
警告表示：する
トナー節約：使わない
トナー濃度：4
警告処理：継続
自動エラースキップ：使わない
表示言語：日本語
自動切替／LIPS：使う
自動切替／N201：使う
自動切替／ESC/P：使う
特殊モードA：モード2
特殊モードB：使わない
特殊モードC：使わない

給紙グループ
トレイ用紙サイズ：A4
デフォルト用紙サイズ：A4
用紙の向き：自動
トレイ優先：しない
自動選択／トレイ：使う
自動選択／カセット1：使う
自動選択／カセット2：使う
自動選択／カセット3：使う
デフォルト用紙タイプ：普通紙
用紙名称／トレイ：
用紙名称／カセット1：
用紙名称／カセット2：
用紙名称／カセット3：

インタフェースグループ
インタフェース選択：自動
Busy-Ack：A-B-A
セントロスピード受信：高速
セントロスピード送信：高速
インプットプライム：動作モード依存
双方向：ECP

印字調整グループ
スーパースムーズ：使う
解像度：ファイン
階調処理：標準
ドット補正：使わない
中間調選択：パターン1
バンド制御：する
画質警告：継続
フォームキャッシュメモリ：使わない
印字動作：自動

レイアウトグループ
縦補正：0.0mm
横補正：0.0mm
綴じ方向：長手
綴じ幅：0.0mm

デバイスID
Manufacturer：Canon
Model：LASER SHOT LBP-1610
Description：Canon LASER SHOT LBP-1610
CompatibleID：

搭載コントローラ
LIPS Ver.01.22 LIPSは、キヤノン株式会社の商標です。
N201 Ver.01.60
ESC/P Ver.01.60 ESC/Pは、セイコーエプソン株式会社の商標です。

USB
ベンダーID：0x04a9
プロダクトID：0x2604
シリアルナンバー：000000000000

Page Count ： 0000548

ソフトウェアをインストールする

パソコンからプリントするには、プリンタドライバやユーティリティソフトなどのソフトウェアをインストールする必要があります。プリンタをお使いになる前にお使いのパソコンやネットワークに合ったソフトウェアをインストールしてください。

Windows の場合

Windows からプリントするときは、本プリンタに付属の CD-ROM からプリンタドライバやユーティリティソフトをインストールします。インストールのしかたや詳細については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。
本プリンタには、次のソフトウェアが添付されています。

● LIPS IV プリンタドライバ
Windows アプリケーションからプリントするときに必要なソフトウェアです。お使いの OS に合わせて、いずれかを必ずインストールしてください。

● NetSpot Job Monitor
プリンタの状態をパソコンの画面に表示して確認できるユーティリティソフトです。必要に応じてインストールしてください。

メモ

●「NetSpot Job Monitor」は双方向パラレルインタフェースに対応しています。「NetSpot Job Monitor」で双方向通信を行う場合は、双方向対応のインタフェースケーブルが必要です。

● NetSpot
パソコンからプリンタの機能を設定したり、ネットワーク環境でのプリンタの管理を行うためのユーティリティソフトです。必要に応じてインストールしてください。

● USB クラスドライバ
本プリンタを USB 接続で使用するために必要なソフトウェアです。お使いの OS に合ったものをインストールしてください。

メモ

● プリンタドライバやユーティリティソフトの対応 OS、インストールのしかた、詳細については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

DOSの場合

DOSのアプリケーションソフトで本プリンタを使用する場合、各アプリケーションソフトのプリンタ設定で本プリンタまたは互換性のあるプリンタを選択してプリントします。本プリンタは、キヤノン独自のLIPSモードのほか、PC-9800シリーズのN201エミュレーションモード、IBM PC/AT互換機（DOS/Vパソコン）のESC/Pエミュレーションモードなどの動作モードを内蔵していますので、キヤノン製LIPSプリンタやNEC製PC-PR201/80Aプリンタ、ESC/P準拠プリンタを、互換性のあるプリンタとして選択できます。互換性のあるプリンタの詳細については、「LIPSソフトウェアガイド」をご覧ください。また、オプションのコントロールROMを装着することにより、PS/55シリーズ用、FM-Rシリーズ用、N5200シリーズ用のプリンタを、互換プリンタとして選択できるようになります。コントロールROMについては、付録「コントロールROM」（→ **P.184**）をご覧ください。

メモ

- **プリンタ設定の方法については、ご使用のアプリケーションソフトに付属の取扱説明書をご覧ください。**
- **N201エミュレーションモードおよびESC/Pエミュレーションモードについては、第3章「動作モードについて」（→ P.74）をご覧ください。**

Macintoshの場合

Macintoshからプリントするときは、付属のCD-ROMからプリンタドライバやユーティリティソフトをインストールします。インストールのしかたや詳細については、「LIPSソフトウェアガイド」をご覧ください。
本プリンタには、次のソフトウェアが添付されています。

● LIPS IV プリンタドライバ

アプリケーションからプリントするときに必要なソフトウェアです。EtherTalk接続用プリンタドライバとUSB接続用プリンタドライバの2種類があります。接続方法に合わせて、いずれかを必ずインストールしてください。

● NetSpot

パソコンからプリンタの機能を設定したり、ネットワーク環境でのプリンタの管理を行うためのユーティリティソフトです。必要に応じてインストールしてください。

メモ

- **プリンタドライバやユーティリティソフトの対応OS、インストールのしかたや詳細については、「LIPSソフトウェアガイド」をご覧ください。**
- **Macintoshパソコンでプリントする場合のオプション品については、「Macintoshパソコンとの接続」（→ P.44）をご覧ください。**

ネットワークに接続している場合

ネットワークに接続している場合は、オプションのプリントサーバに添付のネットワーク管理ソフトとプリンタドライバを各クライアントパソコンにインストールします。お使いのプリントサーバの専用ネットワーク管理ソフトで、本プリンタに対応したものを使用してください。インストールのしかたや詳細については、プリントサーバやネットワーク管理ソフトのマニュアルをご覧ください。

また、NetWareやUNIXでご使用の場合は、OSの設定やネットワークプリンタとしてのインストール作業、プリントサーバの設定などが必要です。これらの作業についてはネットワークOSやプリントサーバに付属のマニュアルをご覧ください。

●ネットワークに接続して使う場合のオプション品については、P.48をご覧ください。

第 3 章

プリンタの使いかた

電源の入れかた

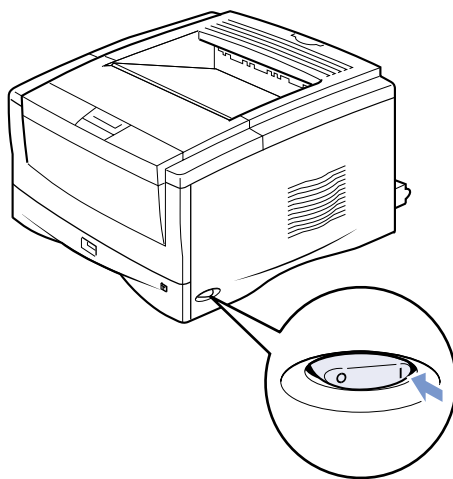
本プリンタは、電源をオンにすると、本体やオプションの状態をチェックしてから、プリント可能な状態になります。

お願い

- **プリンタを設置後、初めて電源をオンにするときは、電源を入れる前に必ず給紙カセットを本体にセットしてからプリンタの電源を入れてください。**
- **プリンタを設置後、初めて電源をオンにしたときに、白紙が1枚排紙されることがありますが、異常ではありません。**

1

本体右側面にある電源スイッチの“｜”側を押します。

電源がオンになり、操作パネルのランプやディスプレイが点灯して本体やオプションの状態を自己診断します。

自己診断の結果異常がなければ、オンラインランプと印刷可ランプ、選択されている給紙元表示ランプが点灯し、ディスプレイに「00　インサツ　カノウ」と表示されてプリント可能な状態になります。

ディスプレイには、次の情報が表示されます。

印刷可能で処理中の印刷データがない状態	00 インサツ カノウ	A4	現在選択されている給紙元の用紙サイズ

お願い

- **正しく動作しなかったり、エラーメッセージが表示されたときは、第6章「メッセージが表示されたときは」（→ P.159）をご覧ください。**

電源の切りかた

電源をオフにすると、メモリ内のプリントデータはすべて消去されます。必要なプリントデータを誤って消してしまわないように、またネットワークに接続している場合は他のパソコンからのプリントデータを消してしまわないように、必ずジョブランプが消灯していることを確認してからオフにしてください。

お願い

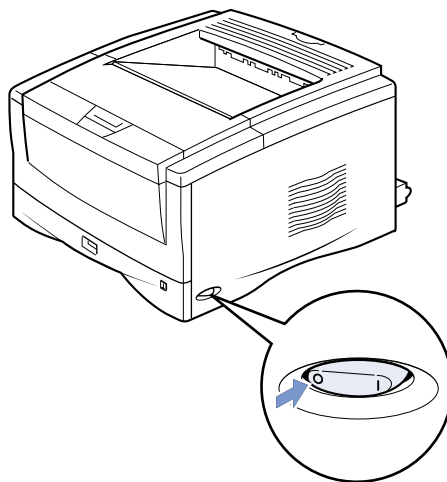
- **ジョブランプが点灯している状態で電源をオフにすると、プリンタのメモリに残っているプリントデータは消去されます。必要なプリントデータは、オフラインの状態で（排出）キーを押し、出力してから電源をオフにしてください。****（→ P.151）**
- **プリント中に電源をオフにしないでください。**
- **プリンタの電源をオンにした直後の自己診断中には、電源をオフにしないでください。**

1

ジョブランプが消灯していることを確認します。

2

本体右側面にある電源スイッチの“ ○ ”側を押します。

電源がオフになります。

オンラインとオフライン

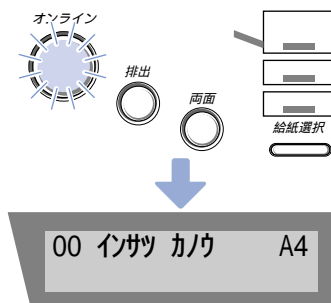
プリンタがパソコンからデータを受け取り、プリントできる状態を「オンライン」、パソコンとの接続が切り離され、データが受け取れない状態を「オフライン」といいます。操作パネルでメニューを操作するときは、プリンタをオフラインにしてから行います。

オンラインにする

パソコンからプリントするときは、プリンタがオンラインの状態になっていることが必要です。プリントするときは、プリンタがオンラインになっていることを確認してください。オンラインになっていないときは、次の手順でオンラインにします。電源をオンにしたときは、自動的にオンラインの状態になります。

1

(オンライン)キーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

お願い

- **プリンタがエラー状態（メッセージランプ（オレンジ色）が点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のときは、オンラインになりません。エラーの原因を取り除いてからオンラインにしてください。**
- **メニュー機能や給紙方法の選択、用紙サイズの設定などの操作中はオンラインになりません。操作を完了してからオンラインにしてください。**
- **プリント中は、絶対に本体のカバーやカセットを開けないでください。プリンタが停止し、プリントできなくなる場合があります。**

消費電力の節約（パネルオフモード）について

本プリンタは、何も操作せず、パソコンからもデータが送られてこない状態が一定の時間続くと、消費電力を節約するパネルオフモードに移行します。

操作パネルのキーを操作したり、エラーが起きると自動的にパネルオフモードは解除されます。また、オンライン状態ではデータを受信した場合にもパネルオフモードが解除されます。オフライン状態ではエラーが解除されてもパネルオフモードが解除されます。

お願い

- **パネルオフモードに移行する時間は、工場出荷時の状態で「15分」に設定されています。この設定は、メニュー機能で「5分」、「15分」、「30分」、「60分」に設定できます。詳細については、LIPS機能ガイド　第3章「1　拡張機能グループの設定項目」をご覧ください。**

メモ

- **次の場合は設定時間が経過してもパネルオフモードには移行しません。**
  - **「nn-nn　サービスコール」（nnは2桁の英数字）が表示されている状態**
  - **紙づまりしている状態**
  - **ステータスプリントなどのユーティリティ項目の実行中**

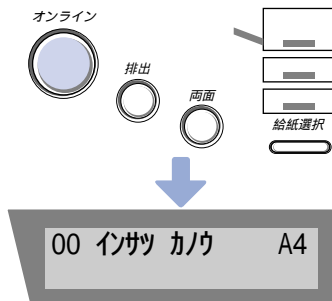
オフラインにする

プリンタの操作パネルからメニューの操作や給紙方法の選択、用紙サイズの設定などをするときは、プリンタはオフラインの状態になっていることが必要です。操作パネルのキーを使うときは、次の手順でオフラインにします。

1

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

操作パネルで設定できる状態になります。

お願い

- **プリンタをオフラインにしたままパソコンからプリントすると、「プリンタの準備ができていません」、「プリンタが接続されていません」などのメッセージが表示され、プリントできません。プリントするときは、オンラインにしてください。**
- **本プリンタは、オフラインにしたまま５分間以上放置すると、自動的にオンライン状態になります。ただし、プリンタがエラー状態（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のとき、またはメニュー機能や給紙方法の選択、用紙サイズの設定などの操作中は、自動的にはオンラインになりません。**

プリンタの機能について

本プリンタは、拡大／縮小プリントや複数ページ印刷、とじ幅の設定など、いろいろな機能を持っています。これらの機能は、プリンタの操作パネル、プリンタドライバ、NetSpot の3つの方法があり、それぞれの方法によって設定できる項目が多少異なります。

プリンタの主な機能

機　　能	機能の概要	ﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞ	ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ ｿﾌﾄ	操作ﾊﾟﾈﾙ
給紙選択	どこから用紙を給紙するか（給紙元）を設定します。	○	○	○
トレイ用紙サイズ	給紙トレイにセットした用紙のサイズを設定します。	×	○	○
両面プリント	用紙の両面に自動プリントします。	○	○	○
ページフォーマット	エミュレーションモードでプリントするときに、用紙に合わせてページフォーマットを設定します。	×	○	○
データ処理解像度 *1	スーパーファイン（1200dpi）、ファインモード（600dpi）、クイックモード（300dpi）のモードを設定します。	○	○	○
拡大／縮小 *2（LIPS モード時のみ）	データを拡大または縮小してプリントします。	○	○	○
複数ページ印刷 *3（LIPS モード時のみ）	拡大／縮小プリントの機能で縮小したデータを複数ページ並べて１枚の用紙にプリントします。	○	○	○
オーバレイプリント *4（LIPS モード時のみ）	LIPS のコントロールコマンドで登録したフォーマットを選択し重ねてプリントします。	○	フォーム作成登録は LIPS コマンドで行います。使用するフォームの指定のみ可能です。	
とじ方向	とじ代を作る辺（長辺または短辺）を設定します。	○	○	○
とじ幅	とじ方向で設定された辺のとじ幅の幅を設定します。	○	○	○
トナー濃度	印字濃度を調節します。	×	○	○
トナー節約	トナーの消費量を節約するモードを設定します。	○	○	○
ブザー警告	エラー発生時のブザー音の鳴りかたを設定します。	×	○	○
パネルオフモード	プリンタの消費電力を節約するモードの設定をします。	×	○	○

- ○印は設定可能、×印は設定できないことを表しています。
- *1、*2、*3、*4 の機能は、プリンタドライバとユーティリティソフト、操作パネルとで設定内容やプリント結果に違いがありますのでご注意ください。詳細については、「LIPS ソフトウェアガイド」や「LIPS 機能ガイド」をご覧ください。

設定のしかた

プリンタの機能は、プリンタドライバやユーティリティソフト、プリンタの操作パネルで、それぞれ次のように設定して使います。

メモ

- プリンタドライバ、ユーティリティソフトのインストール方法や操作のしかたについては、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。
- プリンタの操作パネルからの操作方法については、「LIPS 機能ガイド」をご覧ください。

■プリンタドライバ

本プリンタに付属のLIPS IVプリンタドライバをパソコンにインストールし、プリンタ設定画面を表示して設定します。

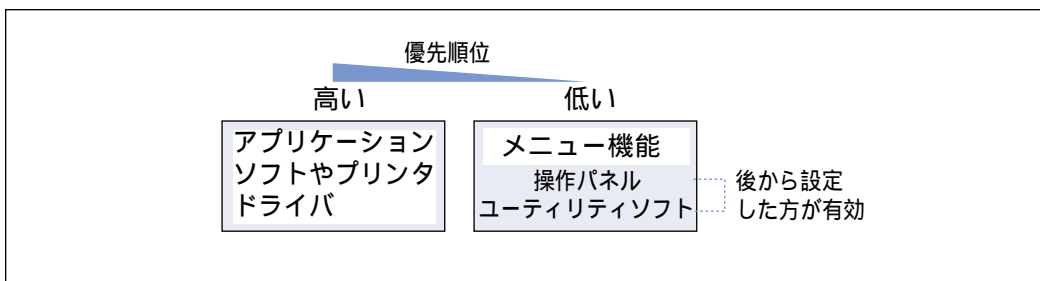
■ユーティリティソフト「NetSpot」

本プリンタに付属のユーティリティソフト「NetSpot」をパソコンにインストールし、NetSpotのプリンタ設定画面で設定します。

■プリンタの操作パネル

プリンタをオフラインにし、操作パネルのキーでメニューを選択して設定します。

設定の優先順位

設定した項目は、プリンタドライバやアプリケーションソフトとプリンタのメニュー項目に同じ機能がある場合、プリンタドライバやアプリケーションソフトの設定が優先されます。

プリント画質について

本プリンタは解像度を設定することによりプリント画質を変更することができます。解像度には、スーパーファインモード、ファインモード、クイックモードがあり、印字のきめ細かさや濃淡の滑らかさなどを目的に応じて使い分けることができます。また、ファインモードのみ、高階調モードと標準モードの2つの階調モードを設定することができます。

解像度モードの種類

各解像度モードには、それぞれ次のような特長があります。

■スーパーファインモード

スーパーファインモードは、超微粒子スーパーファイントナーとスーパーレーザチップ、高速RISCプロセッサにより実現した、リアル1200dpiの超高解像度モードです。きめ細かい階調表現力で、写真などの中間階調をリアルに再現できます。グラデーションの入ったグラフィックや写真が多いデータをプリントする場合に適したモードです。

● スーパーファインモードは、プリンタドライバからのプリントなど、LIPS IV/III/II+ モードでのプリント時に使用可能です。その他のエミュレーションモードでは使用できません。

■ファインモード

ファインモードは、600dpiの高解像度モードです。キヤノン独自の新スーパースムージングテクノロジーにより、文字や線画などの線や階調を滑らかに再現できます。一般的な文書や表を高速に印刷する場合に適したモードです。

■クイックモード

クイックモードは、300dpiの解像度でプリントするモードです。高解像度モードに対応していないアプリケーションソフトなどの出力に適したモードです。データ処理が300dpiで行われ、プリント処理がさらに速くなる場合があります。

階調モードの種類

階調モードには、高階調モードと標準モードの2つのモードがあり、通常は標準モードで処理されます。解像度でファインモードが設定されていて、普通紙、OHPフィルムにプリントするときのみ高階調モードを設定することができます。各モードには、それぞれ次のような特長があります。

■高階調モード

1つの点を4階調（2ビット）で処理することにより、2400dpi×600dpi相当の滑らかさでプリントするモードです。

■標準モード

1つの点を2階調（白と黒）で処理するモードです。一般的な文書や表を高速に印刷する場合に適したモードです。

解像度モードを設定する

■ Windows からプリントする場合

解像度モードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの初期値は「ファイン」が選択されています。解像度モードを指定するときは、プリンタドライバの［印刷品質］ページの［解像度］で設定します。プリンタドライバの操作については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

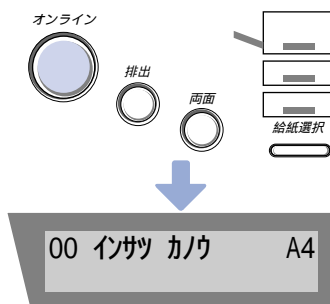
■ Macintosh からプリントする場合

解像度モードを指定するときは、プリンタドライバの［一般設定］ページの［品質］で設定します。プリンタドライバの操作については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

■ DOS や UNIX からプリントする場合

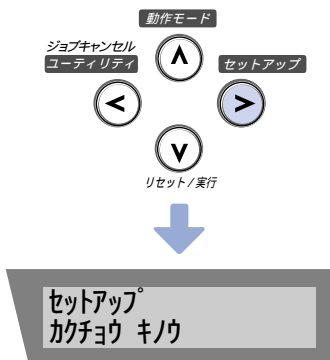
DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルで解像度を選択します。初期値は「ファイン」に設定されています。

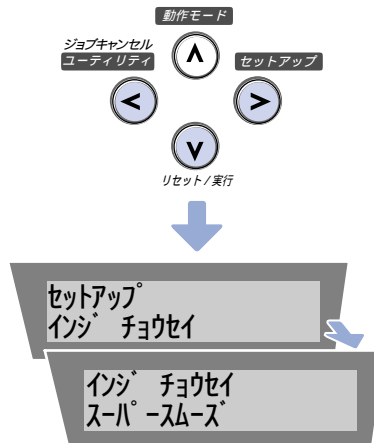
1

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

2

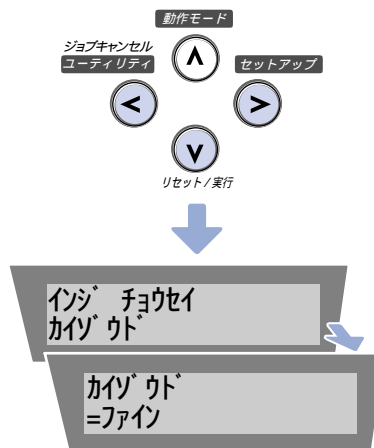
（セットアップ）キーを押します。

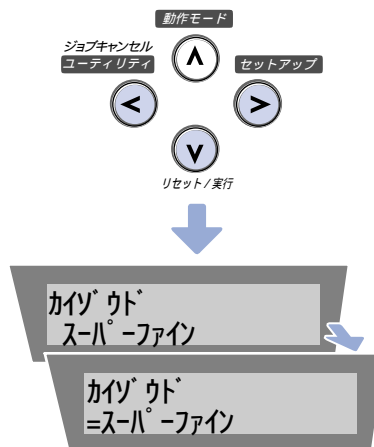
メニュー機能が使える状態になります。

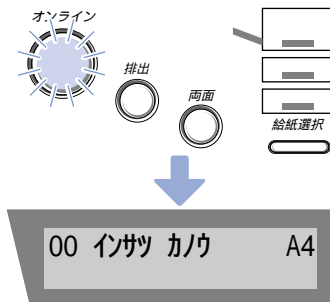
3

<、> キーで「インジ　チョウセイ」を選択し、∨ キーを押します。

印字調整グループの設定項目が表示されます。

4

<、> キーで「カイゾウド」を選択し、∨ キーを押します。

解像度の設定値が表示されます。

5

<、> キーで目的の解像度を選択し、∨ キーを押します。

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

階調モードを設定する

■ Windows からプリントする場合

階調モードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの初期値は「パネル優先」が選択されています。階調モードを指定するときは、プリンタドライバの［印刷品質］ページの［詳細設定］ボタンを押し、［グラフィックス］ページの［階調］で設定します。プリンタドライバの操作については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

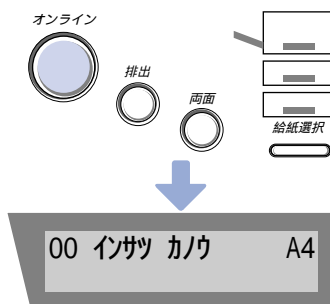
■ Macintosh からプリントする場合

階調モードを指定するときは、プリンタドライバの［一般設定］ページの［カラー］で設定します。プリンタドライバの操作については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

■ DOS や UNIX からプリントする場合

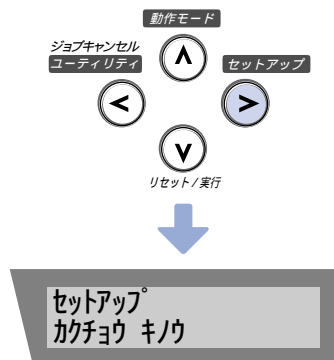
DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルで階調処理を選択します。初期値は「ヒョウジュン」に設定されています。

1

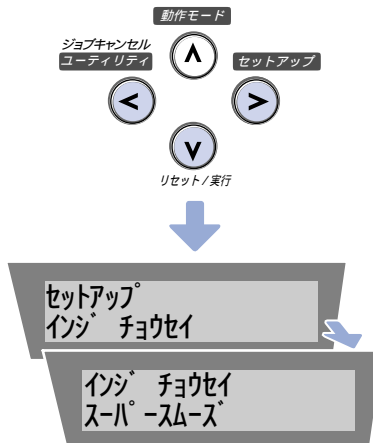
（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

2

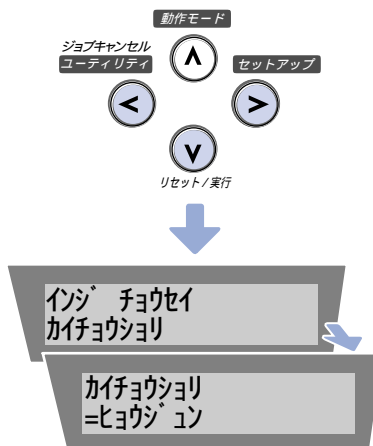
（セットアップ）キーを押します。

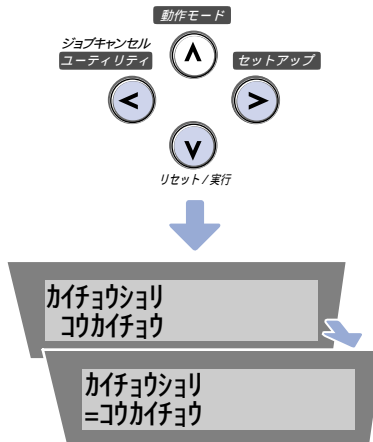
メニュー機能が使える状態になります。

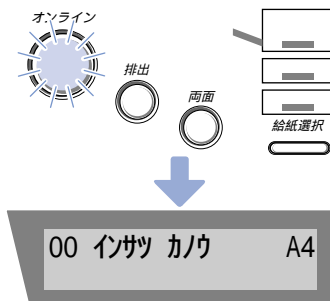
3

＜、＞ キーで「インジ　チョウセイ」を選択し、∨ キーを押します。

印字調整グループの設定項目が表示されます。

4

＜、＞ キーで「カイチョウショリ」を選択し、∨ キーを押します。

階調モードの設定値が表示されます。

5

＜、＞ キーで「コウカイチョウ」または「ヒョウジュン」を選択し、∨ キーを押します。

オンライン キーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

動作モードについて

本プリンタは、キヤノン独自のLIPSモード、PC-9800シリーズのN201エミュレーションモード、IBM PC/AT互換機（DOS/Vパソコン）のESC/Pエミュレーションモードの3種類の動作モードを内蔵しています。プリントデータを受信すると、プリントデータを判別し、自動的にデータに応じた動作モードに切り替えてプリントします。
このため、通常は工場出荷時の設定のままで各種パソコンに対応できますが、自動切り替えがうまくできないときや、いままで使用していたプリンタと同じ設定で使いたいときなどは、優先的に処理する動作モードを設定したり、いずれかの動作モードに固定したりすることができます。

動作モードの種類

本プリンタは、内蔵のLIPSモード／N201モード／ESC/Pモードと、オプションのコントロールROMによるPS/55やFM-R、N5200シリーズなどのエミュレーションモードを使用できます。

●LIPSモード

LIPSは、キヤノンが独自に開発したページプリンタをコントロールするためのコマンド体系です。LIPSに対応しているアプリケーションソフト（一太郎、Lotus 1-2-3、桐など）はこのモードでプリントします。付属のプリンタドライバを組み込むと、自動的にLIPSモードでプリントされます。

●N201エミュレーションモード

日本電気（株）製シリアルプリンタ「PC-PR201/80A」の動作をエミュレートする（まねをする）モードです。PC-9800シリーズのコンピュータで、LIPSに対応していないアプリケーションソフトを使用しているときはこのモードでプリントします。日本電気（株）が提唱する201PLのコマンド体系に準拠しています。

●ESC/Pエミュレーションモード

IBM PC/AT互換機（DOS/Vパソコン）、AXパソコンで標準的に使用されているESC/P準拠プリンタの動作をエミュレートする（まねをする）モードです。これらのコンピュータで、LIPSに対応していないアプリケーションソフトを使用しているときはこのモードでプリントします。エプソンが提唱するESC/P-J84のコマンド体系に準拠しています。

●その他のエミュレーションモード

PS/55シリーズ、FM-Rシリーズ、HP-GL専用プリンタをエミュレートするコントロールROMがオプションで用意されています。コントロールROMを取り付けることにより、PS/55シリーズ、FM-Rシリーズ、HP-GL対応のアプリケーションからプリントできるようになります。

メモ

●コントロールROMについては、付録「コントロールROM」（→P.184）をご覧ください。

自動切り替えがうまくできないとき

本プリンタの動作モード設定を「自動選択」（工場出荷時のままの状態）で使用中に、N201やESC/P データがLIPSでプリントされるなど、動作モードの自動切り替えがうまくいかない場合は、プリンタを次のように設定してみてください。
次の設定を変更しても自動切り替えがうまくいかないときは、プリントデータに合った動作モードに固定してプリントしてください。

●優先エミュレーションを切り替えたい動作モードに設定する

優先エミュレーションの工場出荷時の設定は「N201」になっています。この設定をプリントするデータに合わせて「ESC/P」や「LIPS」、「オプション（コントロールROM）」、「なし」に変更します。

●自動切り替えの設定で不要な動作モードを自動切り替えの対象から外す

自動切り替えの工場出荷時の設定は、すべての動作モードが「使う」になっています。この設定を、不要な動作モードを「使わない」に設定します。

●優先エミュレーション、動作モードの自動切り替えの 設定、動作モードの固定はユーティリティソフト、操作パネルのどちらからでもできます。ユーティリティソフトからの設定方法については「LIPSソフトウェアガイド」、操作パネルからの設定方法についてはLIPS機能ガイド　第2章「3　メニューの操作の流れ」をご覧ください。

専用プリンタと同じ動作で使う（動作モード固定）

本プリンタを使用しているコンピュータ専用のプリンタと同じ動作で使いたいときは、自動切り替えを解除し、動作モードをLIPS、N201エミュレーションモード、ESC/Pエミュレーションモード、コントロールROM（オプション）のエミュレーションのいずれかに固定することができます。

● PC-9800シリーズなど日本電気（株）製のコンピュータ

→N201エミュレーションモードに固定

●IBM PC/AT互換機（DOS/Vパソコン） やAXパソコン

→ESC/Pエミュレーションモードに固定

● PS/55やFM-R、N5200シリーズなどのコンピュータ

→取り付けたコントロールROM（オプション）のエミュレーションモードに固定

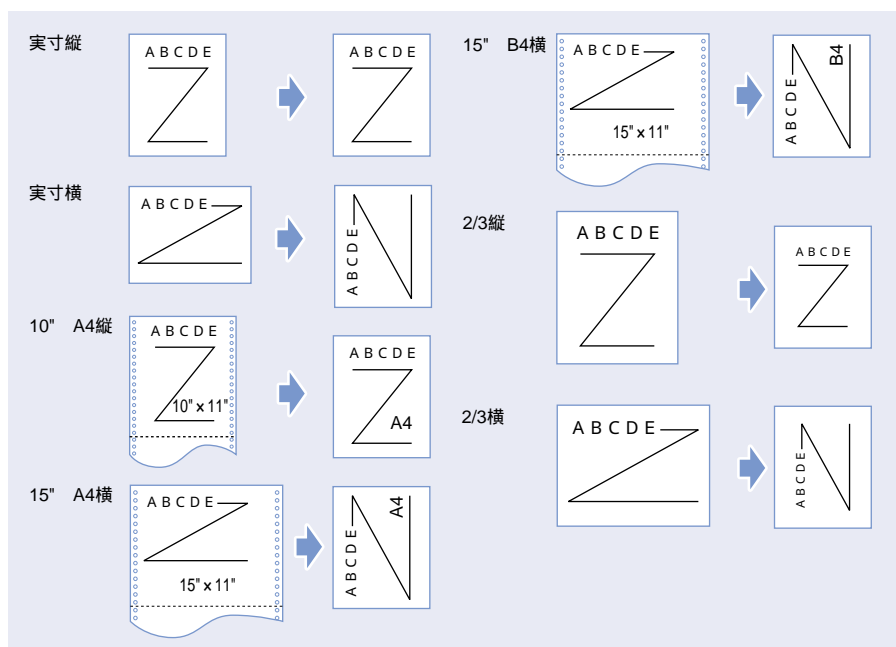
●N201エミュレーションモードまたはESC/Pエミュレーションモードでプリントする場合、ページフォーマットの設定が必要です。ページフォーマットについては次ページをご覧ください。
●動作モードの設定はユーティリティソフト、操作パネルのどちらからでもできます。ユーティリティソフトからの設定方法については「LIPSソフトウェアガイド」、操作パネルからの設定方法については、LIPS機能ガイド　第2章「3　メニューの操作の流れ」をご覧ください。

エミュレーションモードで使うとき

本プリンタをN201エミュレーションモードやESC/Pエミュレーションモードで使用する場合、いままで使用していた用紙やアプリケーションで指定していた用紙の種類に合わせ、本プリンタのページフォーマットを設定する必要があります。

■ N201のページフォーマット設定

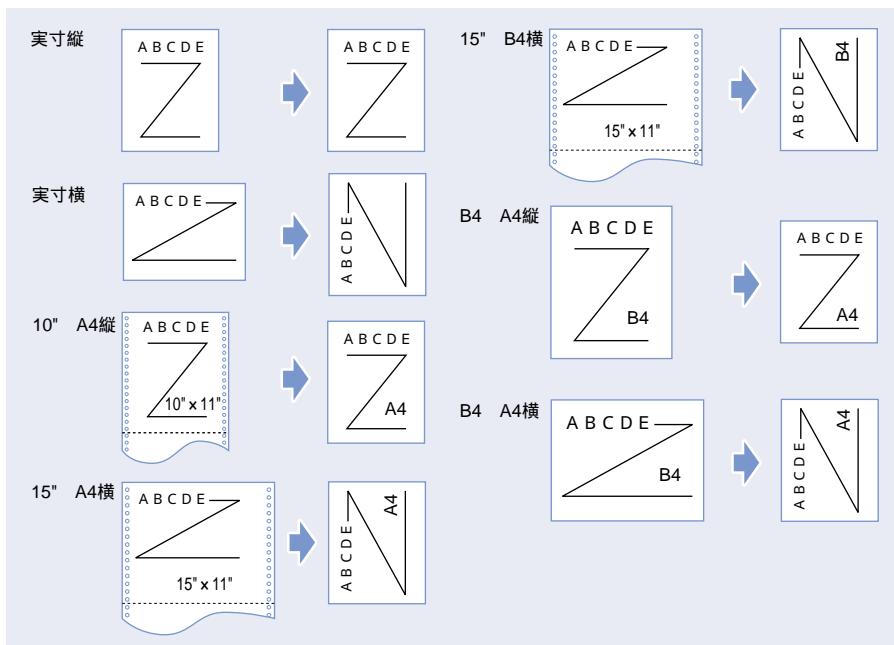
いままでPC-PR201/80Aなど日本電気（株）製のプリンタで使用していた用紙の種類やアプリケーションで指定していた用紙の種類に合わせ、次の7種類のページフォーマットから選択します。本プリンタを購入したまま（工場出荷時）の状態では「実寸縦」に設定されています。

実寸縦：　用紙を縦に使って実寸でプリントします
実寸横：　用紙を横に使って実寸でプリントします
10" → A4縦：10" × 11" の連続用紙用に作成したデータをA4に縮小してプリントします
15" → A4横：15" × 11" の連続用紙用に作成したデータをA4に縮小してプリントします
15" → B4横：15" × 11" の連続用紙用に作成したデータをB4に縮小してプリントします
2/3縦：　実寸縦用のデータを2/3に縮小し、用紙を縦に使ってプリントします
2/3横：　実寸横用のデータを2/3に縮小し、用紙を横に使ってプリントします

メモ

- **用紙サイズは、「10" → A4縦」「15" → A4横」ではA4、「15" → B4横」ではB4が標準ですが、給紙元が設定（給紙選択）されているときは、設定されている給紙元の用紙にプリントします。**
- **10" × 11" の連続用紙のサイズは、254mm × 279.4mmです。15" × 11" の連続用紙のサイズは、381mm × 279.4mmです。**

■ ESC/P のページフォーマット設定

いままでESC/P準拠プリンタで使用していた用紙の種類やアプリケーションで指定していた用紙の種類に合わせ、次の7種類のページフォーマットから選択します。本プリンタを購入したまま（工場出荷時）の状態では「実寸縦」に設定されています。

実寸縦：　用紙を縦に使ってプリントします
実寸横：　用紙を横に使ってプリントします
10" → A4 縦：10" × 11" の連続用紙用に作成したデータを A4 に縮小してプリントします
15" → A4 横：15" × 11" の連続用紙用に作成したデータを A4 に縮小してプリントします
15" → B4 横：15" × 11" の連続用紙用に作成したデータを B4 に縮小してプリントします
B4 → A4 縦： B4 サイズ用のデータを A4 に縮小し、用紙を縦に使ってプリントします
B4 → A4 横： B4 サイズ用のデータを A4 に縮小し、用紙を横に使ってプリントします

- **用紙サイズは、「10" → A4 縦」「15" → A4 横」「B4 → A4 縦」「B4 → A4 横」では A4、「15" → B4 横」では B4 が標準ですが、給紙元が設定（給紙選択）されているときは、設定されている給紙元の用紙にプリントします。**
- **10" × 11" の連続用紙のサイズは、254mm × 279.4mm です。15" × 11" の連続用紙のサイズは、381mm × 279.4mm です。**

第 4 章

給紙・排紙のしかた

用紙について

本プリンタの性能を十分に引き出していただくため、用紙は適切なものを使用してください。用紙が適切でないと、印字品質の低下や紙づまりの原因になります。

使用できる用紙

本プリンタでは次の用紙を使用できます。◎は片面プリントと両面ユニットを使った両面プリントが可能、○は片面プリントのみ可能、×は不可です。

■用紙サイズ

用紙の種類	給紙元			
	給紙トレイ	給紙カセット	250枚ペーパーフィーダ（オプション）	500枚ペーパーフィーダ（オプション）
普通紙（64～105g/m²）				
B6*3	○	×	×	×
A5	◎	◎*1	◎*1	◎*1
A5R	○	×	×	×
B5	◎	◎*1	◎*1	◎*1
B5R	○	×	×	×
A4	◎	◎*1	◎*1	◎*1
A4R	◎	◎*1	◎*1	◎*1
B4*2	◎	◎*1	◎*1	◎*1
A3*2	◎	◎*1	◎*1	◎*1
A3フルブリード	○	×	×	×
レター	◎	◎*1	◎*1	◎*1
レターR	◎	×	×	◎*1
エグゼクティブ	◎	◎*1	◎*1	◎*1
エグゼクティブR	○	×	×	×
リーガル*2	◎	◎*1	◎*1	◎*1
レジャー*2	◎	◎*1	◎*1	◎*1
レジャーフルブリード	○	×	×	×
ユーザペーパー 幅: 76.2～312mm 長さ: 127～469.9mm	○*3	×	×	○*1,*3,*4
厚紙（106～128g/m²） 幅: 100～297mm 長さ: 148～432mm	○*3	×	×	×
OHPフィルム　A4	○	×	×	×
ラベル用紙　A4	○	×	×	×
官製ハガキ	○	×	×	×
往復ハガキ（折り目なし）	○	×	×	×
封筒　洋形4号	○	×	×	×

*1 給紙カセットには、64～90g/m² の普通紙のみセット可能です。
*2 オプションの拡張 RAM を装着した場合に、両面プリントが可能となります。
*3 縦送りのみセット可能です。
*4 幅：210～297mm、長さ：148.5～431.8mm の用紙がセット可能です。ただし、カセット内の側面用紙ガイドは幅約 2 mm 刻み、後端用紙ガイドは長さ約 1mm 刻みのセットとなります。

■給紙元の積載枚数

用紙の種類	給紙元			
	給紙トレイ	給紙カセット	250枚ペーパーフィーダ（オプション）	500枚ペーパーフィーダ（オプション）
普通紙（64g/m²の場合）	約100枚	約250枚	約250枚	約500枚
厚紙（128g/m²の場合）	約50枚	×	×	×
OHPフィルム	約50枚	×	×	×
ラベル用紙	約40枚	×	×	×
官製ハガキ	約40枚	×	×	×
往復ハガキ（折り目なし）	約40枚	×	×	×
封筒	約10枚	×	×	×

■排紙先の積載枚数

用紙の種類	排紙先	
	フェースダウン排紙トレイ	フェースアップ排紙トレイ
普通紙（64g/m²の場合）	約250枚	約50枚
厚紙（128g/m²の場合）	約150枚	約25枚
A3フルブリード紙	×	約25枚
レジャーフルブリード紙	×	約25枚
OHPフィルム	約100枚	1枚
ラベル用紙	約100枚	約20枚
官製ハガキ	約100枚	約20枚
往復ハガキ（折り目なし）	約100枚	約20枚
封筒	約30枚	約10枚

お願い

- 90g/m² を超える普通紙は、給紙トレイにセットしてください。
- ユーザペーパー（ユーザ定義用紙）をセットするときは、必ず縦送りでセットしてください。
- A3 フルブリード紙（312mm × 440mm）、レジャーフルブリード紙（304.8mm × 457.2mm {12" × 18"}）、インデックスカード（76.2mm × 127mm {3" × 5"}）サイズの用紙は、フェースアップ排紙のみ可能です。フェースダウン排紙はできません。
- ハガキ、往復ハガキおよび封筒をプリントする場合は、「トレイ用紙サイズ」を設定すると自動的に各用紙タイプの印字モードでプリントされます。
- 高階調モードは、普通紙、OHP フィルムのみプリント可能です。厚紙やハガキなどの場合は、標準モードでプリントされます。
- 用紙の種類やサイズなど、プリント条件によってプリント速度が低下する場合があります。その際、プリンタメニューあるいはプリンタドライバで「高階調」が選択されていても「標準階調」でプリントされます。

- 500 枚ペーパーフィーダ装着時は、500 枚給紙カセットに最大約 500 枚（64g/m²）までセットできます。
- 500枚ペーパーフィーダ装着時は、500枚給紙カセットにレターRとユーザペーパーの用紙もセットできます。
- ユーザペーパーを 500 枚給紙カセットにセットする場合は、幅：210 〜 297mm、長さ：148.5 〜 431.8mm の用紙がセット可能です。ただし、カセット内側面や後端の用紙ガイドをセットするため、幅が約 2 mm 刻み・長さが約 1mm 刻みとなります。

用紙サイズの略号について

本プリンタ用給紙カセットのサイズ表示は、次の用紙について以下のような略号で表示されます。

用紙サイズ	給紙カセットの用紙サイズ登録ダイヤル
レジャー	11X17
リーガル	LGL
レター	LTR**
エグゼクティブ	EXEC
レター R*	LTR-R*
ユーザペーパー *	Custom*

＊500 枚ペーパーフィーダのみ
** 500 枚ペーパーフィーダの場合は LETTER

■厚紙について

本プリンタでは、106 〜 128g/m² の厚紙が使用できます。厚紙は、必ず給紙トレイにセットしてください。

■ OHP フィルムについて

OHP フィルムは、フィルムどうしが離れにくいことがあります。1 枚ずつ四辺をよくさばいてから給紙トレイへセットしてください。

- OHP フィルムをフェースアップ排紙するときは、排紙されるたびに 1 枚ずつ OHP フィルムを取り除いてください。

■ラベル用紙について

ラベル用紙は表裏を確認し、表を上にして給紙トレイへセットしてください。

- 次のようなラベル用紙は使用しないでください。仕様に合わない用紙をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  ・ラベルが剥がれかけていたり、一部使いかけている用紙
  ・台紙から剥がれやすいコート紙でできている用紙
  ・糊がはみ出ている用紙
- ラベル用紙を横送りで使用する場合は、1枚ずつ手で取り除いてください。1枚目に排紙された紙が丸まることがあります。

■ハガキについて

ハガキは、プリント面を上にして給紙トレイへセットしてください。セット方法などの詳細は「ハガキをセットする」（→ P.97）をご覧ください。

- 官製ハガキ以外のハガキへのプリントは、印字品質が低下したり、紙づまりの原因となることがあります。
- プリント可能な往復ハガキは、折り目なしのもののみです。
- ハガキがカールしているときは、逆向きに曲げて反りを直してからセットしてください。
- インクジェット用の官製ハガキを使用することはできません。

■封筒について

封筒は、上から手で押さえて封筒内部の空気を抜き取り、折り目をよく押さえてから、表を上にして給紙トレイへセットしてください。セット方法などの詳細は「封筒をセットする」（→ P.99）をご覧ください。

- 封筒印刷には、洋形 4 号でも推奨品のご使用をお勧めします。推奨品以外の封筒は、うまくプリントできないことがあります。
- 次のような封筒は使用しないでください。仕様に合わない封筒をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  ・ファスナーや留め具の付いている封筒
  ・窓付きの封筒
  ・糊付きの封筒
  ・しわになっていたり、折れ曲がっている封筒
  ・折り目や貼り合わせ部分の凹凸が大きい封筒
  ・長方形でない封筒や不規則な形の封筒
- 裏面にはプリントしないでください。

■両面ユニットでの両面プリントについて

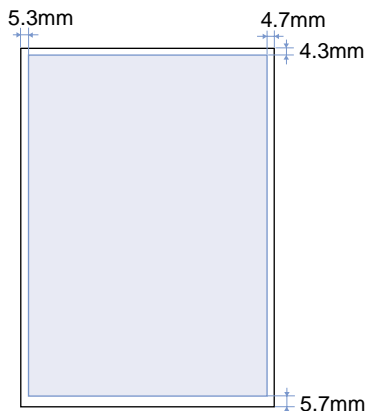
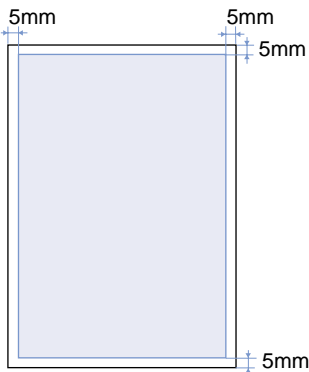
- 500枚ペーパーフィーダと両面ユニットを装着している場合、500枚給紙カセットにセットしたユーザペーパーに両面ユニットで両面プリントすることはできません。

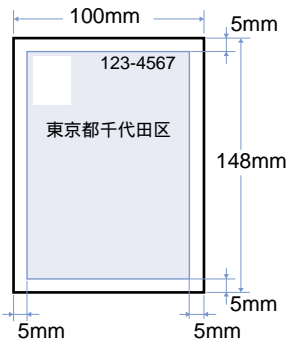
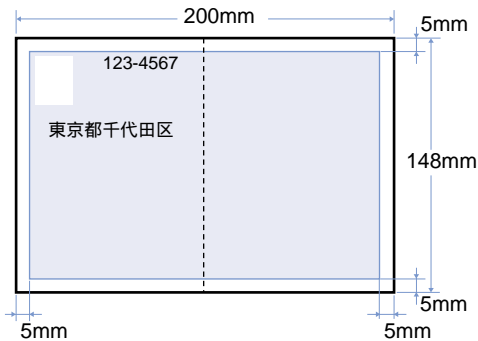
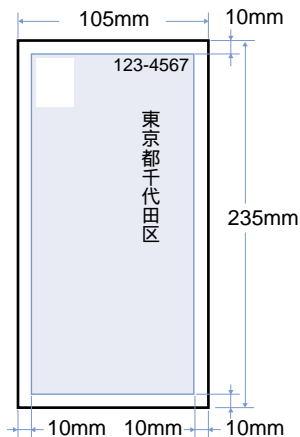
- 両面ユニットの取り扱いについては、両面ユニット（DU-62）に付属の設置ガイドをご覧ください。

プリントできる範囲

本プリンタでプリントできる領域は、次の範囲です。

●普通紙、厚紙、OHP フィルム、ラベル用紙（フルブリード紙を除く）

● A3 フルブリード紙、レジャーフルブリード紙

※ただし、上端 5mm、下端 10mm、左右端 7.5mm の範囲は、正常にプリントされないことがあります。

●ハガキ

●往復ハガキ

●封筒

※お使いのアプリケーションによっては、印字位置をずらしてお使いください。

使用できない用紙

紙づまりやプリンタ本体の故障、トラブルを防ぐため、次にあげるような用紙はお使いにならないでください。

お願い

●紙づまりを起こしやすい用紙
- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- 不規則な形の用紙
- 湿っている用紙、濡れている用紙
- 破れている用紙
- 表面が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙
- バインダ用の穴やミシン目のある用紙
- カールした用紙や折り目のある用紙
- 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙(インクジェットプリンタ専用コーティング紙など)
- 裏紙が簡単にはがれてしまうラベル用紙
- 複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙(裏面も不可)
- バリのある用紙
- しわのある用紙
- 角折れ用紙

●高温によって変質する用紙
- 定着ユニットの熱(約150℃)で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発するインクを使用した用紙
- 感熱用紙
- 表面加工したカラー用紙
- 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙(インクジェットプリンタ専用コーティング紙など)
- 糊などがついた用紙

●プリンタ本体の故障や損傷の原因となる用紙
- カーボン紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- 複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙(裏面も不可)

●トナーが定着しにくい用紙
- ざら紙、和紙のように表面がざらざらしている用紙
- 繊維の粗い用紙
- 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙(インクジェットプリンタ専用コーティング紙など)

用紙の保管について

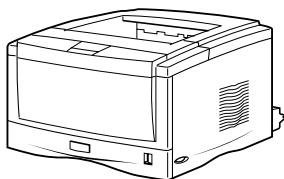
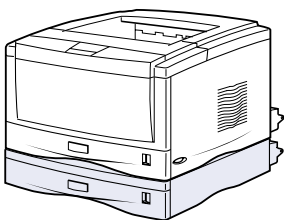
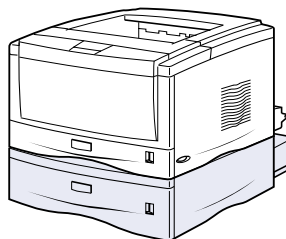
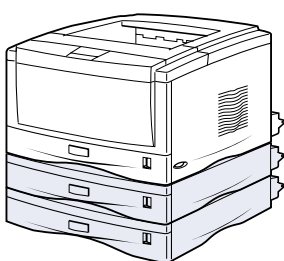
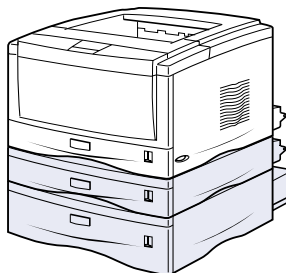
規格に合った用紙でも、保管が悪いと変質してしまうことがあります。変質した用紙は給紙不良や紙づまりの原因になったり、印字品質の低下を招くことがあります。
用紙を保管するときは、次のことに注意してください。

お願い

- **用紙は特に水分を嫌いますので、湿らせないようにしてください。**
- **用紙の包装紙は、湿気を防ぐ働きをします。使用するまでは包装したままにしておいてください。また、使用しない用紙は包装紙に包んでおいてください。**
- **平らな場所に保管してください。**
- **床面は一般に湿度が高いので、用紙を床に直接置かないでください。**
- **用紙が丸まったり折り目がつくような置きかたをしないでください。**
- **用紙を立てて保管したり、あまり多く積み重ねないでください。**
- **直射日光の当たる場所や湿度の高い場所に保管しないでください。**
- **保管場所と使用する場所の温度に著しく差がある場合は、包装したままで一日ほど使用する場所に置いて、室温に慣らしてから使ってください。急激な温度や湿度の変化は、用紙の丸まりやしわの原因になります。**

給紙元を選択する

給紙元の種類

本プリンタには、本体前面に給紙トレイ、下部に給紙カセットが標準装備されており、合計約350枚(64g/m²)の自動給紙が可能です。また、オプションの250枚ペーパーフィーダと500枚ペーパーフィーダを取り付けると、最大約1100枚(64g/m²)の自動給紙が可能になります。

標準状態

250枚ペーパーフィーダ装着状態

500枚ペーパーフィーダ装着状態

250枚＋250枚ペーパーフィーダ装着状態

250枚＋500枚ペーパーフィーダ装着状態

メモ

- 500枚ペーパーフィーダは、最下段 にのみ取り付け可能です。500枚ペーパーフィーダを2段取り付けたり、250枚ペーパーフィーダの上に取り付けることはできません。
- ペーパーフィーダを3段以上取り付けることはできません。
- ペーパーフィーダは、本プリンタ用のペーパーフィーダPF-62またはPF-62Kをご使用ください。他機種用のペーパーフィーダを使用することはできません。

給紙元の選択

■ Windows や Macintosh からプリントする場合

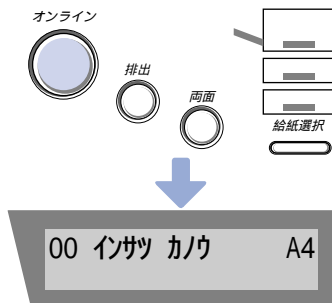
給紙元の選択は、プリンタドライバで設定します。プリンタドライバの初期値は［自動］に設定されており、アプリケーションソフトで用紙サイズを設定すれば、自動的に給紙元を探して給紙されます。プリント中に用紙がなくなっても他の給紙元に同じサイズの用紙があれば、自動的に切り替えて給紙されます。
給紙元を指定したい場合は、プリンタドライバで給紙元を設定します。プリンタドライバの操作については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

■ DOS や UNIX からプリントする場合

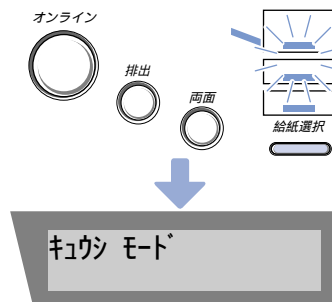
DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルで給紙元を選択します。本プリンタの給紙選択の初期値は「ジドウ」に設定されています。

1

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

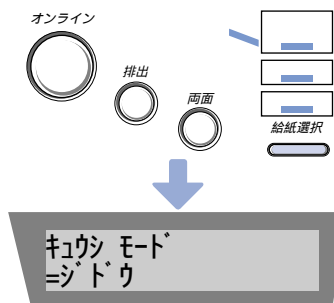
操作パネルで設定できる状態になります。

2

（給紙選択）キーを押します。

ディスプレイに「キュウシ　モード」と表示されます。

3

（給紙選択）キーを押して、給紙元を選択します。

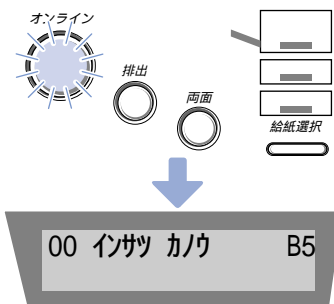
（給紙選択）キーを押すたびに、使用可能な給紙元の表示がジドウ→カセット１→カセット２（オプション取付時）→カセット3（オプション取付時）→トレイの順で変わります。

メモ

- **オプションのペーパーフィーダが装着されていないときは、カセット2、カセット3の給紙元表示ランプは点灯しません。**
- **給紙元を「ジドウ」に設定すると、カセット１の給紙元表示ランプが点灯します。**

4

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。
ディスプレイ右上に選択した給紙元の用紙サイズが表示されます。ジドウを選択したときは、カセット１の用紙サイズが表示されます。

メモ

- **給紙元の選択は、（<）、（>）キーでも可能です。**
- **給紙元の変更は、（∨）キー（リセット / 実行キー）でも可能です。**
- **給紙元は、（<）、（>）キー、（オンライン）キー、（給紙選択）キー以外のキーを押すと、選択中の給紙元に変更されます。**

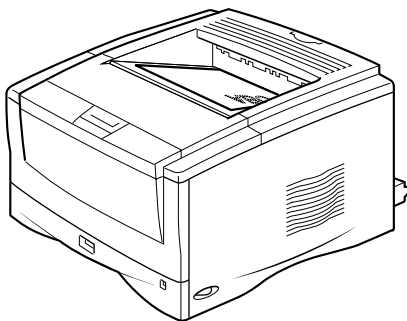
排紙先を選択する

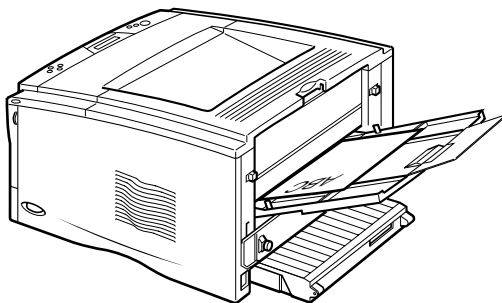
本プリンタには、2 つの排紙先があり、目的に応じて使いわけることができます。

排紙先の種類

本プリンタには、次の排紙先があります。

■フェースダウン排紙トレイ

プリンタ上面にあるトレイに印字した面が下向き（フェースダウン）で排紙されます。用紙はページ順に積み重なります。

■フェースアップ排紙トレイ

プリンタ背面のトレイに印字した面が上向き（フェースアップ）で排紙されます。用紙はページ順とは逆に積み重なります。フェースアップ排紙は、用紙がまっすぐに排紙されるので、フルブリード用紙やラベル用紙、OHP フィルム、封筒、厚紙などを印字するときに使います。

お願い

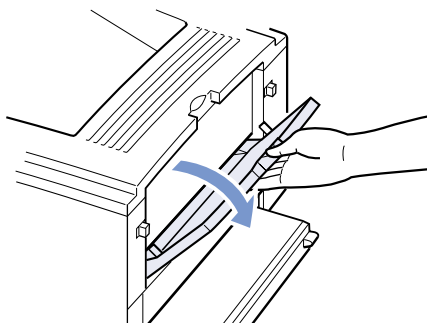
- OHP フィルムをフェースアップ排紙するときは、排紙されるたびに 1 枚ずつ OHP フィルムを取り除いてください。
- 両面ユニットで両面プリントするときは、フェースダウン排紙のみです。

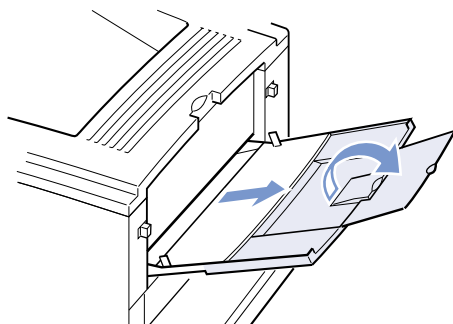
排紙先の選択

排紙先は、フェースアップ排紙トレイをセットすることによって切り替わります。フェースアップ排紙トレイを開いているときはフェースアップ排紙、閉じているときはフェースダウン排紙になります。

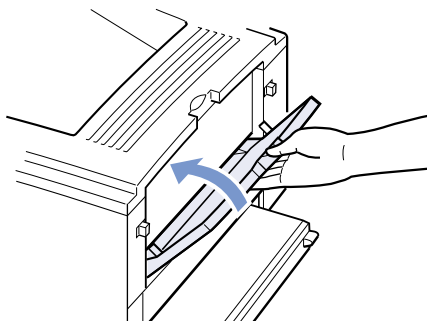
■フェースアップ排紙に切り替える

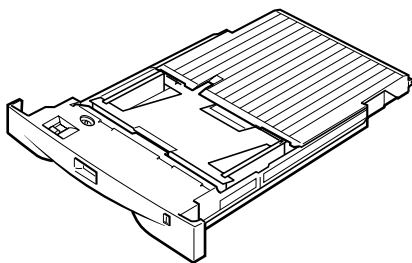
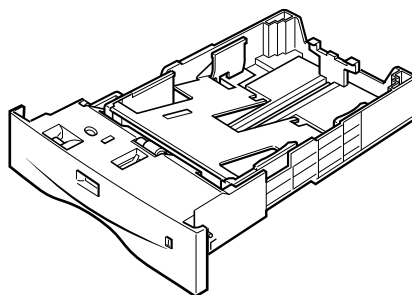
1

フェースアップ排紙トレイ上端の取っ手を後側へ引いて、フェースアップ排紙トレイを開きます。

2

補助トレイを引き出し、延長トレイを開きます。

■フェースダウン排紙に切り替える

1

延長トレイや補助トレイを収納し、フェースアップ排紙トレイを閉じます。

給紙カセットからプリントする

250枚給紙カセットと500枚給紙カセットには、A5、B5、A4、A4R、B4、A3、エグゼクティブ、レター、リーガル、レジャーサイズの普通紙（64～90g/m^{2}まで)をセットできます。また、500枚給紙カセットには、レターRやユーザペーパーの用紙もセット可能です。
標準装備の給紙カセットおよびオプションの250枚ペーパーフィーダの給紙カセットには約250枚（64g/m^2)、オプションの500枚ペーパーフィーダの給紙カセットには約500枚（64g/m^2）までセットできます。

250枚給紙カセット

500枚給紙カセット

メモ

- ユーザペーパーを500枚給紙カセットにセットする場合は、幅：210～297mm、長さ：148.5～431.8mmの用紙がセット可能です。ただし、カセット内側面や後端の用紙ガイドをセットするため、幅が約2 mm刻み・長さが約1mm刻みとなります。
- 250枚ペーパーカセットに用紙をセットする手順については、第2章「用紙をセットする」（→ P.37）をご覧ください。
- オプションの500枚ペーパーカセットに用紙をセットする手順については、500枚ペーパーフィーダの設置ガイドをご覧ください。

給紙トレイからプリントする

給紙トレイには、横幅が76.2～312mm、長さが127～469.9mmの範囲の用紙を約100枚(64g/m²)までセットできます。厚紙、OHPフィルム、ラベル用紙、ハガキ、往復ハガキ、封筒、フルブリード紙、定形外の用紙など、給紙カセットにセットできない用紙もセット可能です。
給紙トレイからプリントするときは、次の項目を設定する必要があります。

●給紙トレイに用紙をセットする（→ P.94）

●排紙先を選択する（→ P.101）

●用紙のサイズを設定する（→ P.102）
セットアップメニューの「キュウシ」グループ
「トレイヨウシサイズ」＝セットした用紙のサイズ

●用紙のタイプを設定する（→ P.105）
DOSやUNIXなど、プリンタドライバが使用できないOSからプリントする場合は、さらに次の設定も行います。
セットアップメニューの「キュウシ」グループ
「デフォルトヨウシタイプ」＝通常使用する用紙のタイプ

●プリンタドライバを設定する（→ LIPSソフトウェアガイド）
プリンタドライバからプリントするときは、次の設定を行います。
ここでは、Windows版プリンタドライバを例に説明しています。Macintosh版プリンタドライバの操作については、「LIPSソフトウェアガイド」をご覧ください。
[ページ設定]ページ
[出力用紙サイズ]＝セットした用紙のサイズ
[給紙]ページ
[用紙タイプ]＝セットした用紙のタイプ
[給紙方法]＝[手差し（トレイ)]

お願い

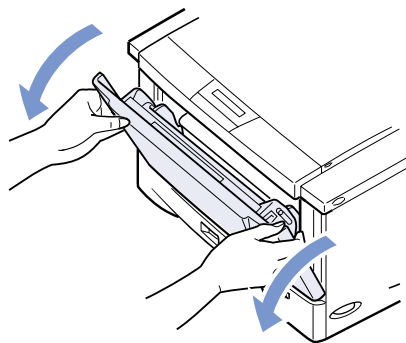
●厚紙をプリントするときは、必ずプリンタドライバの[給紙]ページの[用紙タイプ]（プリンタドライバが使用できないOSの場合は、セットアップメニューの「デフォルト用紙タイプ」）を「厚紙」に設定してください。

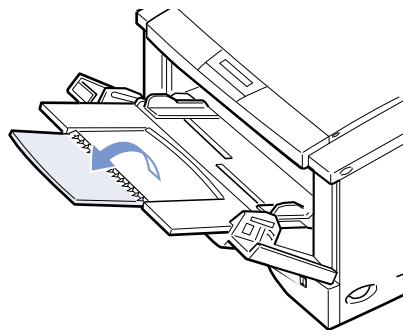
給紙トレイに用紙をセットする

■用紙（ハガキ、封筒以外）をセットする

給紙トレイに普通紙や厚紙、ラベル用紙、OHP フィルムをセットするときは、次の手順で行います。

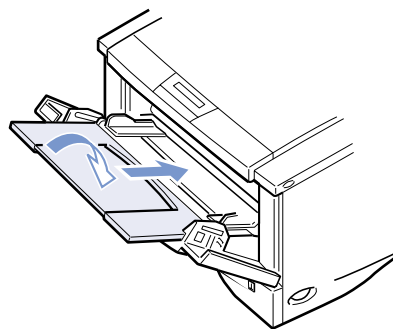
1

プリンタ前面の給紙トレイを左右の取っ手を持って開きます。

B4 や A3 などの長いサイズの用紙をセットするときは、さらに補助トレイを開きます。

お願い

●給紙トレイ、補助トレイの上にはプリントする用紙以外のものは置かないでください。また上から押したり、無理な力を加えないでください。トレイが破損することがあります。

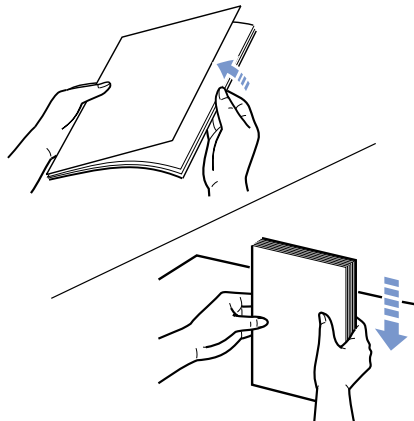
給紙トレイを閉じるときは

給紙トレイを閉じるときは、開くときと逆の手順になります。給紙トレイを使わないときは、閉じておいてください。

お願い

● 補助トレイを開いたまま給紙トレイを閉じないでください。トレイ破損の原因になります。

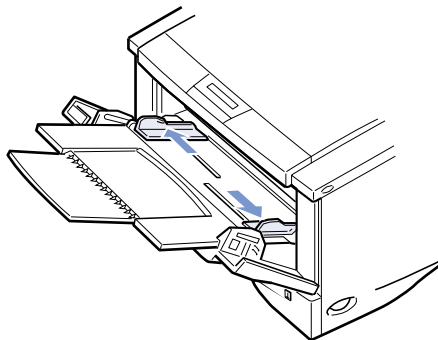
2

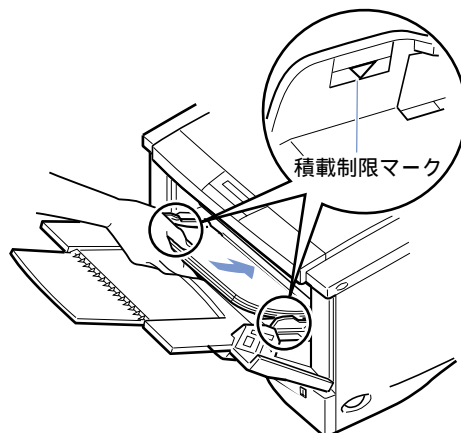
用紙の束をよくさばいてから、縁を揃えます。

用紙は、平らな場所で揃えてください。

お願い

- **OHPフィルムをさばいたり揃えたりするときは、できるだけ端を持ち、プリント面に触れないようにしてください。**
- **OHPフィルムは、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、フィルムが重なって送られ、紙づまりの原因となります。**
- **OHPフィルムに手あかや指紋、ホコリ、油分などが付着しないようにしてください。プリント不良の原因となります。**
- **用紙の先端が折れ曲がっていたりカールしている場合は、端を伸ばしてからセットしてください。**

3

用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。

4

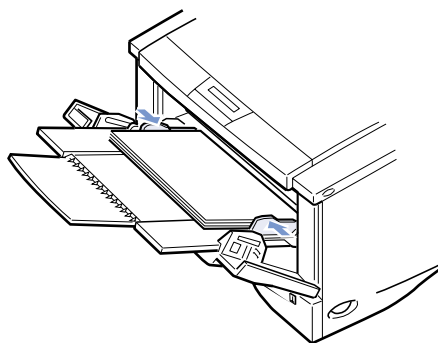
用紙のプリント面を上にして、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

お願い

- 給紙トレイには、普通紙（64g/m²）の場合で約100枚までセットできます。用紙束の高さが積載制限マークを超えていないことを確認してください。
- 用紙を斜めにセットしないでください。

メモ

- A4やレターサイズのように用紙を横送りでセットした場合は、本体正面から見て右側が画像の上端になります。
- B4やA3サイズのように用紙を縦送りでセットした場合は、奥側が画像の上端になります。

5

用紙ガイドをスライドさせて、用紙の左右にぴったりと合わせます。

お願い

- 用紙ガイドと用紙の間に隙間が開いたり、強く押しすぎて用紙がゆがんだりしないようにしてください。

次に排紙先を選択してください。（→ P.101）

■ハガキをセットする

給紙トレイには、100mm × 148mmの官製ハガキ、および折り目のない往復ハガキ（200mm × 148mm）を縦送り方向に約40枚までセットできます。

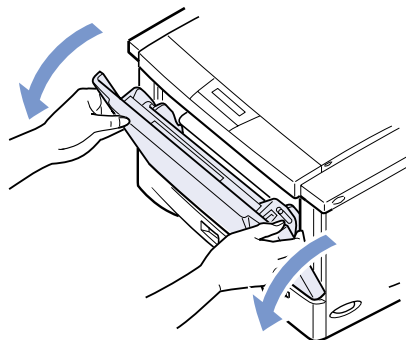
お願い

- **官製ハガキ以外のハガキ（106～128g/m² 以外）へのプリントは、印字品質が低下したり、紙づまりの原因となることがあります。**
- **周囲5mmの範囲にはプリントできません。**
- **官製ハガキおよび往復ハガキは横送りにはセットできません。必ず縦送りにセットしてください。**
- **両面ユニットは使えません。両面にプリントするときは、必ず片面を1枚ずつ給紙トレイにセットしてプリントしてください。**
- **インクジェット用の官製ハガキを使用することはできません。**

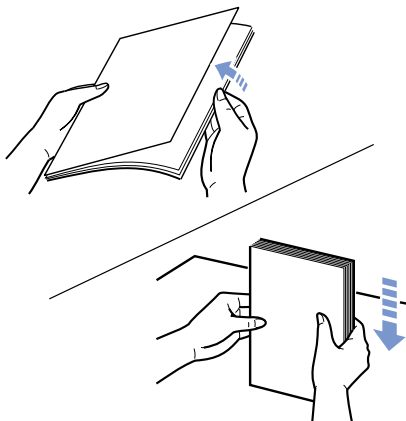
ハガキを給紙トレイにセットするときは、次の手順でセットします。

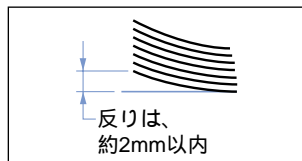
1

プリンタ前面の給紙トレイを開きます。

往復ハガキの場合は、補助トレイも開いてください。

2

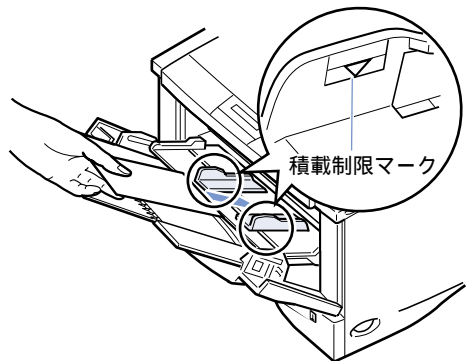
ハガキをよくさばいてから、縁を揃えます。

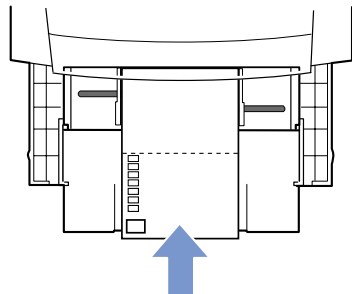
ハガキは平らな場所で揃えてください。

お願い

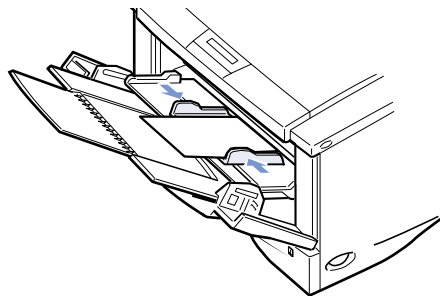
- **反りがあるときは、上向きに約2mm以内になるように反りを修正して、よくさばいてからセットしてください。**

3

用紙ガイドの幅をハガキの幅より少し広めにセットします。

4

プリントする面を上向き、ハガキの上端を奥側にして、給紙トレイの奥に突き当たるまでゆっくりと差し込みます。

お願い

- 給紙トレイには、ハガキを約 40 枚までセットできます。用紙束の高さが積載制限マークを超えていないことを確認してください。
- 往復ハガキは、必ず折り目の付いていないものをご使用ください。
- 往復ハガキは、必ず縦送りでセットしてください。横送りでセットすることはできません。
  また、往復ハガキにプリントするときは、アプリケーションソフトの用紙設定と印字方向をセットする用紙の方向に合わせて設定してください。（例：Windows NT 4.0/2000 の場合は、「往復はがき横」を選択してください。）

5

用紙ガイドをスライドさせて、ハガキの左右にぴったりと合わせます。

お願い

- 必ず用紙ガイドをハガキの幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

次に排紙先を選択してください。（→ P.101）

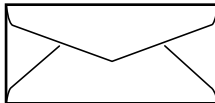
■封筒をセットする

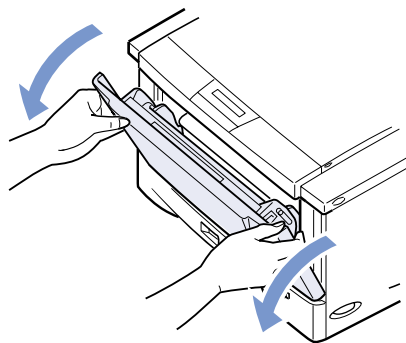
給紙トレイには、洋形4号の封筒をセットできます。封筒を給紙トレイにセットするときは、次の手順でセットします。

お願い

●セットできる封筒は、次のような構造のものに限ります。

洋形４号
推奨品：Canon LBP 専用封筒 Y-401
（105mm × 235mm）

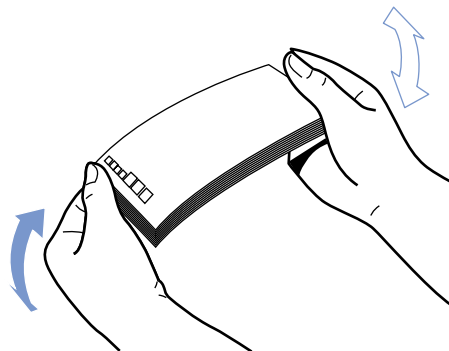
1

プリンタ前面の給紙トレイを開きます。

必要に応じて補助トレイも開きます。

2

封筒の束を平らな場所へ置き、縁の折り目をきちんとつけて、平らにします。

封筒は、平らな場所で揃えてください。

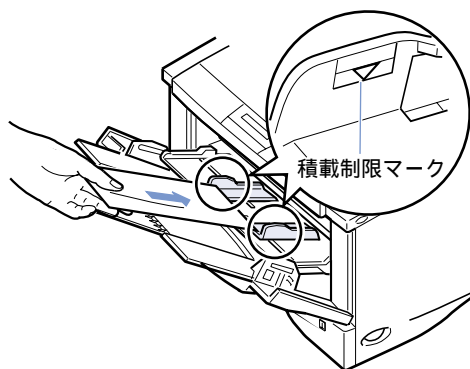
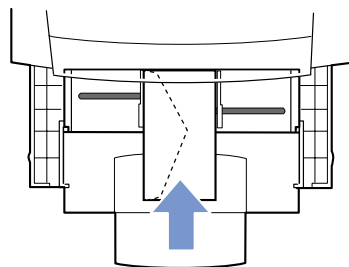
3

封筒の両端を持って、封筒をさばきます。

4

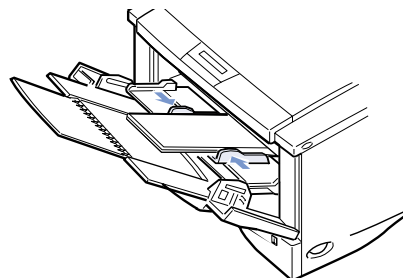
用紙ガイドの幅を封筒の幅より少し広めにセットします。

5

封筒の宛名を書く面を上向き、封筒のふたを左側にして、給紙トレイの奥に突き当たるまでゆっくりと差し込みます。

お願い

- 給紙トレイには、封筒を約10枚までセットできます。用紙束の高さが積載制限マークを超えていないことを確認してください。
- 封筒は、裏面（貼り合わせのある面）にはプリントできません。
- 洋形4号封筒を図のようにふたが左側になる向きにセットしてください。

6

用紙ガイドをスライドさせて、封筒の左右にぴったりと合わせます。

お願い

- 必ず用紙ガイドを封筒の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

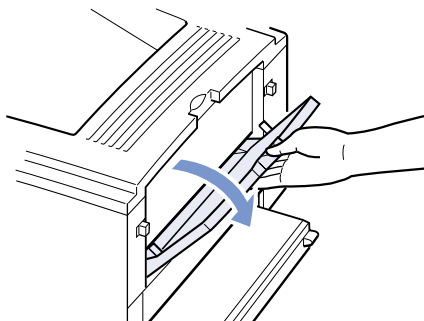
次に排紙先を選択してください。（→ P.101）

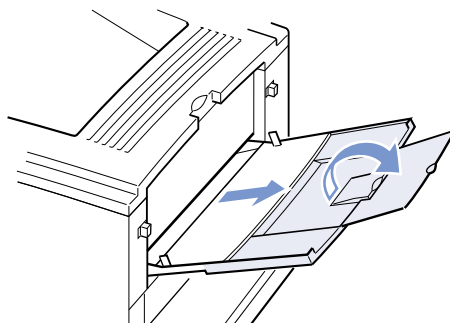
排紙先を選択する

厚紙、OHP フィルム、ラベル用紙、ハガキ、往復ハガキ、封筒、フルブリード紙、定形外の用紙などにプリントする場合、排紙先をフェースアップ排紙トレイに切り替えます。普通紙にプリントする場合は、目的に合わせて、排紙先を選択することができます。

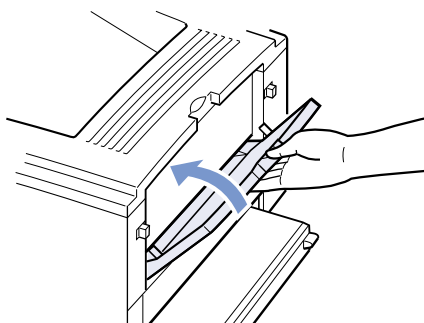
■フェースアップ排紙に切り替える

1

フェースアップ排紙トレイ上端の取っ手を後側へ引いて、フェースアップ排紙トレイを開きます。

2

補助トレイを開きます。

■フェースダウン排紙に切り替える

1

補助トレイを収納し、フェースアップ排紙トレイを閉じます。

次に給紙トレイの用紙サイズを設定してください。**（→ P.102）**

給紙トレイの用紙サイズを設定する

給紙トレイに用紙をセットしたときは、操作パネルから給紙トレイの用紙サイズを設定します。定形サイズの用紙や封筒は、そのサイズを設定します。定形外の用紙は、「ユーザペーパー」に設定します。給紙トレイの用紙サイズは、工場出荷状態では「A4」に設定されています。
給紙トレイの用紙サイズは、次の手順で設定します。

お願い

- **用紙サイズの設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合 オンライン キーを押すと、「トレイ　ヨウシ　サイズ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。**
- **定形外の用紙をセットしたときは、トレイ用紙サイズを「ユーザペーパー」に設定してプリントしてください。**
- **トレイ用紙サイズを「フリー」に設定すると、プリンタドライバで設定した用紙サイズとのチェックを行いません。必ずプリンタドライバで設定した用紙サイズと給紙トレイにセットした用紙が合っているか、確認してお使いください。**

メモ

- **次の用紙は、略号で表示されます。**
  A5 縦：A5R、B5 縦：B5R、A4 縦：A4R、レター：LT、レター縦：LTR、リーガル：LG、レジャー：LD、エグゼクティブ：EX、エグゼクティブ縦：EXR、フリー：FR、ハガキ：HG、往復ハガキ：HG2 または H2、洋形 4 号封筒：Y4、ユーザペーパー：80 ～ 99
- **多様な用紙サイズを給紙トレイからプリントするとき、確実に用紙のチェックが可能な場合は「フリー」が便利です。**

1

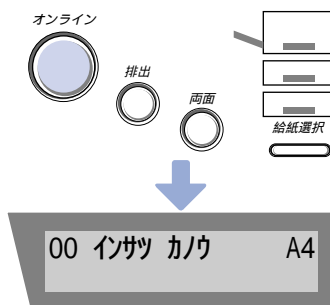
オンライン キーを押して、オンラインランプを消灯します。

操作パネルで設定できる状態になります。

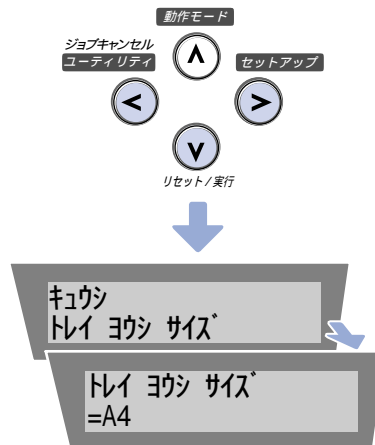
第 4 章 給紙・排紙のしかた

2

（セットアップ）キーを押します。

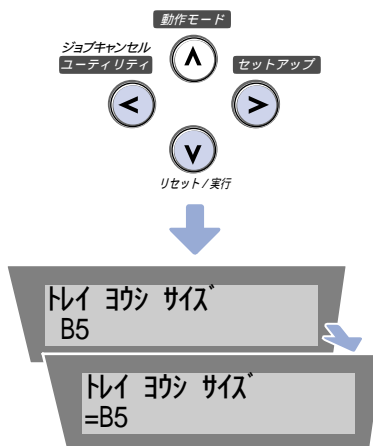
3

（＜）、（＞） キーで「キュウシ」を選択し、（∨）キーを押します。

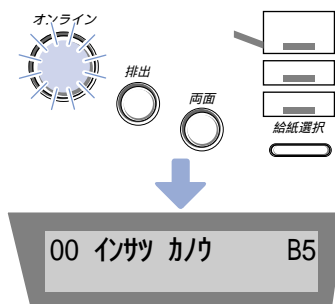
4

（＜）、（＞）キーで「トレイ　ヨウシ　サイズ」を選択し、（∨）キーを押します。

5

＜、＞ キーでトレイ用紙サイズを選択し、∨ キーを押します。

用紙サイズの左に「＝」が表示され、「トレイ　ヨウシ　サイズ」が設定されます。

6

オンライン キーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

プリンタドライバからプリントする場合は、プリンタドライバの設定を行ってください。（→ LIPS ソフトウェアガイド）

DOS や UNIX などプリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、デフォルト用紙タイプの設定を行ってください。（→ P.105）

デフォルト用紙タイプを設定する

DOSやUNIXなど、プリンタドライバが使用できないOSからプリントする場合は、操作パネルから用紙タイプの設定を行います。用紙の種類に合わせて操作パネルから「デフォルト　ヨウシ　タイプ」を設定します。工場出荷状態では「フツウシ」に設定されています。

用紙の種類	セットアップメニュー 「デフォルト ヨウシ タイプ」設定値
普通紙（64～105g/m²）	フツウシ（またはフツウシL）
厚紙（106～128g/m²）	アツガミ（またはアツガミH）
OHPフィルム	OHP
ラベル用紙	アツガミ（またはアツガミH）

お願い

- ●封筒、ハガキ、往復ハガキの場合は、給紙メニューの「トレイ　ヨウシ　サイズ」を設定すると、自動的に用紙に合った印字モードでプリントされます（→P.98）。操作パネルからの「デフォルト　ヨウシ　タイプ」の設定は必要ありません。
- ●実際に給紙トレイにセットする用紙のタイプと「デフォルト　ヨウシ　タイプ」の設定が一致していないとエンジンに重大な障害の起こる恐れがありますので、必ず用紙のタイプを一致させてください。
- ●普通紙をプリントして用紙のカールが目立つ場合は、「デフォルト　ヨウシ　タイプ」を「フツウシL」に設定してください。
- ●厚紙やハガキ、往復ハガキ、封筒、ラベル用紙をプリントして定着性がよくない場合は、「デフォルト　ヨウシ　タイプ」を「アツガミ H」に設定してください。
- ●目的のプリントが終わった後は、「デフォルト　ヨウシ　タイプ」の設定を元に戻してください。

操作パネルでデフォルト用紙タイプを設定するときは、次の手順で行います。

1

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

操作パネルで設定できる状態になります。

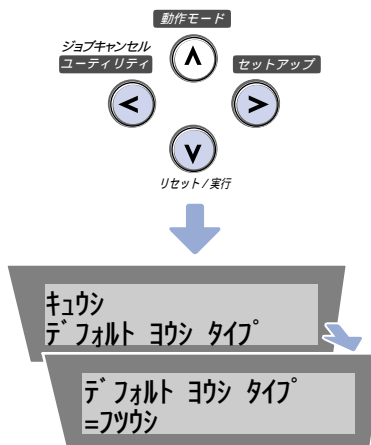
2

セットアップ キーを押します。

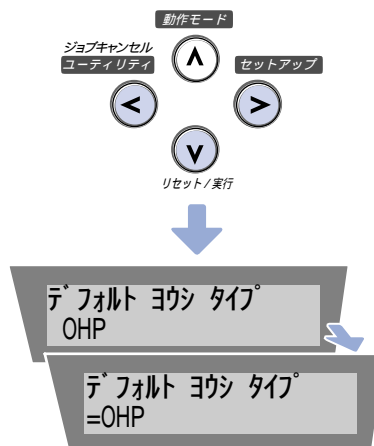
3

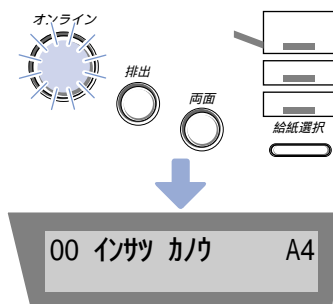
＜、＞ キーで「キュウシ」を選択し、∨ キーを押します。

4

＜、＞ キーで「デフォルト　ヨウシ　タイプ」を選択し、∨ キーを押します。

5

＜、＞ キーで用紙タイプを選択し、∨ キーを押します。

用紙タイプの左に「＝」が表示され、「デフォルト　ヨウシ　タイプ」が設定されます。

6

オンライン キーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

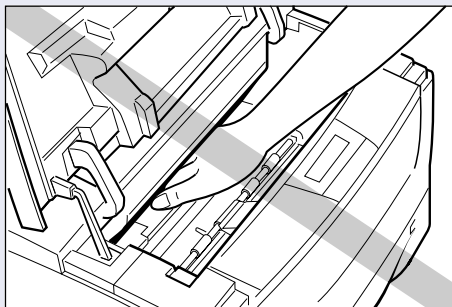
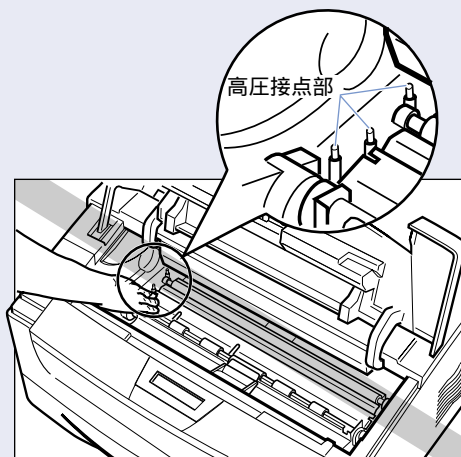
第 5 章

プリンタのメンテナンス

トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジは消耗品です。トナーが少なくなると、ディスプレイに「16 トナー　チェック」または「16 トナー　コウカン」のメッセージが表示されます。これらのメッセージが表示されたときは、次の操作をしてからトナーカートリッジを交換してください。トナーカートリッジを交換するときは、必ず除電ユニットと定着ローラの清掃を行ってください。

注意

- **プリンタを使用した直後は、上カバー内部の奥に手を入れないでください。奥にある定着ユニット付近が非常に高温になっています。また、上カバー内部の指定された以外の部分には触れないように注意してください。万一触れるとやけどをする恐れがあります。**

- **上カバー内部の高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタが破損する恐れがあります。**

お願い

- **排紙トレイにプリントした用紙が残っているときは、取り除いてから作業してください。**

メモ

- トナーが少なくなったときに「16 トナー　チェック」と「16 トナー　コウカン」のどちらが表示されるかは、メニュー機能の設定によります。本プリンタの工場出荷時の状態では、「16 トナー　チェック」が表示されるように設定されています。メニュー機能の設定については、「LIPS 機能ガイド」をご覧ください。
- 本プリンタ用 EP-62トナーカートリッジの寿命は、A4サイズの用紙を横置きにセットした場合で約10,000枚です。この枚数は一般的なプリント（印字比率：約5%、印字濃度：工場出荷初期設定値）の場合です。トナーの消費量は、プリントする書類の内容によって異なります。グラフィックデータなどのように空白部分が少ない書類はトナー消費量が多くなるので、このような書類を多くプリントする場合はトナーカートリッジの寿命が短くなります。

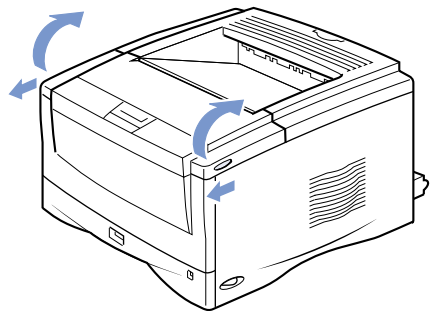
トナーを使いきるには

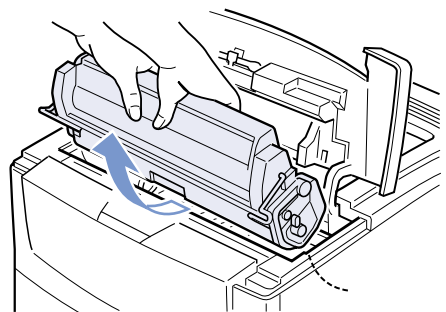
ディスプレイに「16 トナー　チェック」や「16 トナー　コウカン」のメッセージが表示されたときは、トナーカートリッジを交換する前に次のような操作をしてみてください。メッセージが消え、トナーが完全になくなるまで、しばらくの間プリントできることがあります。

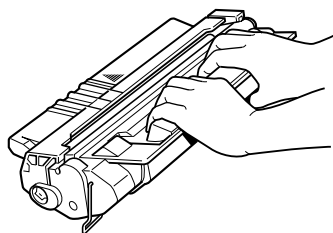
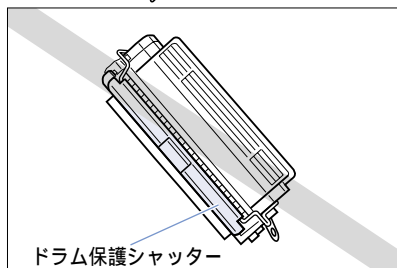
メモ

- 「16 トナー　チェック」は、トナーカートリッジ内のトナーが少なくなっていることを警告するメッセージです。プリンタは停止しません。
- 「16 トナー　コウカン」は、トナーがなくなり、トナーカートリッジの交換が必要なことを知らせるメッセージです。このメッセージが表示されると、プリンタが停止します。

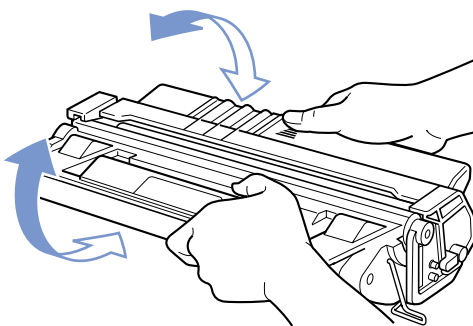
1

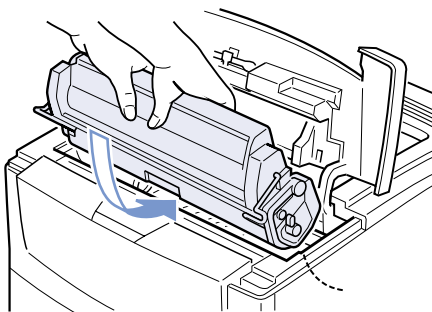
プリンタが停止したら、上カバー両側面の上カバー開閉ラッチを前側に引いて、上カバーを開きます。

2

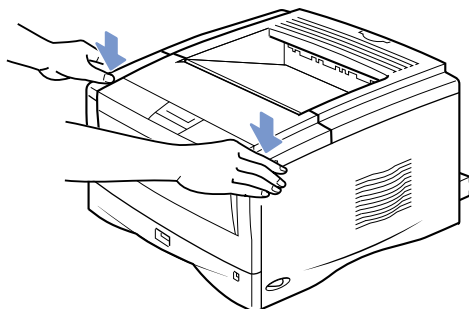
トナーカートリッジを取り出します。

第5章　プリンタのメンテナンス

- トナーカートリッジを取り扱う際は、図のように正しい持ちかたで持ち、必ず矢印のついている面を上にして取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。

- ドラム保護シャッターなど、指定以外の部分に触れないように注意して取り扱ってください。故障の原因になることがあります。

3

右図のように持ち、ゆっくりと5〜6回振り、内部のトナーを均一にならします。

トナーがこぼれないように注意して振ってください。

4

トナーカートリッジを図のように両手で持ち、トナーカートリッジ両側の突起を本体内側のトナーカートリッジガイドに合わせて奥に当たるまで押し込んだら、下に降ろします。

5

上カバーを閉じます。

もし、上記のような操作をしてもメッセージが消えなかったり、プリントがかすれてきたときは、新しいトナーカートリッジを購入して交換してください。

お願い

- **トナーカートリッジが正しく取り付けられていないと、上カバーが完全にしまりません。無理に閉めようとすると、上カバーを破損する恐れがあります。上カバーが完全に閉まらないときは、もう一度上カバーを開けてトナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。**
- **トナーカートリッジを取り付けた後、上カバーを開けたまま長時間放置しないでください。**

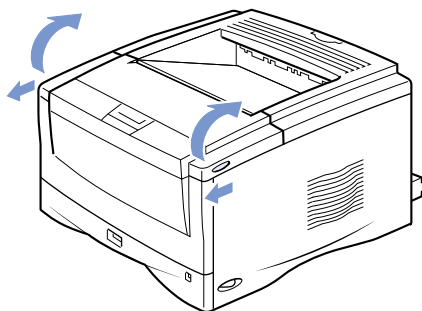
除電ユニットを清掃する

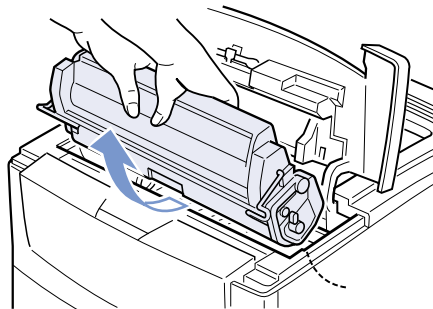
トナーカートリッジを交換するときは､次のような手順で除電ユニットと搬送ローラ付近を清掃してください。清掃することで、画像不良の発生を防止します。

お願い

- 指示した箇所以外の部品には触れないように注意して清掃してください。

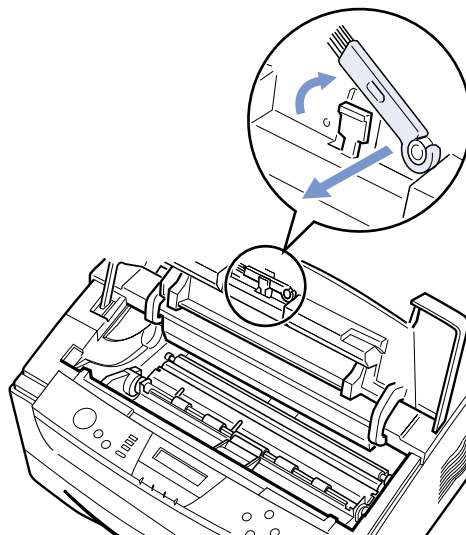
1

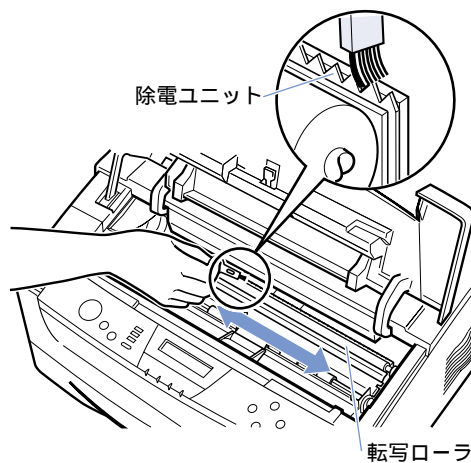
プリンタが停止したら､上カバー両側面の上カバー開閉ラッチを前側に引いて、上カバーを開きます。

2

使用済みのトナーカートリッジを取り出します。

警告

- **使用済みのトナーカートリッジは、絶対に火の中へ投じないでください。カートリッジ内に残ったトナーに着火し、やけどや火災の原因になります。**

3

上カバー内側の除電針清掃ブラシを取り外します。

4

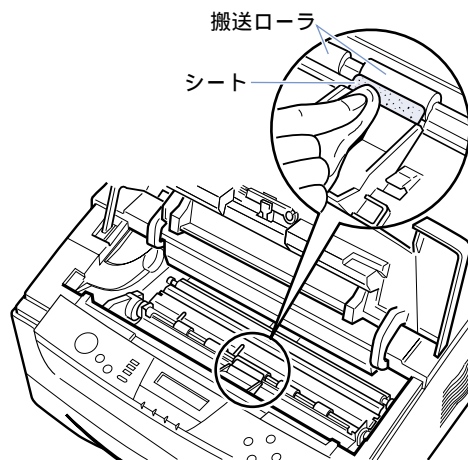
除電針清掃ブラシを図のように持ち、ブラシの毛先を除電ユニットに軽く当て、ゆっくりと除電ユニットの範囲を往復させて清掃します。

- 転写ローラの右側にあるギアなど、除電ユニット以外の部品に触れないように清掃してください。
- 除電ユニットの清掃は、必ず付属の除電針清掃ブラシで行ってください。付属の除電針清掃ブラシ以外のものを使用すると、除電ユニットを破損することがあります。
- 転写ローラに触れないように注意して清掃を行ってください。転写ローラに触れると、印字品質低下の原因になります。

5

清掃し終わったら、除電針清掃ブラシを元の位置に戻します。

6

白色のシートと黒色の搬送ローラ付近に用紙くずやトナー粉がたまっているときは、水を含ませて固くしぼった柔らかい布で拭き取ります。

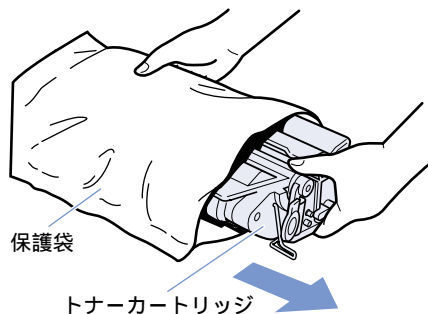
拭き取ったら、カラ拭きしてください。

お願い

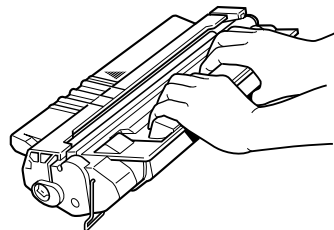
- 白色のシートは、無理にめくったり傷つけたりしないようにしてください。
- 中性洗剤などのクリーニング溶液は、絶対に使用しないでください。
- 白色のシートや搬送ローラに水分や用紙くずが残らないようにしてください。
- 必ず最後にカラ拭きしてください。内部に水分が残ると、故障の原因になります。
- 搬送ローラには、素手で触れないでください。

トナーカートリッジをセットする

交換用のトナーカートリッジは、次の手順でセットしてください。

1

トナーカートリッジを保護袋から取り出します。

お願い

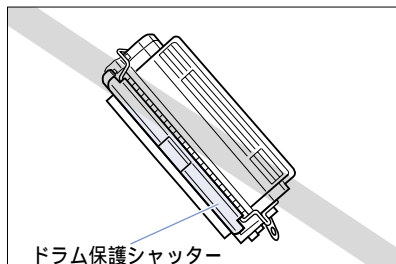
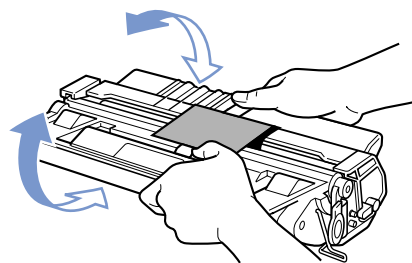
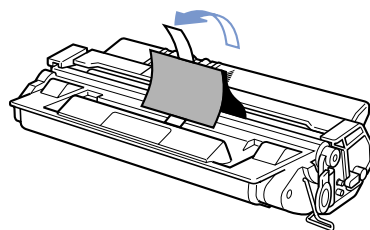
- **交換用のトナーカートリッジは、キヤノン純正品 をお使いになることをお勧めします。**
- **トナーカートリッジを取り扱う際は、図のように正しい持ちかたで持ち、必ず矢印のついている面を上にして取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。**
- **ドラム保護シャッターなど、指定以外の部分に触れないように注意して取り扱ってください。故障の原因になることがあります。**

- **トナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。本体のメンテナンスなどのためにトナーカートリッジを取り出した際、必要になります。**

2

トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと5～6回振って内部のトナーを均一にならします。

お願い

- **トナーが均一になっていないと、印字品質が低下します。**

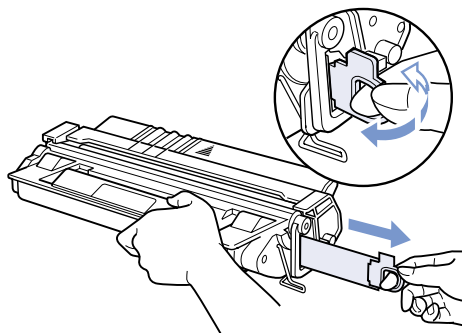
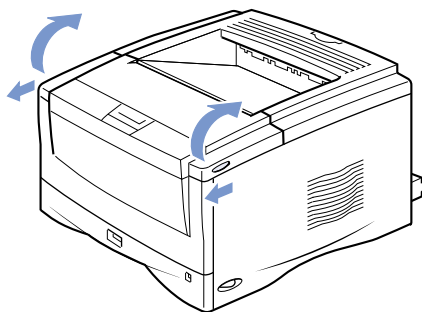
3

テープを持って静かに引き上げ、ラベルと黒い保護シートごと矢印の方向に引いて取り除きます。

4

トナーカートリッジを平らな場所に置き、カートリッジを押さえながらオレンジ色のタブを左右に数回折り曲げた後、タブをまっすぐ横に引いてシーリングテープを引き抜きます。

シーリングテープは、タブに指を掛け、真っ直ぐ横に引っ張って引き抜きます。

注意

- **万一、手や衣服がトナーで汚れた場合は、すぐに水で洗い流してください。このとき、温水は使わないでください。トナーが融着してとれなくなる恐れがあります。**

お願い

- **シーリングテープを最後まで完全に抜き取らないと、印字不良の原因になります。**
- **曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張らないでください。シーリングテープが途中で切れて完全に引き抜けなくなり、トナーカートリッジが使えなくなることがあります。**
- **引き抜いたシーリングテープは廃棄してください。**

5

上カバー両側面の上カバー開閉ラッチを前側に引いて、上カバーを開きます。

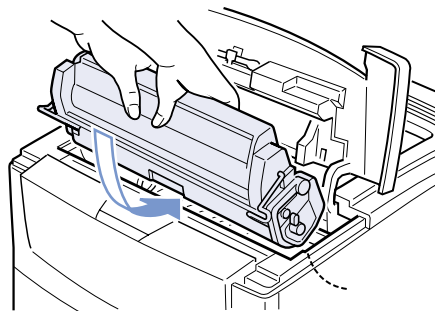
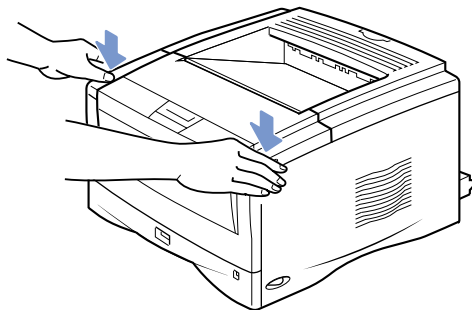
6

トナーカートリッジを図のように両手で持ち、トナーカートリッジ両側の突起を本体内側のトナーカートリッジガイドに合わせて奥に当たるまで押し込んだら、下に降ろします。

7

上カバーを閉じます。

上カバーは両手で、カチッと音がするまでしっかり閉じてください。

お願い

- **トナーカートリッジが正しく取り付けられていないと、上カバーが完全にしまりません。無理に閉めようとすると、上カバーを破損する恐れがあります。上カバーが完全に閉まらないときは、もう一度上カバーを開けてトナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。**
- **トナーカートリッジを取り付けた後、上カバーを開けたまま長時間放置しないでください。**

キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みカートリッジの回収を推進しています。

このカートリッジ回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。つきましては、キヤノンの“環境保全と資源の有効活用”の主旨にご賛同いただければ、お手数ではございますが、ご使用済みとなったカートリッジをお買い求めの販売店または最寄りのキヤノン販売営業拠点にお持ちいただければ幸いと存じます。

定着ローラを清掃する

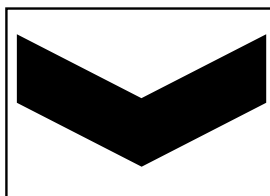
トナーカートリッジの交換が終わったら、次の手順で定着ローラを清掃してください。また、プリントした用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合も、定着ローラを清掃してください。清掃することで、画像不良の発生を防止します。定着ローラの清掃は、まずクリーニング用紙をプリントし、そのクリーニング用紙を使って清掃します。

お願い

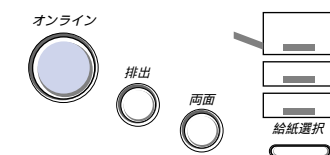
●定着ローラの清掃は、トナーカートリッジの交換毎に行ってください。

■クリーニング用紙のプリント

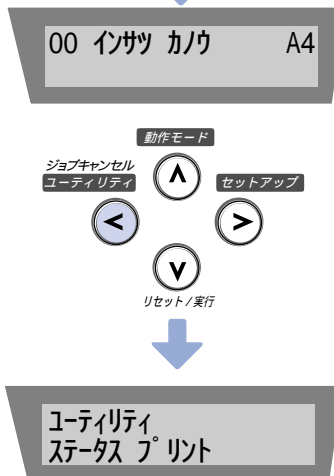
定着ローラを清掃するときは、A4またはレターサイズの用紙に図のようなクリーニング用紙をプリントします。

お願い

●A4またはレターサイズの用紙以外にクリーニング用紙をプリントすることはできません。A4またはレターサイズの用紙をご用意ください。
●A4またはレターサイズの用紙が給紙カセットにセットされていないときは、給紙トレイにA4またはレターサイズの用紙を横送りでセットしてください。

1

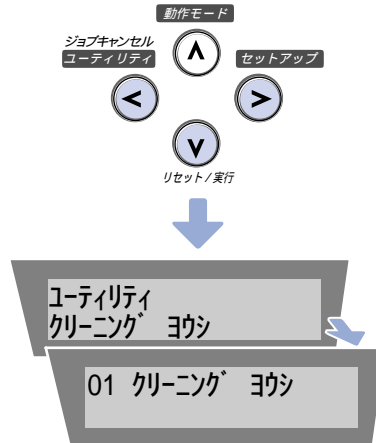
(オンライン) キーを押して、オンラインランプを消灯します。

2

(ユーティリティ) キーを押します。

ディスプレイに「ステータス　プリント」と表示されます。

3

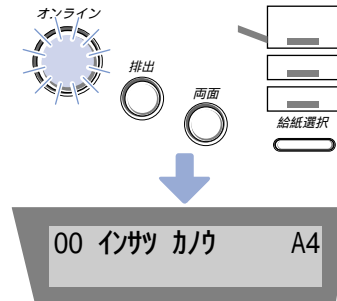
＜、＞ キーを押して「クリーニング ヨウシ」を選択し、∨ キーを押します。

ディスプレイに「01　クリーニング ヨウシ」と表示され、クリーニング用紙がプリントされます。

お願い

- A4 またはレターサイズの用紙がいずれの給紙元にもセットされていないときは、メッセージが表示されます。給紙トレイに用紙をセットしてください。
- 給紙選択を給紙トレイに設定し、A4 用紙をセットしてください。

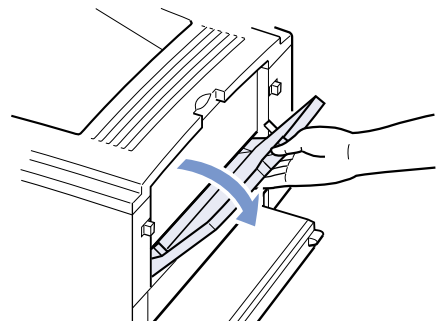
4

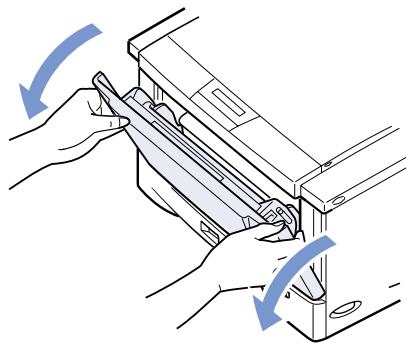
オンライン キーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

■定着ローラの清掃

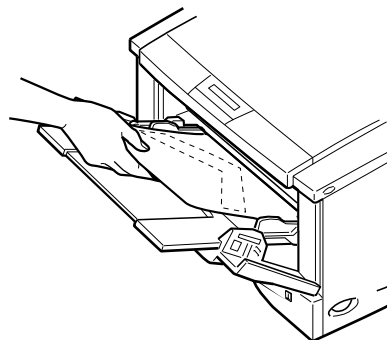
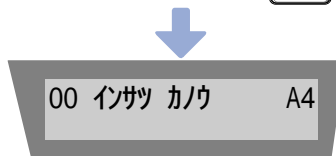
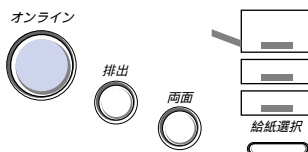
プリントしたクリーニング用紙を使って定着ローラを清掃します。定着ローラを清掃するときは、給紙トレイから給紙し、フェースアップ排紙トレイに排紙します。

1

フェースアップ排紙トレイを開き、フェースアップ排紙に切り替えます。

2

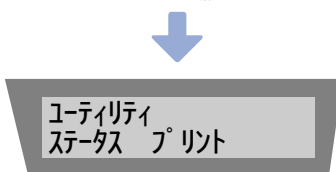
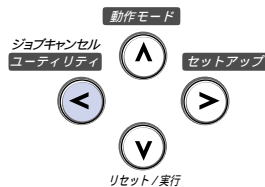
プリンタ前面の給紙トレイを左右の取っ手を持って開きます。

3

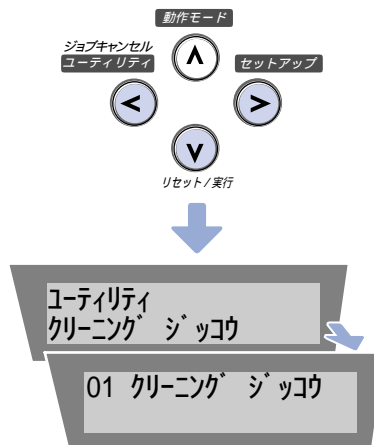
クリーニング用紙の印字面を下向きにして、矢印が奥側に向くようにセットします。

4

(オンライン) キーを押して、オンラインランプを消灯します。

5

(ユーティリティ) キーを押します。

ディスプレイに「ステータス　プリント」と表示されます。

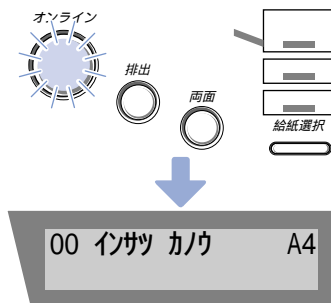
6

＜、＞ キーを押して「クリーニング ジッコウ」を選択し、∨ キーを押します。

クリーニング用紙がゆっくりと送られて、定着ローラの清掃を開始します。

メモ

● クリーニング用紙のプリントには、約90秒かかります。

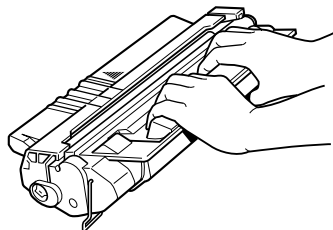
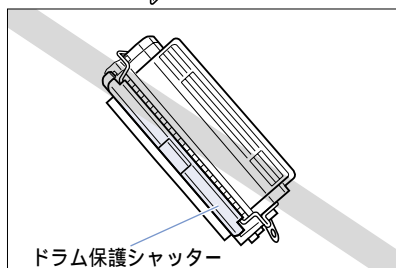
7

オンライン キーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

トナーカートリッジ取り扱いのご注意

トナーカートリッジは、光に敏感な部品や精密な機構の部品で構成されています。粗雑な取り扱いは、破損や印字品質低下の原因となることがあります。トナーカートリッジの取り付けや取り外し時には、次のような点に注意して取り扱ってください。

お願い

- トナーカートリッジを取り扱う際は、図のように正しい持ちかたで持ち、必ず矢印のついている面を上にして取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。

- ドラム保護シャッターなど、指定以外の部分に触れないように注意して取り扱ってください。故障の原因になることがあります。

- 絶対にドラム保護シャッターを開けないでください。感光ドラムの品質が劣化します。
- 絶対に直射日光や強い光に当てないでください。
- 本体にセットするまでは保護袋から出さないでください。本体から取り外したときは、すみやかに厚い布で包むか、トナーカートリッジが入っていた保護袋に入れてください。
- トナーカートリッジは磁気製品です。ディスプレイやコンピュータ本体など、磁気を発生する装置に近付けないでください。
- フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気を嫌う製品には近づけないでください。データ破損などの原因を与えることがあります。
- 絶対に分解や改造などをしないでください。
- トナーが手や衣服についた時は、すぐに水で洗い流してください。
- トナーカートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着する（結露）ことがあります。寒い場所に保管してあった新品のトナーカートリッジを暖かい場所で取り付けるときなどは、保護袋を開封せずに2時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。
- 交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正品をお使いになることをお勧めします。
- 交換用に購入したトナーカートリッジは、パッケージに記載された有効期間内に使用してください。
- 化学薬品を使用している場所では、使用・保管しないでください。

トナーカートリッジの保管について

交換用にお求めになったトナーカートリッジや、修理や移動時に取り出したトナーカートリッジは、次のような点に注意して保管してください。

お願い

- **新品のトナーカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋を開封しないでください。**
- **使用中のトナーカートリッジを取り出したときは、遮光のためにパッケージに使われていた保護袋、あるいは厚手の布で包んで保管してください。**
- **立てたり、裏返しにしないでください。プリンタにセットするときと同じ向きで保管してください。**
- **直射日光の当たる場所は避けてください。**
- **高温多湿の場所や、温度変化や湿度変化の激しい場所は避けてください。**
  保管温度範囲：0～35℃
  保管湿度範囲：35～85%RH（相対湿度・結露しないこと）
- **アンモニアなどの腐食性のガスが発生する場所や、空気に塩分が多く含まれている場所、ほこりの多い場所での保管は避けてください。**
- **ディスプレイやコンピュータ本体など、磁気を発生する装置の近くには置かないでください。**
- **フロッピーディスクなど、磁気を嫌う製品の近くには置かないでください。**
- **幼児の手の届かないところに保管してください。**

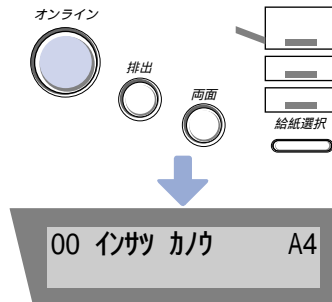
結露とは
保管湿度範囲内でも、外気との温度差によってトナーカートリッジ外部や内部に水滴が付着することがあります。この、水滴が付着する状態を結露といいます。結露はトナーカートリッジの品質に悪影響をおよぼします。

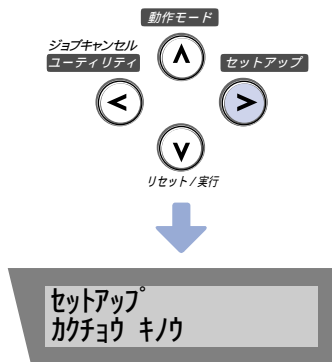
印字濃度を調整する

プリント結果の印字濃度が濃すぎたり、薄すぎたりするようなときは、次のような操作でトナー濃度を調整します。トナー濃度は、工場出荷時に標準的な濃度（4）に設定されています。トナー濃度は、操作パネルとユーティリティソフトのいずれからでも設定できます。ユーティリティソフトからの設定方法については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。
トナー濃度をプリンタの操作パネルから設定するときは、次の手順で操作します。

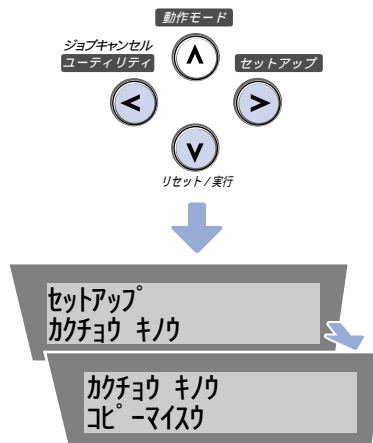
1

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

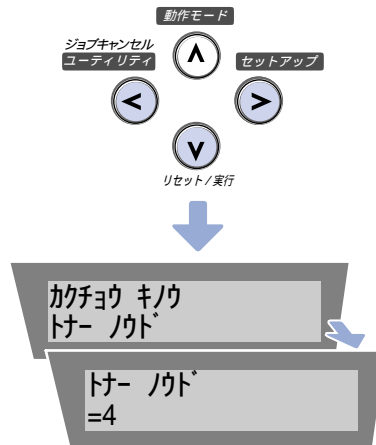
2

（セットアップ）キーを押します。

メニュー機能が使える状態になります。

3

（＜）、（＞）キーで「カクチョウ　キノウ」を選択し、（∨）キーを押します。

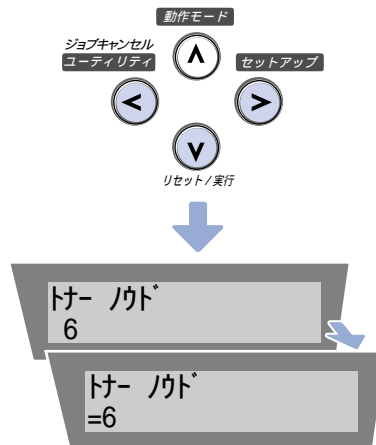
拡張機能の設定項目が表示されます。

4

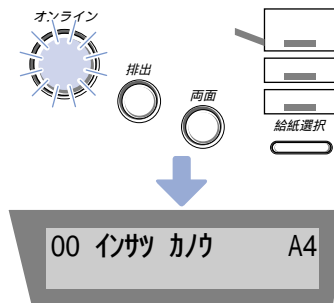
(<)、(>) キーで「トナー　ノウド」を選択し、(∨) キーを押します。

トナー濃度の設定値が表示されます。

5

(<)、(>) キーで目的の数値を選択し、(∨) キーを押します。

(<) キーを押すと数値が減り、印字濃度は薄くなります。
(>) キーを押すと数値が増え、印字濃度は濃くなります。

6

(オンライン) キーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

本体を清掃する

本プリンタの最良の印字品質を保つために、定期的に本体外部や排気口を清掃してください。

外装の清掃

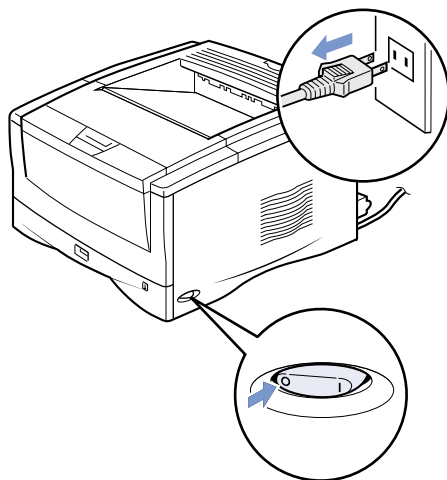
本プリンタの清掃は、故障や感電事故を避けるため、次のような点に注意して清掃を行ってください。

- 清掃する前に、必ず電源をオフにして電源コードを電源コンセントから抜き取ってください。感電やプリンタ故障の原因になります。
- アルコールやベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本体内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原因になります。

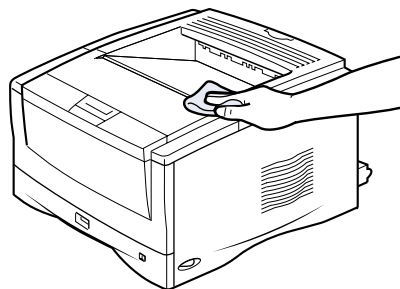
- 本体のプラスチックが変質したりひびが入ることがありますので、絶対に水または水で薄めた中性洗剤以外のクリーニング溶液を使用しないでください。
- 中性洗剤は必ず水で薄めてご使用ください。
- 上カバーやカセット保護カバー、本体内部の機構部などには、絶対に注油しないでください。本プリンタは注油の必要はありません。

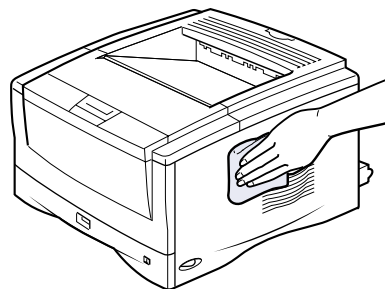
1

電源をオフにして、電源コードを電源コンセントから外します。

電源をオフにするときは、プリント中のデータがないことを確認してください。

2

水または水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞り、汚れを拭き取ります。

中性洗剤を使用したときは、必ず後から水を含ませた柔らかい布で洗剤を拭き取ってください。

3

汚れが落ちたら、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。

4

完全に乾いたら、電源コードを電源コンセントに接続します。

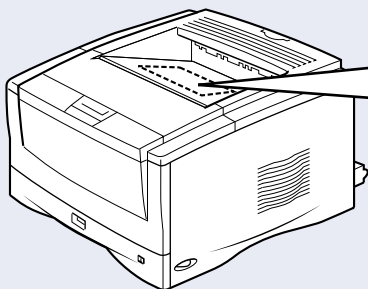
プリンタの取り扱いについて

本プリンタは、いろいろな電子部品や精密な光学部品を多く使用しています。以下の注意をよくお読みいただき、十分に注意して取り扱ってください。

レーザ光について

レーザ光は人体に有害となる恐れがあります。そのため本プリンタではレーザ光はレーザスキャナユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザ光が漏れる心配は全くありません。
安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。

注意

- **本書で指示された以外のカバーは絶対に開けないでください。**
- **レーザスキャナユニットのカバーに貼ってある注意ラベル（下図参照）をはがさないでください。**

- **万一レーザ光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因となることがあります。レーザ光は目に見えませんので、注意が必要です。**

プリンタ取り扱いのご注意

つねに最良の状態でプリントできるように、次の注意を守ってください。

警告

● 注油や分解は絶対にしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
● 次のような場合は、本プリンタの電源コードを抜いて、お買い上げになった販売店にお問い合わせください。火災や感電の原因になることがあります。
・電源プラグやコードが傷ついている場合
・本体内部に液体が入った場合
・本体が雨や水に濡れた場合
・操作手順にしたがって操作しても、正常に作動しなかった場合
・本体を落としたり、本体が損傷を受けてしまった場合
・本体の性能に明らかな変化が認められ、手入れや修理が必要とされる場合
・発煙したり、変な臭いや音が生じた場合

● 本体の上に重いものを置かないでください。
● 上カバーは、必要以上の時間開けたままにしないでください。直射日光や強い光が当たると、プリントの品質が低下する原因になります。
● プリント中に振動を与えないでください。プリントの品質が低下することがあります。
● プリント中は、絶対に上カバーを開けないでください。故障の原因になります。
● 給紙トレイや上カバーの開閉は、ていねいに行ってください。
● 本プリンタにホコリ除けのカバーをかけるときは、電源スイッチをオフにして、本体の温度が十分に下がってから行ってください。
● 長期間使用しないときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
● オプションのペーパーフィーダを取り付けた状態で移動する場合に、プリンタ本体を引きずったり、強い力で押したりしないでください。プリントの品質が低下することがあります。
● 化学薬品を使用している場所では、使用・保管しないでください。

プリンタ保管時のご注意

本プリンタを長期間使用しないようなときは、以下の環境で保管してください。
・温度が 0 〜 35.0℃の範囲内の場所
・湿度が 10 〜 80%RH（相対湿度）の範囲内で、結露しない場所

第 6 章

困ったときには

トラブル解決マップ

プリントできないときや困ったときは、このマップで参照先を探してください。

NetSpot Job Monitorにメッセージが表示されている
いいえ
出力先に本プリンタが選択されていない
→LIPSソフトウェアガイド
はい
はい
オンラインになっていない
→第3章「オンラインとオフライン」（P.62）
“プリンタの準備ができていません”が表示されている
プリンタの電源が入っていない
→第3章「電源の入れかた」（P.60）
いいえ
ケーブルが正しく接続されていない
→第2章「パソコンと接続する」（P.42）
“11 ヨウシガアリマセン”が表示されている
→第2章「用紙をセットする」（P.37）
→第4章「給紙トレイからプリントする」（P.93）
はい
エラーメッセージが表示されている
“13 ヨウシガツマリマシタ”が表示されている
→第6章「紙づまりが起こったときは」（P.136）
“16 トナーコウカン”が表示されている
→第5章「トナーカートリッジを交換する」（P.110）
いいえ
その他のエラーメッセージが表示されている
→第6章「メッセージが表示されたときは」（P.159）
プリンタのジョブランプが点灯したままになっている
はい
前のジョブデータが残って次のプリントができない
→第6章「プリントを中止したいときは」（P.151）
いいえ
プリンタデータを処理中です
しばらくお待ちください

紙づまりが起こったときは（紙づまりの除去）

プリント中に、何らかの理由で紙づまりが起こると、ピーという警告音が鳴り、ディスプレイに「13 ヨウシガ　ツマリマシタ」というメッセージが表示されます。
紙づまりが起こったときは、次の手順でつまった用紙を取り除き、プリントを再開します。手順通りに用紙を取り除いても紙づまりのメッセージが消えないときは、まだ用紙の断片などが内部に残っている可能性があります。再度プリンタの各部を点検し、つまっている用紙を完全に取り除いてください。

つまっている用紙を取り除く

用紙がつまったときは、最初にメッセージを確認し、トナーカートリッジを取り出したり、加圧解除レバーを解除してから、用紙を取り除きます。トナーカートリッジ保護のため、あらかじめトナーカートリッジの保護袋あるいは厚手の布をご用意ください。

お願い

- **つまっている用紙を取り易くするため、必ず先にトナーカートリッジを取り出してから紙づまり除去作業を行ってください。**
- **つまっている用紙を取り除くときは、本プリンタの電源はオンのままで作業を行ってください。電源をオフにすると、プリント中のデータが消去されてしまいます。**
- **無理に取り除くと、用紙が破れたり、内部の装置を傷めることがあります。用紙を取り除くときは、位置ごとに正しい方向へ引き出してください。**
- **用紙が破れているときは、残りの紙片も探して取り除いてください。**

■紙づまりの除去手順

1

ディスプレイに表示されているメッセージをすべて確認します。

複数のメッセージがある場合は、1つずつ順に表示されますので、すべてを確認してください。メッセージはいずれかのカバーを開けると表示されなくなりますので、必要に応じてメモに書き留めておいてください。

紙づまりが起こると、表示されます。

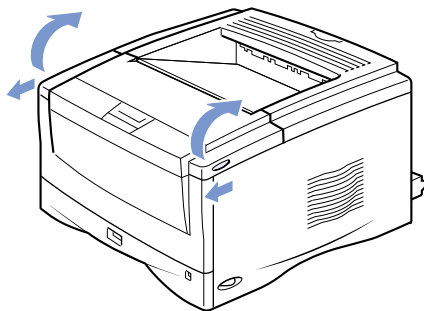
13 ヨウシガ゛ ツマリマシタ
ウエ カバ゛ー エリア

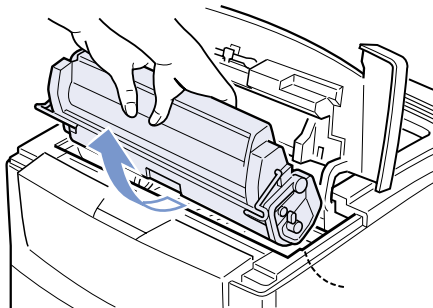
紙づまりが起こった場所が表示されます。
複数あるときは、すべての場所が順番に表示されます。

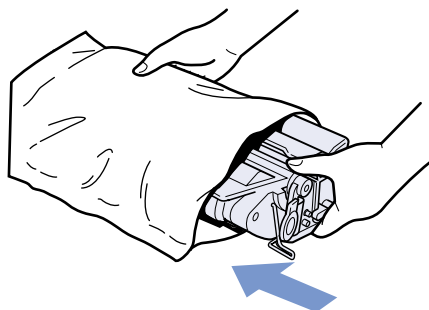
メッセージは紙づまりが起きた場所を示しており、次の種類があります。複数表示されている場合はすべてをメモし、順番に従って確認してください。

ディスプレイメッセージ	紙づまり位置	点検順番
「ウエ　カバー　エリア」	上カバー部	1
「ハイシ　エリア」	排紙部	2
「キュウシ　エリア」	給紙部	3
「リョウメン　ユニット」	両面ユニット部	4
「カミヅマリ　ショリ　トレイ」	紙づまり処理トレイ部	5

2

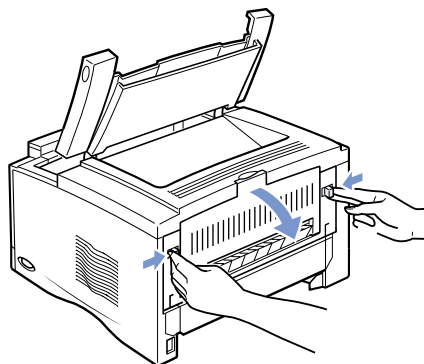
上カバー両側面の上カバー開閉ラッチを前側へ引いて、上カバーを開きます。

3

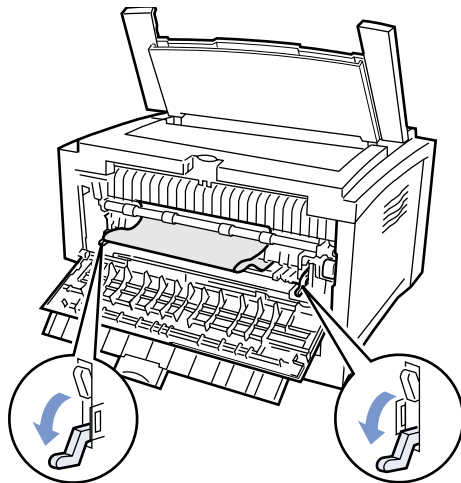
トナーカートリッジを取り出します。

4

取り出したトナーカートリッジを保護袋に入れます。

● トナーカートリッジは、直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。保護袋がない場合は厚手の布で包んでください。

5

後カバー左右のレバーを内側に押しながら、後カバーを開きます。

両面ユニット装着時は、先に後部ユニットを引いて引き離してください。

6

緑色の加圧解除レバーを左右ともに下げて、定着ユニット圧を解除します。

7

「ウエ　カバー　エリア」と表示されていたときは、P.141の手順に従って上カバー側からつまった用紙を取り除きます。

13 ﾖｳｼｶﾞ ﾂﾏﾘﾏｼﾀ
ｳｴ ｶﾊﾞｰ ｴﾘｱ

8

「ハイシ　エリア」と表示されていたときは、P.143の手順に従って後カバー側からつまった用紙を取り除きます。

13 ﾖｳｼｶﾞ ﾂﾏﾘﾏｼﾀ
ﾊｲｼ ｴﾘｱ

9

「キュウシ　エリア」と表示されていたときは、P.145の手順に従って給紙カセット側からつまった用紙を取り除きます。

13 ﾖｳｼｶﾞ ﾂﾏﾘﾏｼﾀ
ｷｭｳｼ ｴﾘｱ

10

「リョウメン　ユニット」と表示されていたときは、P.147の手順に従って両面ユニットの後部ユニットや紙づまり処理トレイからつまった用紙を取り除きます。

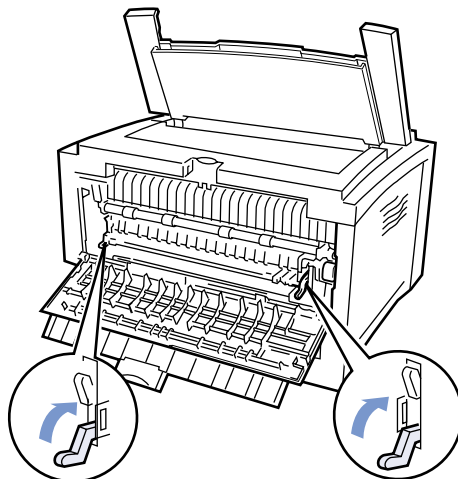
13 ﾖｳｼｶﾞ ﾂﾏﾘﾏｼﾀ
ﾘｮｳﾒﾝ ﾕﾆｯﾄ

11

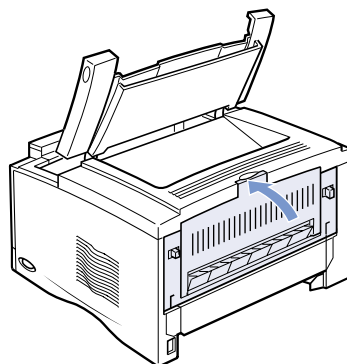
「カミヅマリ　ショリ　トレイ」と表示されていたときは、P.149の手順に従って両面ユニットの後部ユニットや紙づまり処理トレイからつまった用紙を取り除きます。

```
13 ﾖｳｼｶﾞ ﾂﾏﾘﾏｼﾀ
  ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ｼｮﾘ ﾄﾚｲ
```

12

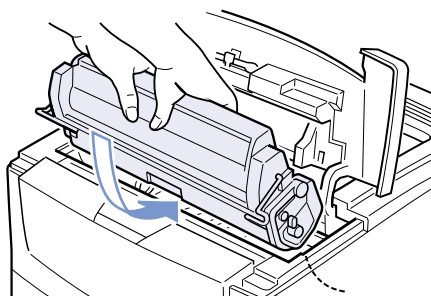
緑色の加圧解除レバーを左右ともに上げます。

13

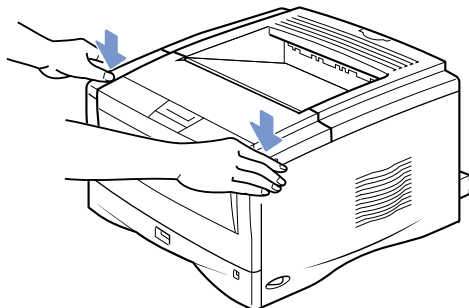
後カバーを閉じます。

両面ユニット装着時は、後カバーを閉じてから後部ユニットを元に戻してください。

お願い

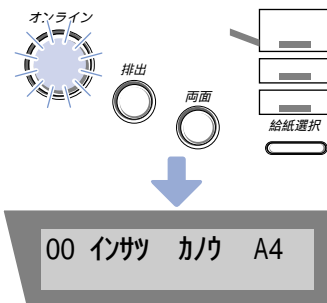
●後部ユニットを戻すときは、両面ユニット上カバーが閉じていることを確認してください。両面ユニット上カバーを確実に閉じていないと、紙づまりの原因となります。

14

トナーカートリッジをセットします。

15

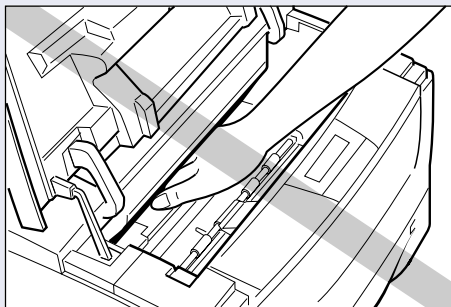
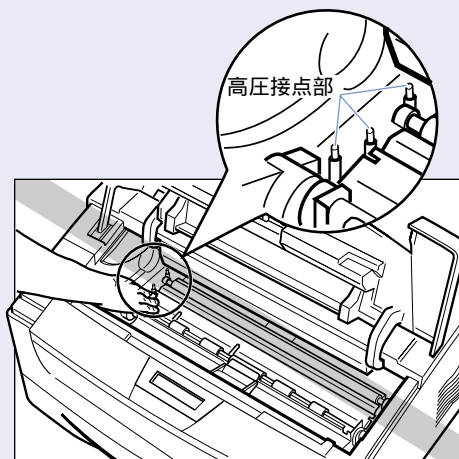
上カバーを閉じます。

16

プリンタがオンラインになっていることを確認します。

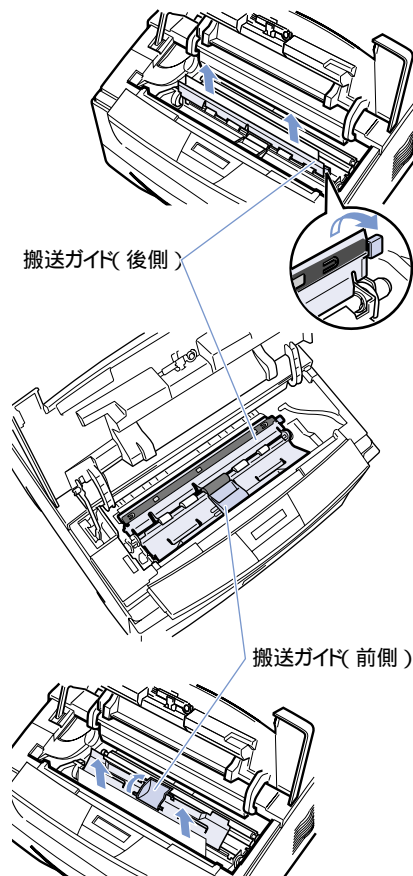
オンラインランプが消灯しているときは、
（オンライン）キーを押して、オンラインランプを点灯します。
中断したページからプリントが再開されます。

■「ウエ　カバー　エリア」（上カバー部）

「ウエ　カバー　エリア」のメッセージが表示されているときは、上カバー内部を確認してください。

注意

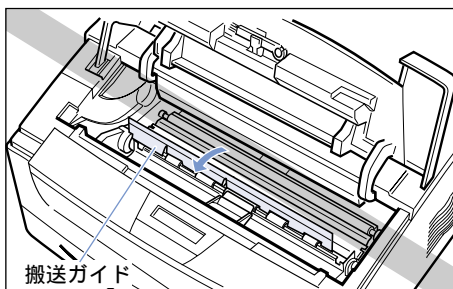
● プリンタを使用した直後は、上カバー内部の奥に手を入れないでください。奥にある定着ユニット付近が非常に高温になっています。上カバー内部の指定された以外の部分には触れないように注意してください。万一触れるとやけどをする恐れがあります。

● 上カバー内部の高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタが破損する恐れがあります。

1

緑色の取っ手部分を持って搬送ガイドを持ち上げ、つまった用紙を取り除きます。

用紙は、両手でゆっくりと引き上げます。
搬送ガイドの開閉角度は前側、後側共に約90°です。
無理に開きすぎないように注意してください。

注意

- 万一手や衣服がトナーで汚れたときは、すぐに水で洗い流してください。このとき、温水は使わないでください。トナーが融着してとれなくなることがあります。

お願い

- 搬送ガイドの開閉角度は前側、後側共に約90°です。無理に開きすぎるとガイドが変形し、印字品質低下やプリンタ故障の原因になります。

- 用紙の先端が定着ユニットまで送られているときは、定着されていないトナーが用紙の上に載っていますので、トナーをこぼさないように注意して取り除いてください。トナーを内部にこぼすと、内部が汚れて印字品質低下の原因になります。

2

搬送ガイドを元に戻します。

注意

- **搬送ガイドを戻さないまま、トナーカートリッジを入れると、プリンタおよびトナーカートリッジ破損の原因となります。**

3

上カバー側から取り除けなかった場合は、P.138 の手順 *8* 以降に従ってつまった用紙を取り除きます。

4

すべての用紙や紙片を上カバー側から取り除けた場合は、P.139 の手順 *12* 以降に従ってオンライン状態に戻します。

■「ハイシ　エリア」（排紙部）

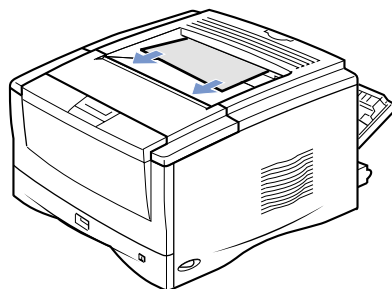
「ハイシ　エリア」のメッセージが表示されているときは、後カバー内部や排紙トレイ部を確認してください。

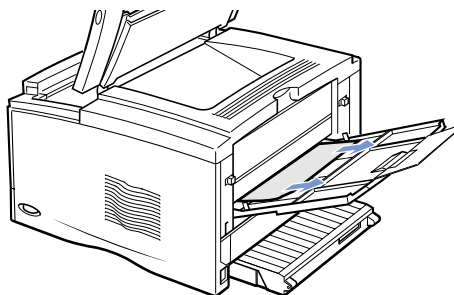
1

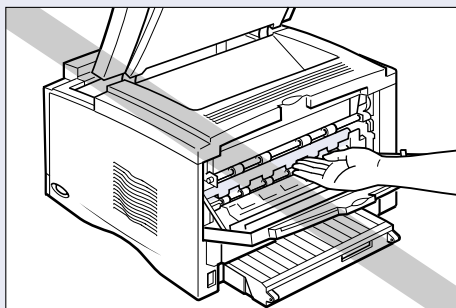
「ウエ　カバー　エリア」のメッセージも表示されている場合は、P.141 の手順に従って上カバー部からつまった用紙を取り除きます。

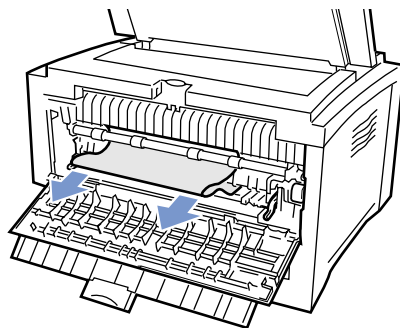
2

フェースダウン排紙トレイで用紙がつまっている場合、そのまま用紙を引き出せるときは、用紙を両手でゆっくりと引いて取り除きます。

3

フェースアップ排紙トレイで用紙がつまっている場合、そのまま用紙を引き出せるときは、用紙を両手でゆっくりと引いて取り除きます。

少し引いても用紙が取り除けないときは、無理に引っ張らずに手順*4*へ進み、後カバー側から取り除いてください。

注意

● **定着ユニット付近には、手を触れないでください。プリンタを使用した直後は、定着ユニット付近が非常に高温になっており、万一触れると、やけどの恐れがあります。**

4

定着ユニットにつまった用紙を両手でゆっくりと引いて取り除きます。

5

後カバー側から取り除けなかった場合は、P.138の手順 *9* 以降に従ってつまった用紙を取り除きます。

6

すべての用紙や紙片を取り除いたら、P.139の手順 *12* 以降に従ってオンライン状態に戻します。

■「キュウシ　エリア」（給紙部）

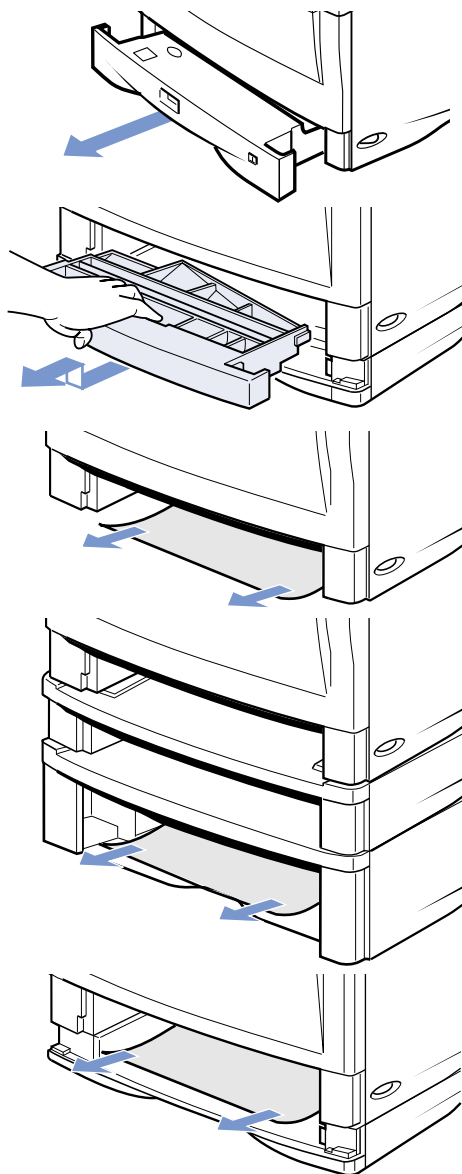
「キュウシ　エリア」のメッセージが表示されているときは、給紙カセットや給紙トレイ部を確認してください。

1

「ウエ　カバー　エリア」のメッセージも表示されている場合は、**P.141 の手順に従って****上カバー部からつまった用紙を取り除きます。**

2

標準の給紙カセットやオプションの給紙カセット、紙づまり処理トレイなどをすべて引き出します。

3

つまった用紙を両手でゆっくりと引き出します。

オプションのペーパーフィーダ装着時も同様につまった用紙を両手でゆっくりと引き出してください。

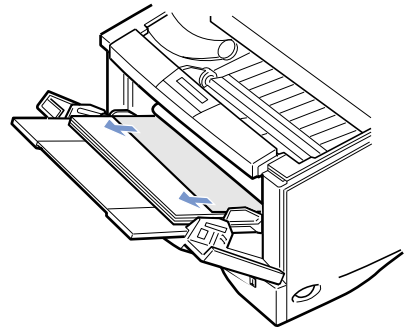
両面プリント中の場合は、両面ユニットにつまった用紙を両手でゆっくりと引いて取り除いてください。

4

給紙トレイの場合は、そのままつまった用紙を両手でゆっくりと引き出します。

5

用紙や引き出した給紙カセット、紙づまり処理トレイをセットします。

6

すべての用紙や紙片を取り除いたら、P.139 の手順 *12* 以降に従ってオンライン状態に戻します。

■「リョウメン　ユニット」（両面ユニット部）

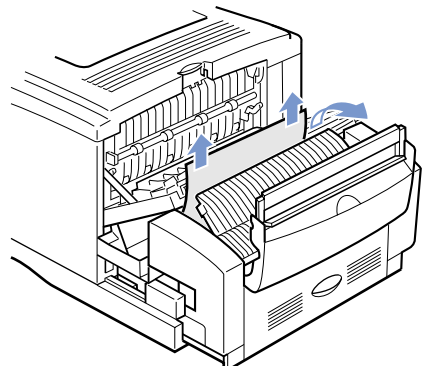
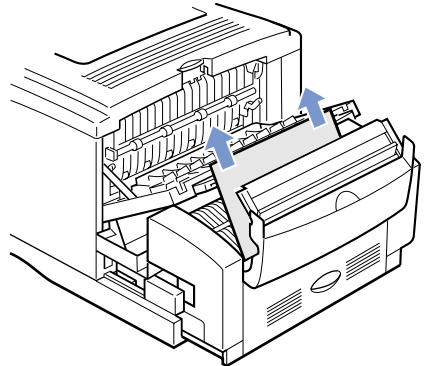
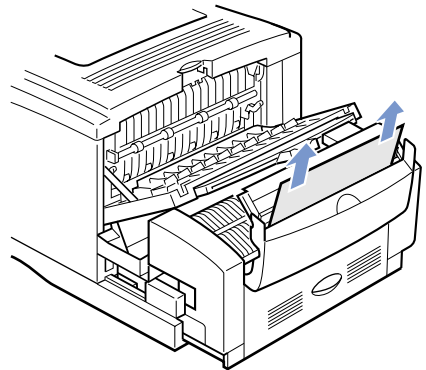
「リョウメン　ユニット」のメッセージが表示されているときは、両面ユニットの後部ユニット内や前部の紙づまり処理トレイ部を確認してください。

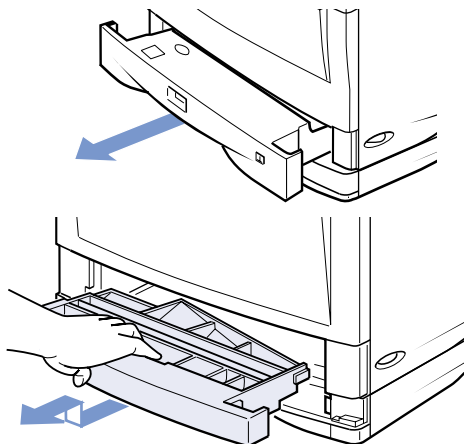
1

「ウエ　カバー　エリア」のメッセージも表示されている場合は、P.141 の手順に従って上カバー部からつまった用紙を取り除きます。

2

後部ユニットの各搬送ガイドを開き、つまった用紙を取り除きます。

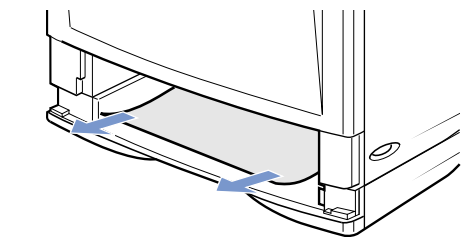
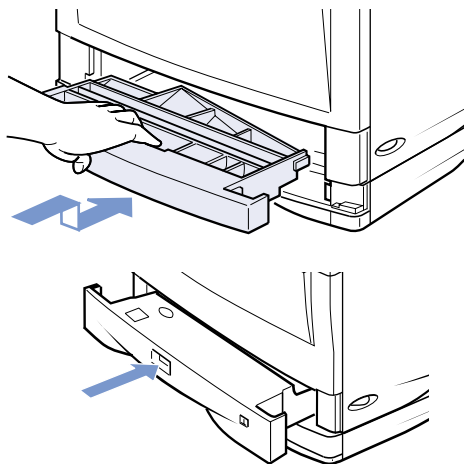
3つの図のように各部のカバーや搬送ガイドを開き、つまった用紙を両手で引いて取り除いてください。

3

標準の給紙カセットおよびオプションの給紙カセット、紙づまり処理トレイなどをすべて引き出します。

4

つまった用紙を両手でゆっくりと引いて取り除きます。

5

用紙や引き出した給紙カセット、紙づまり処理トレイをセットします。

6

すべての用紙や紙片を取り除いたら、P.139 の手順 *12* 以降に従ってオンライン状態に戻します。

■「カミヅマリ　ショリ　トレイ」（紙づまり処理トレイ部）

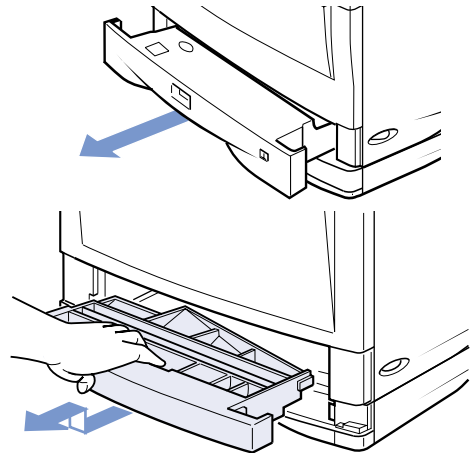
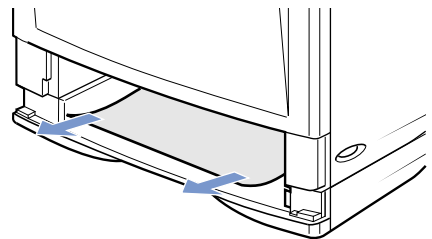
「カミヅマリ ショリ トレイ」のメッセージが表示されているときは、両面ユニット前側内部の紙づまり処理トレイ部を確認してください。

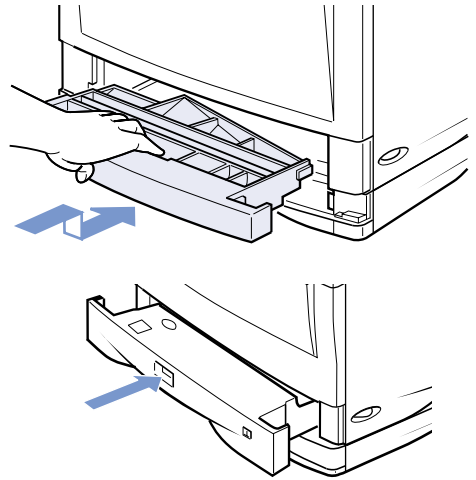
1

「ウエ　カバー　エリア」のメッセージも表示されている場合は、P.141 の手順に従って上カバー部からつまった用紙を取り除きます。

2

標準の給紙カセットおよびオプションの給紙カセット、紙づまり処理トレイなどをすべて引き出します。

3

つまった用紙を両手でゆっくりと引いて取り除きます。

4

用紙や引き出した給紙カセット、紙づまり処理トレイをセットします。

5

すべての用紙や紙片を取り除いたら、P.139 の手順 *12* 以降に従ってオンライン状態に戻します。

プリントを中止したいときは

パソコン側の操作でプリントを中止しても、すでにプリンタに一部データが送られている場合、プリントジョブが終わらないことがあります。そのような場合に、データを排出してプリンタ側の印刷処理を終わらせたり、プリンタ側で現在実行中の処理やすべての作業を中止することができます。

データを排出する（強制排出）

パソコン側でプリントを中止した場合や受信したデータが１ページ分に満たない場合には、プリンタのメモリにプリントデータが残ってジョブが正しく終了しないことがあります。そのままでは、次のデータを受け取ることができず、次のプリントができません。このようなときは、次の手順で強制的にプリントデータを排出してください。

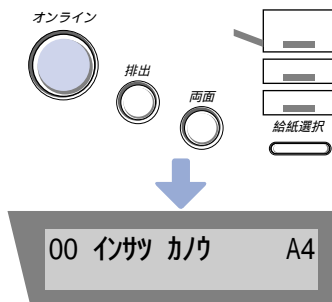
お願い

●データを排出したときは、プリント中のデータは消されますので、再度パソコンからプリントし直してください。

メモ

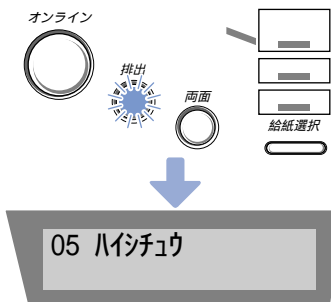
●プリントデータがプリンタのメモリに残ったまま、またはプリントデータがないのにジョブが終了しない場合、ジョブランプが点灯しています。
●ジョブの「タイムアウト」が設定されているときは、設定されている時間が経過すると、１ページ分に満たないデータも自動的に排出されます。工場出荷時の状態では、ジョブの「タイムアウト」は「15 ビョウ」に設定されています。
●データ排出の操作を行ってもジョブランプが消灯しないときは、ソフトリセットを行ってください。**（→ P.155）**

1

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

2

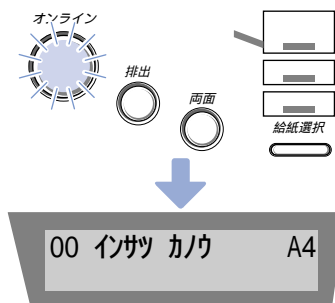
排出 キーを押します。

ディスプレイに「05　ハイシチュウ」と表示され、メモリに残っているデータがプリントされます。

メモ

●排出途中に再度 排出 キーを押すと、強制排出を中止します。ただし、中止されたページのデータは消去されます。

3

オンライン キーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

プリントをキャンセルする（ジョブキャンセル）

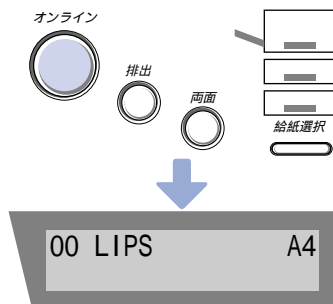
現在実行中のプリントをキャンセルしたいときは、「ジョブキャンセル」を行います。ジョブキャンセルは、そのときデータ受信中またはデータ処理中のジョブをキャンセルすることができます。次のプリントデータやまだデータ処理が始まっていないジョブには影響しません。

お願い

- **ジョブキャンセルは、データ処理をしているとき（ジョブランプ点灯または点滅中）にオフライン状態で行ってください。ジョブランプが消灯しているときに（ジョブキャンセル）キーを押すと、（ユーティリティ）キーとして動作します。**
- **すでにデータ処理が終わり印刷処理中（給紙動作が始まった状態）のデータは、キャンセルできません。その場合、その次のプリントデータがキャンセルされることがありますので、ご注意ください。**
- **本プリンタ専用でないプリンタドライバから送信されたデータが混在している場合、複数のデータがキャンセルされることがあります。**

ジョブキャンセルは、次の手順で操作します。必ずジョブランプが点灯または点滅しているとき（キャンセルしたいジョブがデータ受信中またはデータ処理中の状態）に行ってください。

1

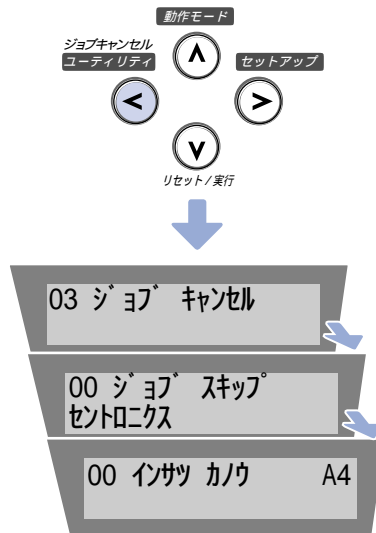
（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

メモ

- **上記のディスプレイ表示は、LIPSモードのジョブを処理している場合を例にしています。ディスプレイ表示は、使用状況により表示が異なります。ジョブ処理中は、ディスプレイ上段に動作モード、下段にユーザ名やプリンタの状態などの情報が表示されます。**

2

ジョブキャンセルキーを押します。

「03 ジョブ キャンセル」が表示され、処理中のプリントデータがキャンセルされます。
データの受信中など処理に時間がかかるときは、「00 ジョブ スキップ」の表示に変わります。

「00 インサツ カノウ」が表示されたら、ジョブキャンセル完了です。

お願い

- **「00 ジョブ スキップ」が表示されているときは、リセットキーを押してソフトリセットまたはハードリセットを行うことができます。その場合は受信中のプリントデータや他のインタフェースのプリントデータも消去されますので、再度プリントを行ってください。**
- **「03 ジョブ キャンセル」が表示されているときは、ソフトリセットまたはハードリセットを行うことができません。ジョブキャンセルが完了するか、「00 ジョブ スキップ」が表示されるまでお待ちください。**

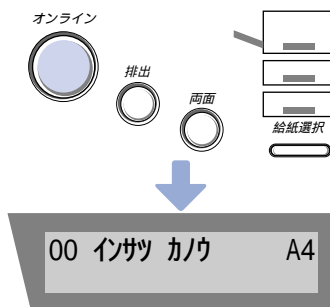
現在実行中の処理を中止する（ソフトリセット）

現在実行中の処理を中止したいときは、次の操作で「ソフトリセット」を行います。ソフトリセットは、すべてのインタフェースに受信されたプリントデータや処理中のジョブ、プリンタメモリ内のプリントデータを消去します。

お願い

- **必ずパソコン側でプリント中止の操作を行ってからプリンタ側でプリント中止（ソフトリセット）の操作を行ってください。**
- **ソフトリセットを行うと、そのときプリント中のデータやすべてのインタフェースで受信中のデータは消去されますので、再度パソコンからプリントし直してください。**
- **他のインタフェースのデータでも、すでにメモリに受信されたデータはすべて消去されます。ネットワークで使用しているときは、他のパソコンからのデータに影響しないように注意してこの操作を行ってください。**
- **排紙待ちなど、実行中のデータがないときは、ソフトリセットができない場合があります。そのようなときは、ハードリセットを行ってください。**

1

オンライン キーを押して、オンラインランプを消灯します。

2

リセット キーを押し続け、「03　ソフト　リセット」と表示されたら離します。

約1秒で表示されます。そのまま5秒以上押し続けると「ハードリセット」の操作になります。

「03　ソフト　リセット」の表示が消えたらリセットが完了します。

3

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

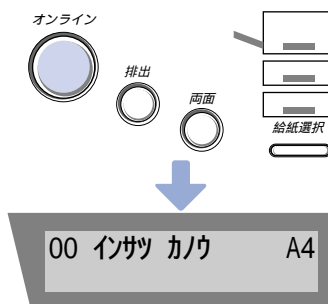
すべての作業を中止する（ハードリセット）

何らかの理由で、すべての処理やすでにメモリに受信されたデータを消去したいときは、次のような操作で「ハードリセット」を実行します。ハードリセットは、すべてのインタフェースに受信されたプリントデータや処理中のジョブ、プリンタメモリ内のプリントデータを消去します。

お願い

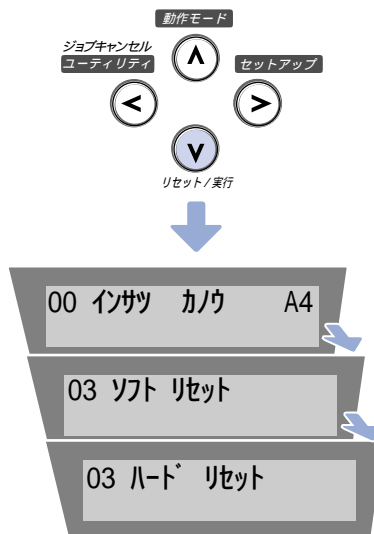
- **データの受信中にリセットした場合、まだメモリに受信していないデータは、リセット処理後に受信されます。ただし、正しくプリントされないことがあります。**
- **他のインタフェースのデータでも、すでにメモリに受信されたデータはすべて消去されます。ネットワークで使用しているときは、他のパソコンからのデータに影響しないように注意してこの操作を行ってください。**

1

オンライン キーを押して、オンラインランプを消灯します。

2

リセット キーを押し続け、「03　ハード　リセット」と表示されたら離します。

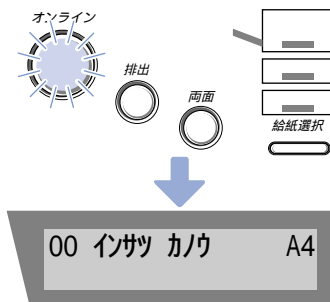
「03　ハード　リセット」が表示されるまで（約5秒）押し続けます。5秒未満の場合は「ソフトリセット」の操作になります。

「03　ハード　リセット」の表示が消えたらリセットが完了します。

6

第6章　困ったときには

3

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

メッセージが表示されたときは

プリンタの使用中に、何らかの理由でプリントが不可能な状態になると、ブザーが鳴り、メッセージランプが点灯してディスプレイにエラーメッセージを表示します。また、プリントに支障はないが、何らかの処置が必要な状況が発生すると、ディスプレイの下段に警告メッセージを表示します。
これらのメッセージが表示されたときは、メッセージに応じて次のような処置を行ってください。

メモ

- **複数の警告が同時に発生しているときは、メッセージを交互に表示します。**
- **エラーメッセージが同時に発生しているときは、警告メッセージは表示されません。**
- **セットアップメニューの「ケイコクヒョウジ」を「シナイ」に設定すると、（警告メッセージ）の付いているメッセージは表示されません。**
- **<エラースキップ可>の付いているメッセージは、オンライン キーを押すとエラーを回避（エラースキップ）してプリントを継続できますが、プリントデータが欠落したり、正しくプリントされなかったりします。処理を中断したいときは、ソフトリセットの操作を行い、原因を取り除いてからオンライン キーを押して再度プリントし直してください。また、このマークが付いているメッセージは、「自動エラースキップ」を「ツカウ」に設定すると自動的にエラースキップさせることもできます。**

11　XXX ヨウシガアリマセン（XXX は用紙サイズまたは略号→ P.16）

原　因　**給紙カセットまたは給紙トレイに指定したサイズの用紙がセットされていない（給紙モードが「自動」のときはすべての給紙カセットと給紙トレイ、固定のときは設定されている給紙カセットまたは給紙トレイ）**

対策１　**用紙を補給またはセットしてください。**

対策２　**給紙選択 キーで別の給紙元を選択してください。**

参照先　第２章「用紙をセットする」（→ **P.37**）
第４章「給紙元を選択する」（→ **P.88**）

12　カバーガ　アイテイマス

原　因　**本体またはオプション機器のいずれかのカバーが開いている**

対　策　**ディスプレイに表示されたカバーをしっかりと閉じます。オンライン状態になっていないときは、オンライン キーを押してください。**

参照先　第６章「紙づまりが起こったときは」（→ **P.136**）

メモ

- **一つのカバーを閉じてもまだこのメッセージが表示される場合は、他のカバーが開いてます。他のカバーをチェックして、すべて閉じてください。**

13　ヨウシガ　ツマリマシタ

原　因　内部で紙づまりを起こしている

対　策　紙づまりを除去し、給紙カセットやカバーを元に戻してください。オンライン状態になっていないときは、［オンライン］キーを押してください。

参照先　第6章「紙づまりが起こったときは」（→ P.136）

お願い

- 紙づまりが複数の場所で同時に起こった場合、ディスプレイ下段に紙づまりの位置を交互に表示します。
- 本体またはオプション装置、いずれのカバーも開けずに紙づまりを取り除いた場合は、必ず本体とオプション装置両方のカバーを一度開閉してください。

14　EP カートリッジ　ナシ

原　因　トナーカートリッジがセットされていない

対　策　トナーカートリッジをセットしてください。上カバーを閉じた後、オンライン状態になっていないときは、［オンライン］キーを押してください。

参照先　第2章「トナーカートリッジをセットする」（→ P.31）

16　トナー　チェック　（警告メッセージ）

原　因　トナーの残量が少なくなってきた

対　策　トナーカートリッジを取り出し、ゆっくり5～6回振って、セットし直してください。この操作を行ってもメッセージが表示されるときや画像に白抜けが発生したときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。上カバーを閉じた後、オンライン状態になっていないときは、［オンライン］キーを押してください。

参照先　第5章「トナーカートリッジを交換する」（→ P.110）

16　トナー　コウカン　<エラースキップ可>

原　因　トナーの残量が少ない

対策1　トナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジと交換してください。上カバーを閉じた後、オンライン状態になっていないときは、［オンライン］キーを押してください。

対策2　［オンライン］キーを押すと「16 トナー　チェック」のメッセージに変わり、プリントを継続します。

参照先　第5章「トナーカートリッジを交換する」（→ P.110）

17　カセット1　ヨウシ　ナシ　（警告メッセージ）

原　因　カセット1の用紙が切れている

対　策　カセット1に用紙を補給してください。給紙カセットを元に戻した後、オンライン状態になっていないときは、［オンライン］キーを押してください。

参照先　第2章「用紙をセットする」（→ P.37）

17　カセット 2　ヨウシ　ナシ　（警告メッセージ）

原　因	ペーパーフィーダを 1 段以上装着時に、カセット 2 の用紙が切れている
対　策	カセット 2 に用紙を補給してください。給紙カセットを元に戻した後、オンライン状態になっていないときは、（オンライン）キーを押してください。
参照先	第 2 章「用紙をセットする」（→ P.37）

17　カセット 3　ヨウシ　ナシ　（警告メッセージ）

原　因	ペーパーフィーダを 2 段装着時に、カセット 3 の用紙が切れている
対　策	カセット 3 に用紙を補給してください。給紙カセットを元に戻した後、オンライン状態になっていないときは、（オンライン）キーを押してください。
参照先	第 2 章「用紙をセットする」（→ P.37）

18　カセット 1　ナシ

原　因	カセット 1 がセットされていない
対策 1	カセット 1 をセットしてください。
対策 2	（給紙選択）キーで給紙トレイを選択してください。
参照先	第 2 章「用紙をセットする」（→ P.37） 第 4 章「給紙元を選択する」（→ P.88）

18　カセット 2　ナシ

原　因	カセット 2 がセットされていない
対策 1	カセット 2 をセットしてください。
対策 2	（給紙選択）キーで給紙トレイを選択してください。
参照先	第 2 章「用紙をセットする」（→ P.37） 第 4 章「給紙元を選択する」（→ P.88）

18　カセット 3　ナシ

原　因	カセット 3 がセットされていない
対策 1	カセット 3 をセットしてください。
対策 2	（給紙選択）キーで給紙トレイを選択してください。
参照先	第 2 章「用紙をセットする」（→ P.37） 第 4 章「給紙元を選択する」（→ P.88）

18　リョウメン　トレイ　ナシ

原　因	両面ユニットの紙づまり処理トレイがセットされていない
対策 1	両面ユニットの紙づまり処理トレイをセットしてください。
参照先	第 6 章「紙づまりが起こったときは」（→ P.149）
対策 2	（給紙選択）キーで給紙トレイまたはカセット 1 を選択してください。
参照先	第 2 章「用紙をセットする」（→ P.37） 第 4 章「給紙元を選択する」（→ P.88）

19　ヨウシガ　ノコッテイマス　（警告メッセージ）

原　因	プリンタ内部に用紙が残っている
対　策	残っていた用紙が自動排出されるのを待ちます。

1C　ソウシンチュウ：セントロ／USB／EXP　**（警告メッセージ）**

原因１　**双方向に対応していないパソコンと接続しているのにメニューの双方向の設定が「ツカウ」になっている**

対　策　**メニューの双方向の設定を「ツカワナイ」にしてください。**

参照先　LIPS 機能ガイド　第3章「5　インタフェースグループを設定する」

原因２　**双方向通信機能を使ってプリンタからパソコンへデータを送信したときに、パソコン側がデータの処理中でデータを受信できる状態になっていなかった**

対　策　**一定時間後に自動的に送信データを消去し、メッセージが消えます。**

1F　ハイシトレイ　チェック　**（警告メッセージ）**

原　因　**排紙トレイの用紙が満載に近くなった**

対　策　**プリントは継続されますが、排紙トレイの用紙を取り除いてください。**

1F　ハイシトレイ　フル　**<エラースキップ可>**

原　因　**排紙トレイの用紙が満載になった**

対策１　**排紙トレイの用紙を取り除いてください。**

対策２　**（オンライン）キーを押すと、ディスプレイの表示が「1F　ハイシトレイ　チェック」に変わり、プリントが継続されます。**

21　プリント　オーバーラン　**<エラースキップ可>**

原　因　**データが複雑すぎて処理が間に合わなかった（オーバーランした）**

対策１　**セットアップメニューの解像度の設定がスーパーファインのときは「ファイン」または「クイック」に、ファインのときは「クイック」に変更し、プリントし直します。**

対策２　**対策１の処置をしてもエラーが発生する場合は、セットアップメニューで、バンド制御を「シナイ」に設定し、データを送り直します。**

対策３　**（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したページは正しくプリントされません。**

参照先　LIPS 機能ガイド　第3章「4　印字調整グループを設定する」

23　ダウンロードメモリフル　**<エラースキップ可>**

原　因　**オーバレイフォームや外字などを登録するメモリが不足してオーバーフローした**

対策１　**（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、オーバーフローしたデータは登録されません。**

対策２　**（リセット）キーを押してソフトリセットした後、次のような方法で空き RAM 容量を増加し、データを登録し直してプリントします。**

- **ハードリセットするか、プリンタの電源を入れ直す（メモリ内のデータはすべて消去されますのでご注意ください）**
- **セットアップメニューで、印字動作を「トウロク　ユウセン」に設定してハードリセットする**
- **フォームキャッシュメモリを「ツカワナイ」に設定する**
- **オプションの拡張 RAM を取り付ける**

参照先　第3章「電源の入れかた」（→ P.60）
付録「オプションについて」（→ P.183）
LIPS 機能ガイド　第3章「4　印字調整グループを設定する」
LIPS 機能ガイド　第3章「5　インタフェースグループを設定する」

26　システムメモリ　フル　　**<エラースキップ可>**

原　因　システムのデータ処理（主に図形処理や文字処理）時に、処理に必要なワークメモリが不足した

対策1　（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。

対策2　オプションの拡張RAMを取り付けて、プリントし直します。

参照先　付録「オプションについて」（→ P.183）

27　ジョブカイシ　フカノウ　　**<エラースキップ可>**

原　因　指定したエミュレーションが存在しない

対策1　（オンライン）キーを押し、プリントをスキップします。そのプリントジョブは無視され、次のプリントができるようになります。

対策2　本プリンタに内蔵のエミュレーションを指定するか、オプションのコントロールROMを取り付けエミュレーションを追加します。

参照先　付録「オプションについて」（→ P.184）

28　ビョウガメモリ　フル　　**<エラースキップ可>**

原　因　描画メモリが不足して処理ができなかった

対策1　（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされないことがあります。

対策2　（リセット）キーを押してソフトリセットした後、セットアップメニューで印字動作を「ガシツ　ユウセン」に設定してハードリセットし、プリントし直します。

対策3　対策2を行っても必要な描画メモリ容量が確保できないときは、次のような方法で空きRAM容量を増加します。

- ハードリセットするか、プリンタの電源を入れ直す（メモリ内のデータはすべて消去されますのでご注意ください。）
- セットアップメニューでフォームキャッシュメモリを「ツカワナイ」に設定する
- オプションの拡張RAMを取り付ける

参照先　第3章「電源の入れかた」（→ P.60）
付録「オプションについて」（→ P.183）
LIPS機能ガイド　第3章「4　印字調整グループを設定する」

29　シテイバイリツ　エラー　　**<エラースキップ可>**

原　因　拡大／縮小プリントで、本プリンタで処理できない倍率（25%～200%の範囲を超えた場合）や用紙サイズを指定した

対策1　（リセット）キーを押してソフトリセットした後、倍率や用紙サイズを正しく設定して、プリントし直します。

対策2　（オンライン）キーを押してプリントを継続します。ただし、パソコン側で指定したサイズの用紙に等倍でプリントします。完全なプリント内容にならないことがあります。

参照先　LIPS機能ガイド　第4章「拡大／縮小してプリントする」

30　メモリ　フル　　<エラースキップ可>

原因1　システムのデータ処理で、ワークメモリが不足した

対　策　(オンライン) キーを押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされないことがあります。

原因2　（電源のオン時に本エラーが発生した場合）メモリの構成が変更された（拡張RAMが取り外された）ために NVRAM に設定されているメモリの容量を確保できなかった

対策1　(オンライン) キーを押し、プリントを継続します。ただし、メモリ構成の変更により正しくプリントされないことがあります。

お願い

●「30 メモリ フル」が発生した時点で、NVRAM のメモリの構成が確保可能な値*に書き換えられます。（*：印字動作、フォームキャッシュメモリは工場出荷値に戻ります。）

参照先　LIPS 機能ガイド　第3章「4　印字調整グループを設定する」

対策2　電源をオフにした後、メモリの構成を変更前の構成に戻して（取り外した拡張RAMを取り付けて）プリントし直します。

参照先　第3章「電源の切りかた」（→ P.61）
付録「RAM、ROM の取り付け」（→ P.186）

対策3　フォームキャッシュメモリを設定し直して、プリントし直します。

参照先　LIPS 機能ガイド　第3章「4　印字調整グループを設定する」

32　リョウメン　フカノウ　　<エラースキップ可>

原因1　描画メモリが不足して両面プリントができなかった

対策1　(オンライン) キーを押し、プリントを継続します。ただし、両面のデータを片面ずつ2ページに分けてプリントします。

対策2　(リセット) キーを押してソフトリセットした後、セットアップメニューで印字動作を「ガシツ　ユウセン」に設定してハードリセットし、プリントし直します。

対策3　対策2を行っても必要な描画メモリ容量が確保できないときは、次のような方法で空きRAM容量を増加します。

- セットアップメニューでフォームキャッシュメモリを「ツカワナイ」に設定する
- 登録されているデータを削除する
- オプションの拡張 RAM を取り付ける

参照先　付録「オプションについて」（→ P.183）
LIPS 機能ガイド　第3章「4　印字調整グループを設定する」

原因2　自動両面プリントできない用紙タイプの両面データを受信した

対策1　(オンライン) キーを押し、プリントを継続します。ただし、両面のデータを片面ずつ2ページに分けてプリントします。

対策2　(リセット) キーを押してソフトリセットした後、両面プリント可能な用紙タイプに変更して、プリントし直します。

参照先　第4章「用紙について」（→ P.80）

原因3　両面プリントをサポートしていない用紙タイプの両面データを受信した

対策1　(オンライン) キーを押し、プリントを継続します。ただし、両面のデータを片面ずつ2ページに分けてプリントします。

対策2　(リセット) キーを押してソフトリセットした後、両面プリント可能な用紙サイズに変更して、プリントし直します。

参照先　第4章「用紙について」（→ P.80）

33　ワークメモリ　フル　<エラースキップ可>

原　因　**各動作モード専用のワークメモリが確保できない**

対策1　**（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。**

お願い

●（オンライン）キーを押してプリントを継続する場合、登録済みのオーバレイやマクロなどのデータが削除されることがありますのでご注意ください。

対策2　**（リセット）キーを押してソフトリセットした後、次のような方法でRAMの空き容量を増加します。**

- **ハードリセットするか、プリンタの電源を入れ直す（メモリ内のデータはすべて消去されますのでご注意ください）**
- **セットアップメニューで印字動作を「ガシツ　ユウセン」に設定してハードリセットする**
- **オプションの拡張RAMを取り付ける**

参照先　第3章「電源の入れかた」（→ P.60）
付録「オプションについて」（→ P.183）
LIPS機能ガイド　第3章「4　印字調節グループを設定する」

34　NVRAM　フル　<エラースキップ可>

原　因　**オプションのエミュレーションを搭載しすぎてNVRAMの領域が不足した**

対策1　**（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、NVRAMの設定値は工場出荷値でプリントします。**

対策2　**（リセット）キーを押してソフトリセットした後、セットアップメニューのパネル設定初期化を実行して、セットアップメニューの設定を工場出荷時の状態に戻した後、使用する動作モードを優先動作モードに設定してプリントし直します。**

参照先　LIPS機能ガイド　第2章「3　メニューの操作の流れ」
LIPS機能ガイド　第3章「6　セットアップメニューの設定を工場出荷状態に戻す」

35　トウロクテーブル　フル　<エラースキップ可>

原　因　**オプションのエミュレーションを搭載しすぎて、システムがオーバーフローした**

対策1　**パネル設定初期化を実行して、セットアップメニューの設定を工場出荷時の状態に戻し、（オンライン）キーを押してプリントを継続します。ただし、NVRAMの設定値は工場出荷値でプリントします。**

対策2　**電源をオフにして不必要なコントロールROMを取り外し、再度プリントし直します。**

参照先　LIPS機能ガイド　第2章「3　メニューの操作の流れ」
LIPS機能ガイド　第3章「6　セットアップメニューの設定を工場出荷状態に戻す」

37　ヨウシタイプ　フカノウ　<エラースキップ可>

原　因　**使用できない用紙タイプを指定した**

対　策　**（オンライン）キーを押すと、用紙タイプを普通紙としてプリントを継続します。用紙タイプが異なる場合には、正しくプリントされないことがあります。**

38　ガシツ　テイカ　<エラースキップ可>

原　因　データが複雑すぎてスーパーファインまたはファインモードが処理できない

対策1　（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、解像度を下げてプリントします。

対策2　（リセット）キーを押してソフトリセットした後、解像度のモードを下げてプリントし直します。

対策3　ファインモードでプリントしたいときは、（リセット）キーを押してソフトリセットした後、次のような方法で空き RAM 容量を増加します。

- セットアップメニューで印字動作を「ガシツ　ユウセン」に設定してハードリセットする
- セットアップメニューでフォームキャッシュメモリを「ツカワナイ」に設定する
- オプションの拡張 RAM を取り付ける

参照先　付録「オプションについて」（→ P.183）
LIPS 機能ガイド　第3章「4　印字調節グループを設定する」

40　ツウシン　エラー　<エラースキップ可>

原　因　パソコンと本プリンタとのデータのやりとりでエラーが発生した

対策1　（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。

対策2　インタフェースケーブルの接続を確認し、プリントし直します。

参照先　第2章「パソコンと接続する」（→ P.42）

41　プリント　チェック　<エラースキップ可>

原因1　プリンタ内部に一時的なエラーが発生した

対　策　（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。エラーが発生したページからプリントし直します。

原因2　給紙カセットや給紙トレイにセットした用紙のサイズと、給紙カセットの用紙サイズ表示、トレイ用紙サイズの設定が違っている

対　策　カセット給紙時はカセットの用紙サイズ表示とセットした用紙のサイズ、トレイ給紙時はトレイ用紙サイズとセットした用紙のサイズを合わせ、（オンライン）キーを押してください。エラーが発生したページからプリントを継続します。ただし、トレイ給紙時はトレイ用紙サイズとセットした用紙のサイズが違っていても（オンライン）キーを押して強制的にプリントすることができます。

参照先　第2章「用紙をセットする」（→ P.37）
第4章「給紙元を選択する」（→ P.88）
LIPS 機能ガイド　第3章「2　給紙グループを設定する」

42　インタフェース：2　エラー

原　因　取り付けたオプションのプリントサーバに重度の障害が発生した

対　策　電源をオフにした後、オプションのプリントサーバの取り付けをチェックし、電源をオンにし直します。

お願い

●上記の操作をしても直らない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

参照先　オプションのプリントサーバの取扱説明書

43　インタフェース：2　エラー　<エラースキップ可>

原因1　取り付けたオプションのプリントサーバに軽度の障害が発生した

対　策　（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、正しくプリントされないことがあります。

原因2　リセット処理により、オプションのプリントサーバの通信が切断された

対　策　（オンライン）キーを押します。

52　イメージモード　フカ　<エラースキップ可>

原　因　イメージモードでプリント中に、対応していない形式のデータを受信した

対策1　（オンライン）キーを押すと、プリントを継続します。ただし、正しくプリントされないことがあります。

対策2　イメージデータ形式に対応したプリンタドライバでプリントし直します。

52　ヌリツブシメイレイ　フカ　<エラースキップ可>

原　因　スーパーファインモードでプリント中に、塗り潰し命令を受信した

対策1　（オンライン）キーを押すと、プリントを継続します。ただし、正しくプリントされないことがあります。

対策2　（リセット）キーを押してソフトリセットした後、セットアップメニューの解像度を「ファインモード」または「クイックモード」に設定し、プリントし直します。

参照先　第3章「プリント画質について」（→ P.68）

対策3　（リセット）キーを押してソフトリセットした後、セットアップメニューで階調処理を「ヒョウジュン」に設定し、プリントし直します。

参照先　第3章「プリント画質について」（→ P.71）

53　パケットエラー　<エラースキップ可>

原　因　プリントデータ受信中にデータを認識できなくなった

対策1　（オンライン）キーを押すと、そのプリントデータを無視して、次のプリントを開始します。

対策2　本プリンタをネットワークに接続しているときは、ネットワーク上のすべてのパソコンをチェックし、プリンタドライバを本プリンタ対応にアップデートします。

対策3　NetSpotまたはNetSpot Job Monitorがインストールされていることを確認します。インストールされていないときはインストールします。

参照先　LIPSソフトウェアガイド

5F-nn　サービス　コール（nnには2桁の英数字）

原　因　プリンタ内部に結露が発生した

対　処　本プリンタを設置してある環境に2時間以上放置して、周囲の温度や湿度に慣らしてください。

- 上記の操作をしてもメッセージが消えないときは、ディスプレイの上の行に表示されている4桁の英数字、および下の行のメッセージをメモした後、電源をオフにし、電源コードを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。ご連絡の際には、症状およびメモをした英数字とメッセージをお知らせください。

96　FU　トレイ　チェック／アケテ　クダサイ

原　因	フェースダウン不可能な用紙をフェースダウンで排紙しようとした
対　策	フェースアップ排紙トレイを開くとプリントが再開され、フェースアップ排紙トレイにフェースアップで排紙されます。

96　FU　トレイ　チェック／トジテ　クダサイ

原　因	両面プリント時にフェースアップで排紙しようとした
対　策	フェースアップ排紙トレイを閉じるとプリントが再開され、排紙トレイにフェースダウンで排紙されます。

F0　フォーマット　フセイ　　**<エラースキップ可>**

原　因	フラッシュメモリやコントロール ROM が壊れている
対策1	（オンライン）キーを押すと、壊れたフラッシュメモリやコントロール ROM を無視してプリントを継続します。
対策2	電源をオフにし、セットしたフラッシュメモリやコントロールROMを正常なものに交換し、電源を入れ直します。
参照先	付録「RAM、ROM の取り付け」（→ P.186）

F1　スロット　シヨウ　フカノウ　　**<エラースキップ可>**

原　因	本プリンタ用でないフラッシュメモリやコントロール ROM がセットされた
対策1	（オンライン）キーを押すと、本プリンタ用でないフラッシュメモリやコントロール ROM を無視してプリントを継続します。
対策2	電源をオフにし、セットしたフラッシュメモリやコントロールROMを抜き取り、電源を入れ直します。
参照先	付録「RAM、ROM の取り付け」（→ P.186）

F2　フォント　ミジッソウ　　**<エラースキップ可>**

原　因	オーバレイフォームの作成に使用した登録フォントが、プリント時に消去されていた
対策1	メモリに再度フォントを登録し直すか、使用可能な登録フォントを使ってフォームを作り、プリントし直します。
対策2	（オンライン）キーを押すと、間引き描画でプリントを継続します。

F3　コントロール ROM　フセイ

原　因	本プリンタ用でないコントロール ROM がセットされた
対　策	電源をオフにし、セットしたコントロール ROM を抜き取り、電源を入れ直します。
参照先	付録「RAM、ROM の取り付け」（→ P.186）

F9-nn　チェック　プリンタ（nn には 2 桁の英数字）

原　因	プリントデータ処理中にトラブルが発生した
対　策	電源を一旦オフにし、3 秒以上経ってからオンしてプリントし直します。

お願い

●上記の操作をしてもメッセージが消えないときは、ディスプレイの上の行に表示されている 4 桁の英数字をメモした後、電源をオフにし、電源コードを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。ご連絡の際には、症状およびメモをした英数字をお知らせください。

FF　フォント　フル　　**<エラースキップ可>**

原　因　**登録するフォントの数が多すぎてフォントの情報を登録するための領域（フォントテーブル）がオーバーフローした**

対策1　**（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したページは正しくプリントされません。**

対策2　**LIPSのコマンドをプログラミングしてプリントしたときは、不要な文字セットを消去してからプリントし直します。**

参照先　プログラマーズマニュアル「コマンドリファレンス4.2」

OF　オプション　ゴソウサ

原因1　**オプションが正しく接続されていない**

対　策　**プリンタの電源をオフにし、オプションを正しく取り付けます。**

参照先　500枚ペーパーフィーダ設置ガイド
両面ユニット設置ガイド

原因2　**プリンタの電源を入れたまま、オプション装置を取り外した**

対　策　**プリンタの電源をオフにし、オプションの取り外しまたは取り付けを正しく行ってから、電源を入れ直します。**

参照先　500枚ペーパーフィーダ設置ガイド
両面ユニット設置ガイド

原因3　**オプション装置接続部の接触不良が起きている**

対　策　**電源をオフにし、電源コードを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。**

PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン（XXXは用紙サイズまたは略号→ P.16）　　**<エラースキップ可>**

原　因　**選択されている給紙元にセットされている用紙のサイズがアプリケーションソフトで設定した用紙サイズと違っている、または、拡大／縮小プリント中に、設定した出力用紙サイズに合った用紙がセットされていない**

対策1　**（給紙選択）キーで、サイズの合った用紙がセットされている給紙元を選択してください。**

参照先　第4章「給紙元を選択する」（→ P.88）

対策2　**選択されている給紙元の用紙をアプリケーションソフト（または拡大／縮小）で設定した用紙サイズの用紙に交換してください。**

参照先　第2章「用紙をセットする」（→ P.37）
第4章「給紙元を選択する」（→ P.88）

対策3　**プリンタ側の設定（給紙カセットの場合は用紙サイズ表示、給紙トレイの場合はトレイ用紙サイズ）を確認し、アプリケーションソフト（または拡大／縮小）で設定した用紙サイズと合っていない場合は正しく設定してください。**

参照先　LIPS機能ガイド　第3章「2　給紙グループを設定する」

対策4　**（オンライン）キーを押し、セットされている用紙に強制的にプリントしてください。給紙トレイの場合、トレイ用紙サイズの設定が自動的にアプリケーションソフトの設定に切り替わります。**

nn-nn　サービス　コール（nn には２桁の英数字）

原　因　プリンタの内部機構にトラブルが発生した

対　策　電源をいったんオフにし、３秒以上待ってから電源を入れ直してください。メッセージが消えることがあります。

お願い

- 上記の操作をしてもメッセージが消えないときは、ディスプレイの上の行に表示されている４桁の英数字、および下の行のメッセージをメモした後、電源をオフにし、電源コードを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。ご連絡の際には、症状およびメモをした英数字とメッセージをお知らせください。
- 「5F-51　サービス　コール」と表示された場合
  プリンタ内部に結露が発生すると、「5F-51　サービス　コール」が表示される場合があります。この場合は、本プリンタを設置してある環境に２時間以上放置して、周囲の温度や湿度に慣らしてください。結露が発生したときの処置や結露しやすい設置環境については、第１章「設置場所を決める」（→ P.20）をご覧ください。

正しいプリント結果が得られないときは

本プリンタの使用中に、トラブルかなと思われるような症状が起ったら、症状に応じて次のような処置をします。

お願い

- ディスプレイにメッセージが表示されたときは、「メッセージが表示されたときは」（→ P.159）をご覧ください。
- ここに記載されていない症状が起きたときや、記載されている処置を行っても直らないとき、原因がどうしてもわからないときは、キヤノン販売（株）「お客様相談センター」にお問い合わせください。

■電源や動作のトラブル

電源が入らない

原因1	電源コードのプラグが電源コンセントから抜けている
対　策	電源コードのプラグを電源コンセントに差し込みます。
原因2	ブレーカーが落ちている
対　策	配電盤のブレーカーをオンにします。

プリンタが動かない

原因1	オフラインになっている
対　策	オンライン キーを押し、オンラインランプを点灯します。
参照先	第3章「オンラインとオフライン」（→ P.62）
原因2	メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）
対　策	オンライン キーを押してオフラインにし、排出キーを押してメモリ内に残っているデータを出力します。
参照先	第6章「プリントを中止したいときは」（→ P.151）
原因3	インタフェースケーブルが外れている
対　策	インタフェースケーブルをパソコンおよびプリンタのインタフェース接続部にしっかりと接続します。
参照先	第2章「パソコンと接続する」（→ P.42）
原因4	本プリンタやオプション装置に故障がある
対　策	ディスプレイのメッセージを見て、処置します。
参照先	第6章「メッセージが表示されたときは」（→ P.159）

■操作パネルのトラブル

操作パネルのランプがつかない

原因1　**電源がオンになっていない**
対　策　**電源をオンにしてください。**
原因2　**パネルオフモードになっている**
対　策　**プリントデータを送るか、操作パネルのキーをどれか押すとプリント可能な状態に戻ります。**
参照先　第3章「電源の入れかた」（→ P.60）

操作パネルのスイッチが機能しない

原因1　**オンラインになっている**
対　策　**（オンライン）キーを押し、オフライン状態にします。**
参照先　第3章　「オンラインとオフライン」（ → P.62）
原因2　**メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）**
対　策　**（オンライン）キーを押してオフラインにし、（排出）キーを押します。**
参照先　第6章「プリントを中止したいときは」（ → P.151）

■用紙送りのトラブル

用紙の角が折れたりしわがよる

原因1　**給紙カセットに用紙が正しくセットされていない**
対　策　**給紙カセットに用紙を正しくセットする**
参照先　第2章「用紙をセットする」（→ P.37）
原因2　**給紙トレイに用紙を斜めにセットした**
対　策　**給紙トレイにまっすぐに用紙をセットする**
参照先　第4章「給紙元を選択する」（→ P.88）
原因3　**湿っている用紙を使用している**
対策1　**セットアップメニューの「トクシュ　モードA」を「モード3」に設定し、プリントし直してください。問題が解決した場合は、設定値を工場出荷時に戻してください。**
参照先　LIPS機能ガイド　第3章「1　拡張機能グループを設定する」
対策2　**乾いた用紙と交換してください。**
参照先　第2章「用紙をセットする」（→ P.37）

用紙がカールする

原因1　**用紙が適切でない**
対　策　**本プリンタで使用できる用紙と交換してください。**
参照先　第4章「用紙について」（→ P.80）
原因2　**排紙トレイに排紙できない用紙を、排紙トレイに排紙している**
対　策　**排紙先をフェースアップ排紙トレイに切り替えてください。**
参照先　第4章「排紙先を選択する」（→ P.91）
原因3　**定着モードが用紙に合っていない**
対　策　**プリンタドライバの用紙タイプを「普通紙L」に設定し、プリントし直してください。**
参照先　プリンタドライバのヘルプ

■印字品質のトラブル

印字がかすれる（白く抜ける）

原因1　**トナーカートリッジの寿命がきている、またはトナーが均一になっていない（片寄っている）**

対　策　**トナーカートリッジを取り出し、ゆっくり5～6回振ってトナーをならしてセットし直します。それでも同じ症状が出るときは、新しいトナーカートリッジに交換します。**

参照先　第5章「トナーカートリッジを交換する」（→ P.110）

原因2　**除電ユニットまたは搬送ローラが汚れている**

対　策　**除電ユニットや搬送ローラを清掃してください。**

参照先　第5章「トナーカートリッジを交換する」（→ P.114）

白いすじが入る

原因1　**トナーカートリッジの寿命がきている、またはトナーが均一になっていない**

対　策　**トナーカートリッジを取り出し、ゆっくり5～6回振ってトナーをならしてセットし直します。それでも同じ症状が出るときは、新しいトナーカートリッジに交換します。**

参照先　第5章「トナーカートリッジを交換する」（→ P.110）

原因2　**除電ユニットまたは搬送ローラが汚れている**

対　策　**除電ユニットや搬送ローラを清掃してください。**

参照先　第5章「トナーカートリッジを交換する」（→ P.114）

原因3　**トナーカートリッジが劣化、あるいは損傷している**

対策1　**新しいトナーカートリッジに交換してください。**

参照先　第5章「トナーカートリッジを交換する」（→ P.110）

印字が全体的にうすい、濃い

原因1　**トナー濃度の設定が適当でない**

対　策　**セットアップメニューの拡張機能グループで、トナー濃度を調節してください。**

参照先　第5章「印字濃度を調節する」（→ P.126）

原因2　**セットアップメニューのトナー節約が「ツカウ」に設定されている**

対　策　**セットアップメニューの拡張機能グループで、トナー節約を「ツカワナイ」に設定してください。**

参照先　LIPS機能ガイド　第3章「1　拡張機能グループを設定する」

印字ムラが出る

原因1　**トナーカートリッジの寿命がきている**

対　策　**トナーカートリッジを取り出し、ゆっくり5～6回振ってトナーをならしてセットし直します。それでも同じ症状が出るときは、新しいトナーカートリッジに交換します。**

参照先　第5章「トナーカートリッジを交換する」（→ P.110）

原因2　**トナーカートリッジが劣化、あるいは損傷している**

対　策　**新しいトナーカートリッジに交換してください。**

参照先　第5章「トナーカートリッジを交換する」（→ P.110）

原因3　**用紙が湿っている、あるいは乾燥している**

対　策　**適切な用紙に交換してください。**

参照先　第4章「用紙について」（→ P.80）

細い線が途切れてプリントされる

原　因　**スーパーファインモードで極細線が途切れているように見えている**

対　策　**セットアップメニューの「ドットホセイ」を「ツカウ」に設定し、プリントし直してください。**

参照先　LIPS 機能ガイド　第 3 章「4　印字調整グループを設定する」

スーパーファイン・ファインモードでプリント時に画像が粗くなったまたは正しくプリントできなかった

原　因　**データが複雑、あるいは多量すぎて処理ができなかった**

対　策　**エラーメッセージ「38　ガシツテイカ」（→ P.166）を参照してください。**

プリントした用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着する

原　因　**定着ローラが汚れている**

対　策　**定着ローラを清掃してください。**

参照先　第 5 章「トナーカートリッジを交換する」（→ P.120）

文字のまわりにトナーが飛び散ったような跡が付く

原　因　**転写モードが合っていない**

対　策　**セットアップメニューの「トクシュ　モード B」と「トクシュ　モード C」を両方とも「ツカウ」に設定し、プリントし直してください。問題が解決した場合は、設定値を工場出荷時に戻してください。**

参照先　LIPS 機能ガイド　第 3 章「1　拡張機能グループを設定する」

厚紙用紙のトナーが剥がれたり、擦ると手が汚れる

原　因　**トナーが十分に定着されていない**

対　策　**プリンタドライバの用紙タイプを「厚紙 H」に設定し、プリントし直してください。ただし、プリントスピードが低下する場合があります。**

参照先　プリンタドライバのヘルプ

■フォントのトラブル

意味不明の半角文字がプリントされる

原因1　動作モードの自動切り替えがうまく働かなかった

対　策　動作モードを目的のエミュレーションに固定してプリントし直してください。

参照先　第3章「動作モードについて」（→ P.74）
LIPS機能ガイド　第2章「3　メニューの操作の流れ」

原因2　動作モードの自動切り替えができなかった（PS/55やFM-R、N5200シリーズ用コントロールROMなどをセットして使用する場合）

対　策　動作モードをプリンタにセットしたコントロールROMのエミュレーションに固定し、インタフェースの設定をパソコンと接続しているインタフェースに固定してプリントし直してください。

参照先　LIPS機能ガイド　第2章「3　メニューの操作の流れ」
LIPS機能ガイド　第3章「5　インタフェースグループを設定する」

原因3　LIPSモードで使用中に、LIPS専用セットアップメニューの漢字コードの設定が違っている

対　策　LIPS専用セットアップメニューの漢字コードの設定をパソコンで使用している漢字コードに正しく合わせてください。

参照先　LIPS機能ガイド　第4章「LIPS専用セットアップメニューの設定」

原因4　付属のWindows用プリンタドライバを組み込まずにWindowsからプリントした

対　策　付属のWindows用プリンタドライバを組み込み、プリントし直してください。

参照先　第2章「ソフトウェアをインストールする」（→ P.56）
LIPSソフトウェアガイド

原因5　DOSアプリケーションソフトのプリンタ設定が適切でない

対　策　DOSアプリケーションソフトのプリンタ設定を、本プリンタと互換性のあるプリンタに設定し直してください。

参照先　第2章「ソフトウェアをインストールする」（→ P.57）
LIPSソフトウェアガイド

指定した書体と違う書体で印字される

原　因　Windows用プリンタドライバでTrueTypeフォントの置き換えが設定されている

対　策　Windows用プリンタドライバでTrue Typeフォントの置き換えを正しく設定し直し、プリントし直してください。

参照先　プリンタドライバのヘルプ

■その他のトラブル

白紙のページがプリントされない

原　因　**LIPS モードでプリント中に、LIPS セットアップメニューの「ハクシセツヤク」が「ツカウ」になっている**

対　策　**白紙のページをプリントするときは、LIPS セットアップメニューの「ハクシセツヤク」を「ツカワナイ」に設定します。**

参照先　LIPS 機能ガイド　第 4 章「白紙ページを排出しないようにする」

最後のページがプリントできない

原　因　**データの終わりを表すコマンドが来ない（ジョブランプが点灯している）**

対　策　**（オンライン）キーを押してオフラインの状態にし、（排出）キーを押します。（印刷機能のないアプリケーションソフトでプリントした場合、最後のページのデータが 1 ページに満たないと、そのままメモリ内に残ってしまいます。）**

参照先　第 6 章「プリントを中止したいときは」**（→ P.151）**

データが用紙をはみだした（用紙の周囲のデータがプリントされない）

原因 1　**データのサイズより小さな用紙をセットした**

対　策　**データのサイズに合った用紙をセットするか、用紙サイズに合わせた縮小率で縮小印刷をしてください。**

参照先　LIPS 機能ガイド　第 4 章「拡大／縮小してプリントする」

原因 2　**用紙をセットする位置が合っていない**

対　策　**用紙を正しくセットし、プリントし直してください。**

参照先　第 4 章「給紙元を選択する」**（→ P.88）**

原因 3　**余白なしで、用紙いっぱいのデータをプリントした**

対　策　**データの周囲に 5mm 以上（封筒は 10mm 以上）の余白を取ってプリントし直してください。（用紙の周囲 5mm（封筒は 10mm）の範囲にはプリントできません。）**

参照先　第 4 章「用紙について」**（→ P.80）**
アプリケーションソフトのマニュアル

原因 4　**N201 モードや ESC/P モードの「ページフォーマット」の設定が合っていない**

対　策　**N201 モードや ESC/P モードの「ページフォーマット」を正しく設定し、プリントし直してください。**

参照先　第 3 章「動作モードについて」**（→ P.74）**

原因 5　**N201 モードや ESC/P モードの「用紙位置」の設定が合っていない**

対　策　**N201 モードや ESC/P モードの「用紙位置」を正しく設定し、プリントし直してください。**

参照先　LIPS 機能ガイド　第 5 章「ページレイアウトグループを設定する」
LIPS 機能ガイド　第 6 章「ページレイアウトグループを設定する」

印字位置がずれてしまう

原因1　N201モードやESC/Pモードの「上余白」や「用紙位置」の設定が合っていない

対　策　N201モードやESC/Pモードの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定し、プリントし直してください。

参照先　LIPS 機能ガイド　第5章「ページレイアウトグループを設定する」
　　　　LIPS 機能ガイド　第6章「ページレイアウトグループを設定する」

原因2　セットアップメニューのレイアウトの「とじ幅」、「縦補正」、「横補正」が設定されている

対　策　セットアップメニューのレイアウトの「とじ幅」、「縦補正」、「横補正」の設定を「0」に設定し、プリントし直します。

原因3　アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」の設定が合っていない

対　策　アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定し、プリントし直してください。

参照先　LIPS 機能ガイド　第3章「3　レイアウトグループを設定する」

印字位置がだんだんずれていく

原　因　N201またはESC/Pモードを使用しているときに、ページフォーマットの設定とアプリケーションソフトで設定した用紙の種類が合っていない

対　策　アプリケーションソフトの用紙の種類とページフォーマットの設定を合わせてプリントし直します。

参照先　第3章「動作モードについて」(→ **P.74**)

ページの途中から次ページにわかれてプリントされる

原因1　アプリケーションソフトの「行間」や「1ページの行数」の設定が合っていない

対　策　1ページに収まるようにアプリケーションソフトの印刷指定で「行間」や「1ページの行数」を変更してからプリントし直します。

参照先　アプリケーションソフトのマニュアル

原因2　動作モードメニューが「ジドウ　センタク」に設定されているときに、セットアップメニューの拡張機能の「ジョブタイムアウト」の設定秒数が短すぎる

対　策　動作モードメニューを「ジドウセンタク」以外に設定するか、「タイムアウト」の設定秒数を十分に長くします。

参照先　LIPS 機能ガイド　第2章「3　メニューの操作の流れ」
　　　　LIPS 機能ガイド　第3章「1　拡張機能グループを設定する」

縮小されてプリントされる

原因1　**縮小プリントの設定がされている**

対策1　**プリンタドライバやアプリケーションの印刷縮小印刷設定を解除してください。**

参照先　LIPS ソフトウェアガイド

対策2　**LIPS セットアップメニューの「拡大／縮小」を「シナイ」にしてください。**

参照先　LIPS 機能ガイド　第4章「拡大／縮小してプリントする」

原因2　**N201 モードで使用しているときに、ページフォーマットが「2/3 縦」「2/3 横」に設定されている**

対　策　**「2/3 縦」「2/3 横」のページフォーマットでは縮小して印刷されます。N201 セットアップメニューの「ページフォーマット」を「実寸縦」または「実寸横」にしてください。**

参照先　第3章「動作モードについて」(→ P.74)
LIPS 機能ガイド　第4章「拡大／縮小してプリントする」

原因3　**ESC/P モードで使用しているときに、ページフォーマットが「B4 → A4 縦」「B4 → A4 横」に設定されている**

対　策　**「B4 → A4 縦」「B4 → A4 横」のページフォーマットでは縮小して印刷されます。ESC/P セットアップメニューの「ページフォーマット」を「実寸縦」または「実寸横」にしてください。**

参照先　第3章「動作モードについて」(→ P.74)
LIPS 機能ガイド　第4章「拡大／縮小してプリントする」

付録

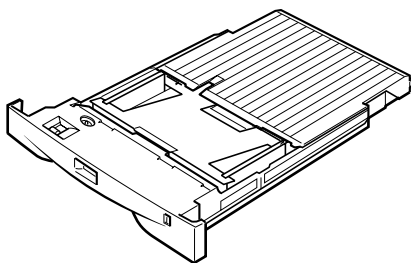
オプションについて

本プリンタの機能をフルに生かしてお使いいただくために、次のようなオプション品が用意されています。必要に応じてお買い求めください。

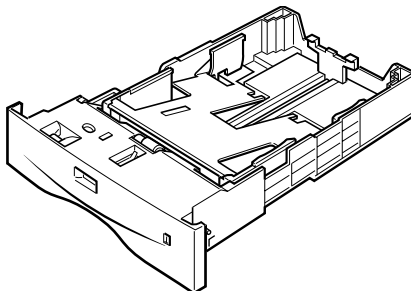
給紙カセット

給紙カセットは、250 枚用と 500 枚用の 2 種類があり、いずれもユニバーサルタイプです。いずれの給紙カセットも、次の定形サイズの普通紙（64 ～ 90g/m² まで）をセットできます。
A3（297mm × 420mm)、B4（257mm × 364mm)、A4（297mm × 210mm)、A4R（210mm × 297mm)、B5（257mm×182mm)、A5（210mm×148.5mm）レジャー（279.4mm×431.8mm)、リーガル（215.9mm × 355.6mm)、レター（279.4mm × 215.9mm)、レター R（215.9mm × 279.4mm)（500 枚給紙カセットのみ)、エグゼクティブ（267mm × 184mm)（A4、レターは、横置きが標準です。）

● 250 枚給紙カセット UC-62

標準のカセットおよび250枚ペーパーフィーダで使用できる給紙カセットです。定形サイズの普通紙を最大約 250 枚（64g/m²）までセットできます。

● 500 枚給紙カセット UC-62K

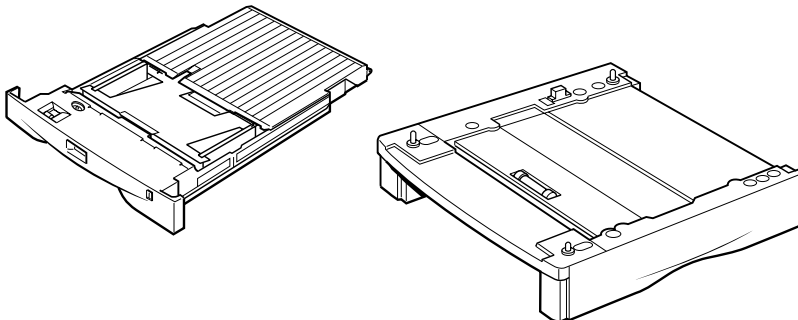
500枚ペーパーフィーダで使用できる給紙カセットです。定形サイズやユーザペーパーの普通紙を最大約 500 枚（64g/m²）までセットできます。

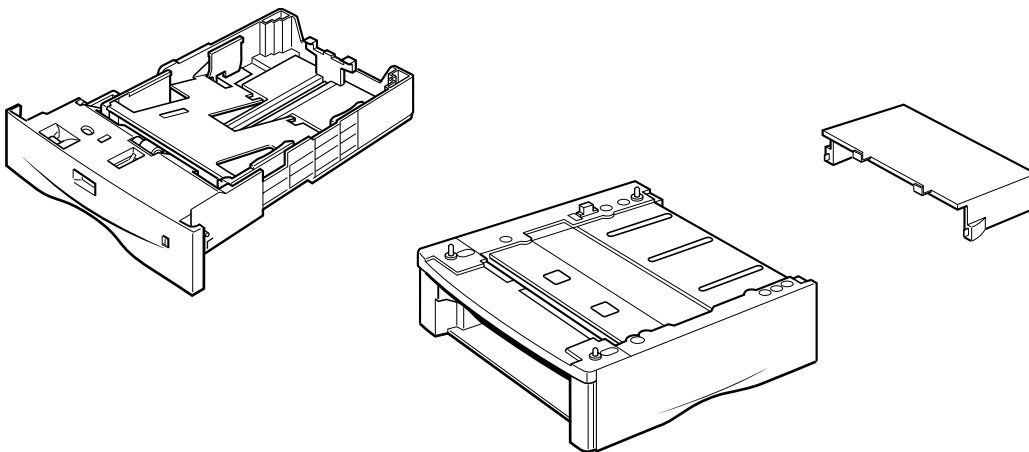
メモ

- 500 枚給紙カセットは、500 枚ペーパーフィーダが必要です。
- 500 枚ペーパーフィーダには、500 枚給紙カセットが同梱されています。

ペーパーフィーダ

オプションの給紙カセットは、プリンタ本体の底面に取り付けます。最大2つ（250枚ペーパーフィーダ×2または250+500枚ペーパーフィーダ）まで取り付けることができます。

● 250枚ペーパーフィーダ PF-62

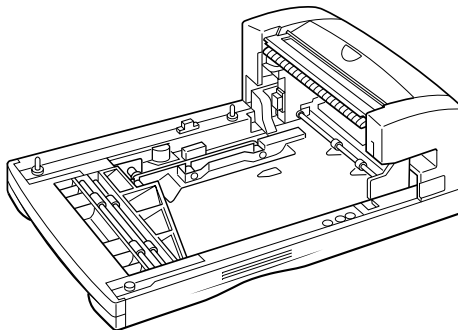
250枚ペーパーフィーダと給紙カセットのセットです。定形サイズの普通紙（64g/m²）を最大約250枚セットできます。

● 500枚ペーパーフィーダ PF-62K

500枚ペーパーフィーダと給紙カセットのセットです。定形サイズやフリーサイズの普通紙（64g/m²）を最大約500枚セットできます。

メモ

- **ペーパーフィーダは、必ず本プリンタ用のペーパーフィーダ（PF-62、PF-62K）をご使用ください。他の機種用のペーパーフィーダを使用することはできません。**
- **ペーパーフィーダの取り付けかたについては、500枚ペーパーフィーダに付属の設置ガイドをご覧ください。**
- **500枚ペーパーフィーダは、最下段にのみ取り付け可能です。500枚ペーパーフィーダを2段取り付けたり、250枚ペーパーフィーダの上に取り付けることはできません。**
- **ペーパーフィーダを3段以上取り付けることはできません。**

両面ユニット

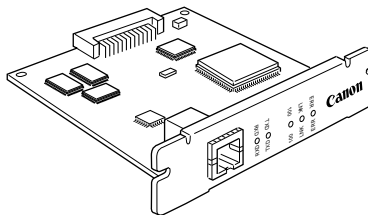
定形サイズの用紙に両面印刷するためのユニットです。プリンタ本体底面に取り付けます。

両面ユニット　DU-62

メモ

- **両面ユニットは、必ず本プリンタ用のペーパーフィーダ DU-62 をご使用ください。他の機種用の両面ユニットを使用することはできません。**
- **両面ユニットで使える用紙サイズは、A5、B5、A4、A4R、B4、A3、エグゼクティブ、レター、レター R、リーガル、レジャーです。**
- **両面プリントできる用紙は、64 ～ 90g/m² の普通紙です。**
- **両面ユニットの取り付けかたについては、両面ユニットに付属の設置ガイドをご覧ください。**

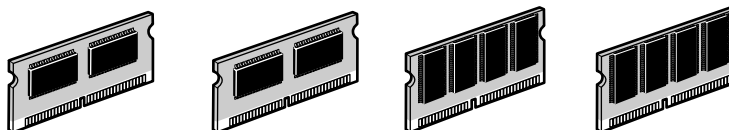
プリントサーバ

プリントサーバは、本プリンタをLANに接続するためのプリンタ内蔵型ネットワークボードです。IPX/SPX、TCP/IP、EtherTalk に対応したものがあり、NetWare、Windows、Macintosh、UNIX、イントラネットなど幅広いLAN システムに対応可能です。プリントサーバにより、対応プロトコルが異なります。また、それぞれ専用のネットワークプリンタ管理ソフトが添付されています。

例）キヤノン製プリントサーバ NB-4F

お願い

- **従来機用のプリントサーバ（5V用プリントサーバ）は、使用できません。必ず本プリンタの 3.3V 用拡張インタフェース（LIO スロット V2）に対応したプリントサーバを使用してください。**
- **本プリンタに対応していないプリントサーバを誤って使用した場合は、正しく動作しません。**
- **プリントサーバの取り付けかたについては、「プリントサーバの取り付け」（→ P.193）をご覧ください。**

拡張 RAM

メモリ容量を拡張するための増設メモリです。本プリンタは16MBのメモリを標準装備しています。拡張RAMは1個増設可能で、本プリンタのメモリ総容量を144MBまで拡張することができます。

拡張RAMには、16MB（RD-16MS）、32MB（RD-32MS）、64MB（RD-64MS）、128MB（RD-128MS）の4種類のボードがあります。

拡張 RAM	取り付け後の容量	印字保証サイズ
16MB	32MB	B4 × 4
32MB	48MB	A3 × 4
64MB	80MB	A3 × 8
128MB	144MB	A3 × 8

* 上記の印字保証サイズは、「印字動作」を「ガシツ　ユウセン」、「解像度」を「ファイン」、「階調処理」を「ヒョウジュン」、「フォームキャッシュメモリ」を「ツカワナイ」、「ハードディスク」を「ツカワナイ」に設定した場合の値です。

メモ

- **拡張 RAM は、必ず本プリンタに対応した SDRAM DIMMをご使用ください。キヤノン製拡張RAM（RD-16MS、RD-32MS、RD-64MS、RD-128MS）のご使用をおすすめします。**

本プリンタ用SDRAM DIMM（3.3V）

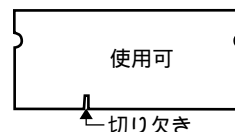
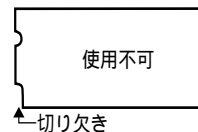
使用可

切り欠き

- **従来の拡張 RAM（RD-4M、RD-8M、RD-16M、RD-4ME、RD-8ME、RD-16ME、RD-16ML、RD-32ML、RD-64ML）は、使用できません。誤って使用した場合は、正しく動作しません。**

従来のRAM DIMM（3.3V、5V）

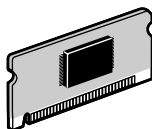
- **拡張 RAM の取り付けについては「RAMの取り付け」（→ P.186）をご覧ください。**

付録

コントロール ROM

エミュレーションモードを追加するためのROMです。本プリンタを、お使いのコンピュータに対応した専用プリンタのように動作させることができます。1枚のコントロールROMに、次のエミュレーションモードとフォントが収録されています。

- **PC-PR201/80A プリンタ拡張版**
- **ESC/P 準拠プリンタ拡張版**
- **IBM5577 プリンタエミュレーション**
- **富士通 FMPR-359 プリンタエミュレーション**
- **NEC N5273 プリンタエミュレーション**
- **HP-7550B（HP-GL）プロッタエミュレーション**
- **バーコードフォント ROM（FR-BFV2CL 相当）**

本プリンタには、コントロール ROM またはフラッシュメモリのいずれか 1 個を増設可能です。

製品名
CR-MES

- **コントロールROMは、必ず本プリンタに対応したもの（CR-MES）をご使用ください。**
- **従来のコントロール ROM（CR-5577/2、CR-359/2、CR-5273/2、CR-7550/C、CR-201/2、CR-ES/2、CR-5577L、CR-359L、CR-5273L、CR-7550L、CR-201L、CR-ESL、CR-MEL）は、使用できません。誤って使用した場合は、正しく動作しません。**

- **N201 エミュレーションモードでオーバレイ機能を使用するときは、コントロール ROM CR-MES が必要です。**
- **ESC/Pエミュレーションモードでオーバレイ機能を使用するときは、コントロール ROM CR-MES が必要です。**
- **コントロール ROM の取り付けについては、「RAM、ROM の取り付け」（→ P.186）をご覧ください。**

フラッシュメモリ

オーバーレイ、マクロなどをダウンロードするためのメモリ（ROM）です。

お願い

- **フラッシュメモリに関しては、発売未定です。**

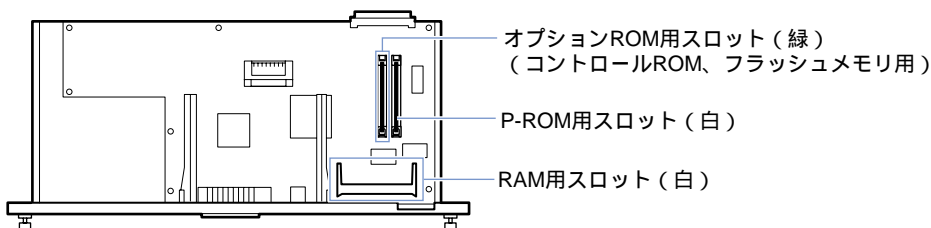
プログラマーズマニュアル

本プリンタ用のプリンタドライバや印刷設定プログラムなどを作成するための、プログラマー用のマニュアルです。次の3種類が用意されています。

製品名
- **プログラマーズマニュアル「ソフトウェア概説書4.2」（LIPSコマンドの概要を知るためのマニュアル）**
- **プログラマーズマニュアル「コマンドリファレンス4.2」（LIPSコマンドの手引き）**
- **プログラマーズマニュアル「クックブック4.2」（プログラムサンプル集）**

RAM、ROMの取り付け

拡張RAM、フラッシュメモリ（ROM）、コントロールROMは、次の方法で本体背面のメインボードに取り付けて使用します。

■ RAM、ROMの取付位置について

お願い

- **P-ROM用スロット（白）に取り付けられているROMは絶対に取り外さないでください。プリンタが使用できなくなります。**
- **RAMとROMは、形状や取り付ける位置、取り付け方法が違います。取り付け位置を間違えないように注意してください。**
- **RAMやROMを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにしてインタフェースケーブルや電源コードを取り外し、作業しやすい場所へ移動して作業を行ってください。**

■ RAMの取り付けかた

お願い

- **RAMには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気によるRAMの破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のようなことをお守りください。**
  - **一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業をしてください。**
  - **作業中にディスプレイなどの静電気を発生しやすいものに触れないでください。**
  - **メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。**
  - **静電気の影響を避けるために、RAMは取り付ける直前まで袋から取り出さないでください。**

1

プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから外します。

両面ユニットを装着している場合は、両面ユニットの後部ユニットも取り外します。取り外しかたについては、両面ユニットに付属の設置ガイドをご覧ください。

2

インタフェースケーブルや電源コードをすべて取り外します。

両面ユニットを装着している場合は、両面ユニットのケーブルガイドも取り外します。

3

左右のネジをゆるめて引き出し、メインボードの金属部分を両手で持って取り外します。

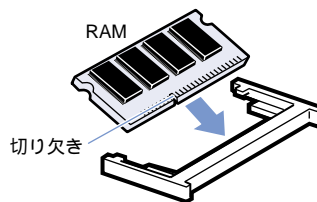
ネジは軽く動くところまでゆるめれば十分です。取り外す必要はありません。取り外したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置いてください。

注意

- **メインボードは必ず両手で金属部分を持って取り外してください。ネジ部を持って引き出すと、メインボードが落下してけがや破損の恐れがあります。**

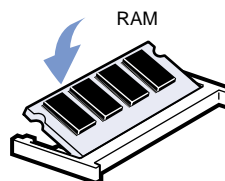
- **メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。**
- **作業中にネジなどの金属がメインボードに触れないように注意してください。**

4

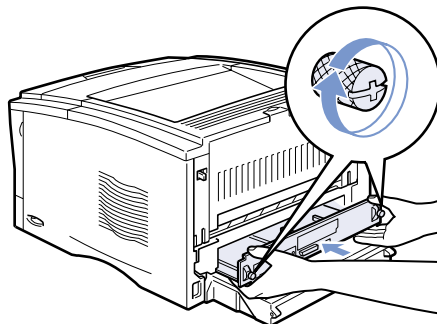
RAMの端子側をスロットの端子へ斜め上からRAMの端子が見えなくなるくらいまでしっかり差し込みます。

注意

- **メインボードの部品やRAMの角でけがをしないよう、注意してください。**

5

RAMを下にカチッと音がするまで押し、両側ともロックします。

6

メインボードを本体背面の元の位置へ差し込み、左右のネジを締めて固定します。

7

インタフェースケーブル、電源コードを接続します。

両面ユニットを装着しているときは、ケーブルガイドを取り付けてから、インタフェースケーブルを取り付けます。

8

電源プラグを電源コンセントへ接続します。

両面ユニットを装着しているときは、両面ユニットの後部ユニットを取り付けます。

■ ROMの取り付けかた

お願い

● ROMには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気によるROMの破損を防止するために、取りති扱いに当たっては次のようなことをお守りください。
・一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業をしてください。
・作業中にディスプレイなどの静電気を発生しやすいものに触れないでください。
・メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
・静電気の影響を避けるために、ROMは取り付ける直前まで袋から取り出さないでください。

1

プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから外します。

両面ユニットを装着している場合は、両面ユニットの後部ユニットも取り外します。取り外しかたについては、両面ユニットに付属の設置ガイドをご覧ください。

2

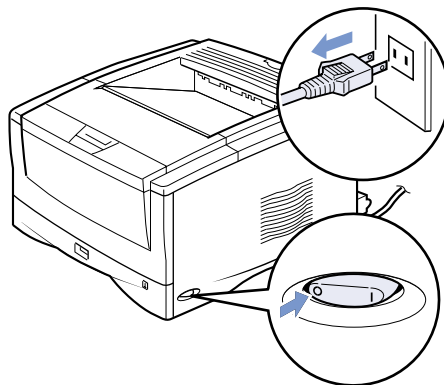
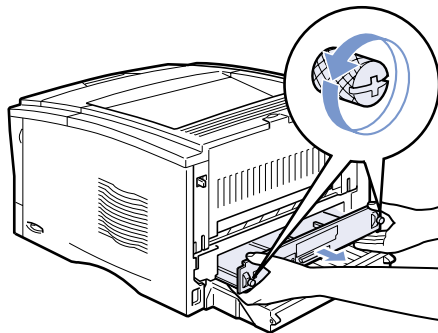
インタフェースケーブルや電源コードをすべて取り外します。

両面ユニットを装着している場合は、両面ユニットのケーブルガイドも取り外します。

3

左右のネジをゆるめて引き出し、メインボードの金属部分を両手で持って取り外します。

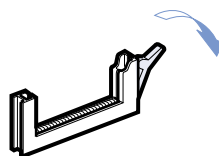
ネジは軽く動くところまでゆるめれば十分です。取り外す必要はありません。取り外したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置いてください。

注意

- **メインボードは必ず両手で金属部分を持って取り外してください。ネジ部を持って引き出すと、メインボードが落下してけがや破損の恐れがあります。**

お願い

- **メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。**
- **作業中にネジなどの金属がメインボードに触れないように注意してください。**

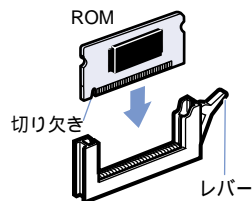
4

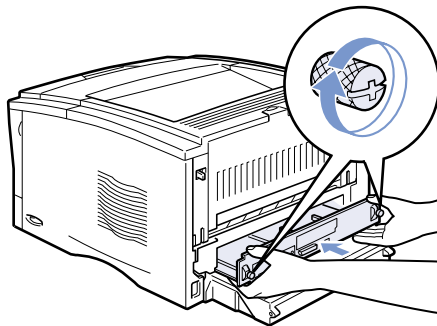
緑色のROMスロットのレバーを押し下げます。

注意

- **メインボードの部品やROMの角でけがをしないよう、注意してください。**

5

切り欠きをレバーの反対側にしてオプションROMをスロットガイドに合せて差し込み、レバーが垂直になるまでしっかりと押し込みます。

ROMが完全に入ると、レバーが垂直になってレバーの突起がROMの溝に掛かります。

6

メインボードを本体背面の元の位置へ差し込み、左右のネジを締めて固定します。

7

インタフェースケーブル、電源コードを接続します。

両面ユニットを装着しているときは、ケーブルガイドを取り付けてから、インタフェースケーブルを取り付けます。

8

プリンタの電源プラグを電源コンセントへ接続します。

両面ユニットを装着しているときは、両面ユニットの後部ユニットを取り付けます。

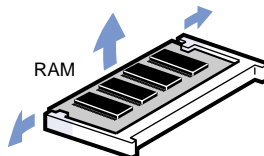
■ RAMまたはROMの取り外すときは

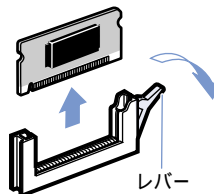
RAMまたはROMを取り外すときは、次の手順で行います。

メモ

● メインボードの脱着方法については、RAMまたはROMの取り付けをご覧ください。（→ P.186, 189）

● RAMの場合

RAMスロット左右のレバーを同時に引くと、RAMが跳ね上がり外れます。

● ROMの場合

緑色のROMスロットのレバーを押し下げると、オプションROMが浮いて外れます。

■ RAM、ROMの設定

RAMやROMを取り付けた後は、次の設定を行ってください。

拡張RAM → 必要に応じてメニューの印字調整グループの設定を行ってください。

フラッシュメモリ → オプションのFlash Buddyでフォントやオーバレイなどをダウンロードします。

コントロールROM → ユーティリティソフトのインストーラのメンテナンス、またはメニュー機能で設定します。

メモ

● ユーティリティソフトのインストーラのメンテナンスについては、「LIPSソフトウェアガイド」をご覧ください。
● 操作パネルのメニュー機能のエミュレーションモードの設定については「LIPS機能ガイド」またはオプションのコントロールROMに付属のマニュアルをご覧ください。

プリントサーバの取り付け

プリントサーバは、次の手順で拡張ボードスロットへ取り付けます。プリントサーバの詳細については、プリントサーバの説明書をご覧ください。プリントサーバの取り付け作業には、⊕ドライバーが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

お願い

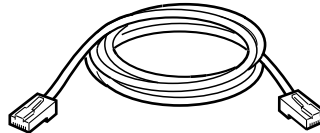
●プリントサーバには、静電気に敏感な部品が使用されています。このため、プリントサーバを不用意に取り扱うと、静電気によって部品を破損し、動作不良などのトラブルの原因となることがあります。取り扱いに当たっては次のことをお守りください。

- **静電気の影響を避けるために、プリントサーバは取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。なお、保護袋はプリントサーバを取り外すときに必要になります。捨てないで保管しておいてください。**
- **一度室内の金属部分に手を触れ､体の静電気を逃がしてから作業をしてください。**
- **プリントサーバの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。**
- **作業中にパソコンのディスプレイなど静電気を発生しやすいものに触れないでください。**

■ケーブルやコネクタの準備

本プリントサーバをプリンタに取り付け、ネットワークに接続して使用する場合、ネットワークの種類に応じて次のようなケーブルやコネクタが必要です。あらかじめこれらのケーブルやコネクタを準備してから作業を行ってください。

●ツイストペア LAN ケーブル

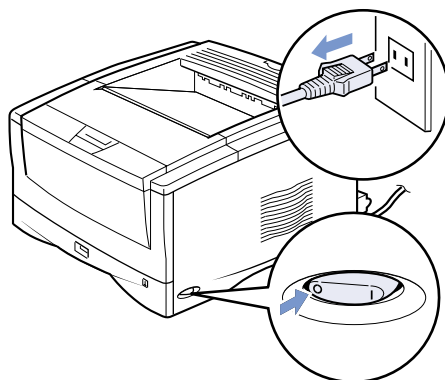
接続するネットワークに合わせて、10BASE-T または 100BASE-TX 対応のネットワークケーブル（両端に RJ-45 コネクタが付いたより対線）をご用意ください。

●ハブ

プリンタを接続するハブの空きポートを確認してください。空きポートがない場合、ハブの増設が必要になります。

■プリントサーバの取り付けかた

1

プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから取り外します。

両面ユニットを装着している場合は、両面ユニットの後部ユニットも取り外します。取り外しかたについては、両面ユニットに付属の設置ガイドをご覧ください。

お願い

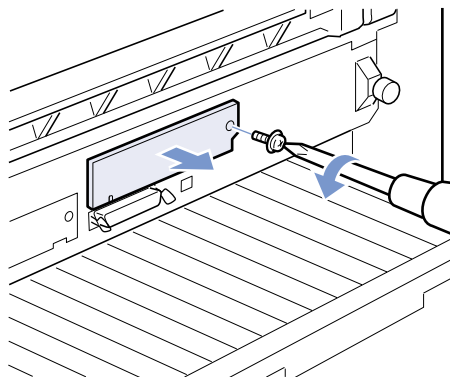
● **プリントサーバの取り付けは、必ず電源をオフにした状態で行ってください。**

2

インタフェースケーブルや電源コードをすべて取り外します。

両面ユニットを装着している場合は、両面ユニットのケーブルガイドも取り外します。

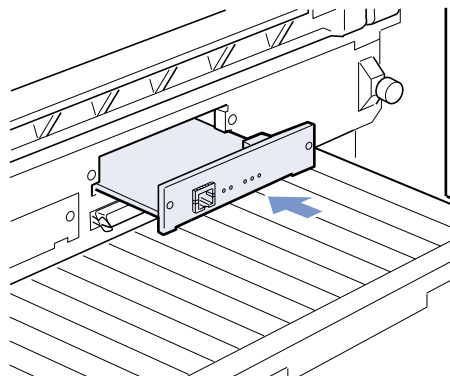
3

拡張ボードスロットのネジを外して、保護板を取り外します。

メモ

● **取り外した保護板とネジは、プリントサーバを外したときに必要になります。無くさないように保管しておいてください。**

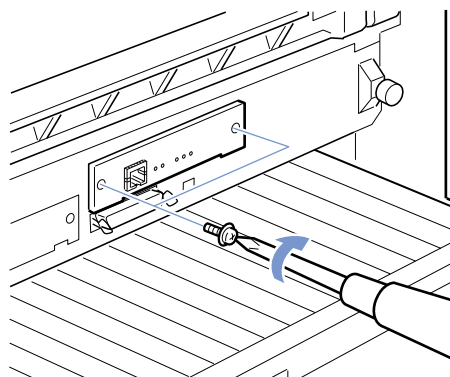
4

プリントサーバを拡張ボードスロットに差し込みます。

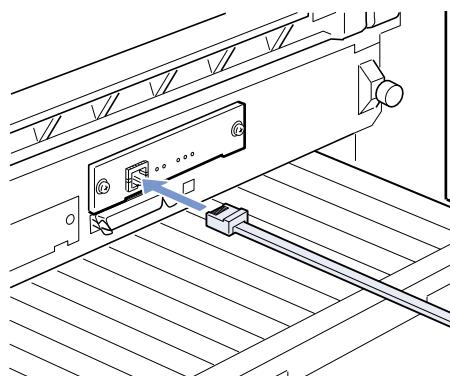
プリントサーバは、金属製のパネル部分を持ち、ボードを拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。

お願い

- **プリントサーバの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。**
- **プリントサーバのプリンタ接続コネクタを、拡張ボードスロット内部のコネクタに、しっかりと確実に押し込んでください。**

5

プリントサーバの左右を、付属の2本のネジでネジ止めします。

6

ネットワークケーブルを接続します。

お使いのネットワークに合わせ、プリントサーバの接続口に対応したネットワークケーブルを接続します。

メモ

- **ネットワークとの接続については、プリントサーバに付属の説明書をご覧ください。**

7

インタフェースケーブル、電源コードを接続します。

両面ユニットを装着している場合は、ケーブルガイドを取り付けてから、インタフェースケーブルを取り付けます。

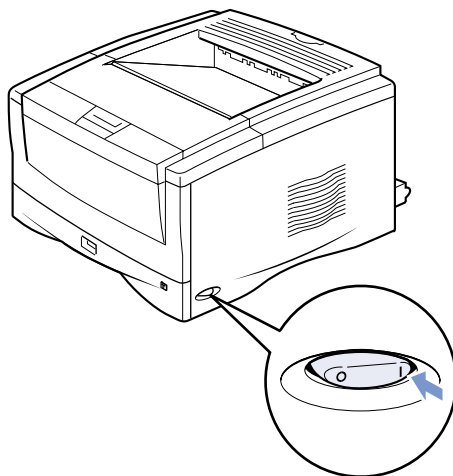
8

プリンタの電源プラグを電源コンセントへ接続します。

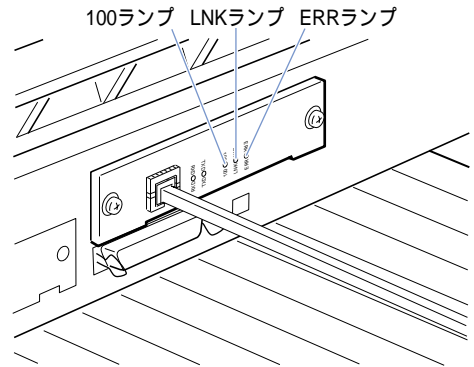
両面ユニットを装着している場合は、先に後部ユニットを取り付けます。

9

プリンタの電源をオンにします。

しばらくするとディスプレイに「00　インサツ　カノウ」と表示され、プリント可能な状態になります。

10

プリントサーバのLNKランプ（緑）が点灯していることを確認します。

10BASE-Tの場合は、LNKランプが点灯していれば、正常です。100BASE-TXの場合は、LNKランプと100ランプが点灯していれば、正常です。
正常に動作していない場合は、LANケーブルの接続やハブの動作状態、プリントサーバの取付状態を確認してください。（→プリントサーバの取扱説明書）

11

確認が終わったら、電源スイッチの“○”側を押して電源をオフにします。

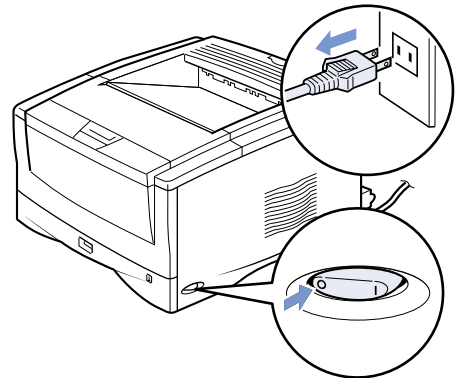
■プリントサーバを取り外すときは

一度取り付けたプリントサーバを取り外すときは、次の手順で作業をします。

1

プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから外します。

両面ユニットを装着している場合は、両面ユニットの後部ユニットも取り外します。取り外しかたについては、両面ユニットに付属の設置ガイドをご覧ください。

2

電源コードやインタフェースケーブルを取り外します。

両面ユニットを装着している場合は、両面ユニットのケーブルガイドも取り外します。

3

プリントサーバの固定ネジ（2本）をゆるめて抜き取ります。

4

プリントサーバを引き抜きます。

5

拡張ボードスロットの保護板を取り付け、ネジ止めします。

お願い

- **異物やほこりなどが入るのを防ぐため、保護板は必ず取り付けてください。**
- **取り外したプリントサーバは、必ず保管しておいた保護袋に入れてください。**

6

電源コードやインタフェースケーブルを取り付けます。

両面ユニットを装着している場合は、ケーブルガイドを取り付けてから、インタフェースケーブルを取り付けます。

7

電源プラグを電源コンセントへ接続します。

両面ユニットを装着している場合は、先に後部ユニットを取り付けます。

主な仕様

■ハードウェアの仕様

形式		デスクトップ型ページプリンタ
プリント方式		電子写真方式（オンデマンド定着）
プリント速度		16.3* 枚／分（A4, 横送り , 300/600dpi） 8.1* 枚／分（A4, 横送り , 1200dpi） * 注： プリント速度は、用紙の向きやサイズ、用紙タイプ、定着モードの設定により遅くなることがあります。
ウォーミングアップ時間		9 秒以下（20°C, 拡張 RAM 未装着時）
ファーストプリント時間		約 13.9* 秒（A4, 横送り , 300/600dpi, 20°C, カセット給紙 / フェースダウン排紙） 約 10.3* 秒（A4, 横送り ,300/600dpi, 20°C, カセット給紙 / フェースアップ排紙） * 注： ファーストプリント時間は、用紙の向きやサイズ、用紙タイプ、定着モードの設定により遅くなることがあります。
用紙サイズ	250 枚カセット（標準・オプション）	A3、B4、A4、A4R、B5、A5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ 最大積載枚数： 約 250 枚（64g/m²）
	500 枚カセット（オプション）	A3、B4、A4、A4R、B5、A5、レジャー、リーガル、レター、レター R、エグゼクティブ、ユーザペーパー（幅：210 ～ 297mm、長さ：148.5 ～ 431.8mm） 最大積載枚数： 約 500 枚（64g/m²）
	トレイ	幅：76.2 ～ 312mm　長さ：127 ～ 469.9mm 最大積載枚数： 約 100 枚（64g/m²）
排紙方式		フェースダウン * ／フェースアップ * 注： A3 フルブリード紙（312mm × 440mm）、レジャーフルブリード紙（304.8mm × 457.2mm {12" × 18"}）、インデックスカード（76.2mm × 127mm {3" × 5"}）サイズの用紙は、フェースダウン排紙はできません。フェースアップ排紙のみ可能です。
排紙積載枚数		フェースダウン排紙トレイ　約 250 枚（64g/m²） フェースアップ排紙トレイ　約 50 枚（64g/m²）
稼働音音圧レベル（バイスタンダ位置）（ISO9296 に基づく公表騒音放出値）（プリンタ本体のみ）		スタンバイ中（600/1200dpi）　最大　38dB[A] 動作中（600dpi）　最大　52dB[A] 動作中（1200dpi）　最大　50dB[A]
使用環境（プリンタ本体のみ）		動作環境温度　10 ～ 32.5°C 湿度　20 ～ 80%RH（結露しないこと）
保管環境（プリンタ本体のみ）		保管環境温度　0 ～ 35.0°C 湿度　10 ～ 80%RH（結露しないこと）
電源		AC100V ± 10%（50 / 60Hz ± 2Hz）
消費電力（20°C時）		動作時　平均約 332W* スタンバイ時　平均約 31W* パネルオフスタンバイ時　平均約 18W* 最大　715W 以下 ** * 注： 本体標準状態での値です。 ** 注： フルオプション装着時／起動時の瞬間的なピークを除いた値です。

質量	プリンタ本体	約 23kg
	EP-62 カートリッジ	約 1.9kg
	250 枚給紙カセット	約 2.5kg
	500 枚給紙カセット *	約 4.7kg
	両面ユニット *	約 10.4kg
	250 枚ペーパーフィーダ * （250 枚給紙カセット含む）	約 7.2kg
	500 枚ペーパーフィーダ * （500 枚給紙カセット含む）	約 11.4kg

* 印の製品は、別売のオプションです。

■コントローラの仕様

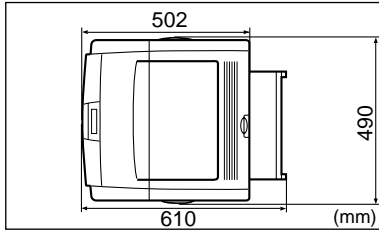
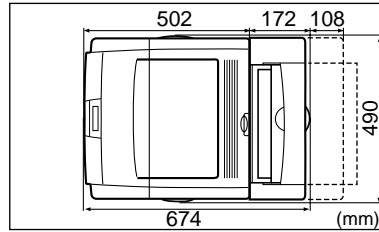
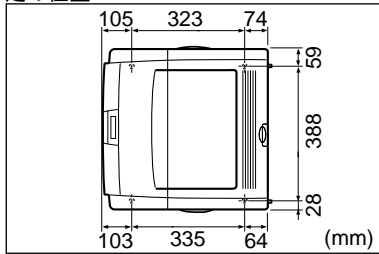
CPU	PowerPC 603ei（100MHz）
メモリ（RAM）容量	標準 16 MB オプションの拡張 RAM により、最大 144MB まで拡張可能
ホストインタフェース	パラレルインタフェース（セントロニクス準拠／双方向） USB インタフェース（V1.0 スレーブのみ） 拡張インタフェース（オプション）× 1
ユーザインタフェース	ディスプレイ 16 桁× 2 段 ランプ 9 操作キー 8
RAM スロット	1
ROM スロット	1

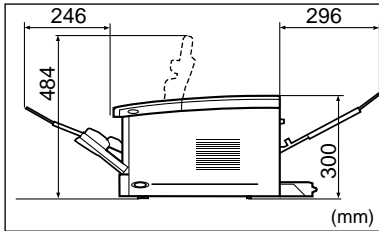
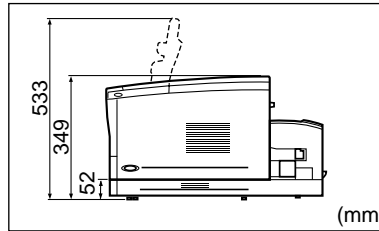
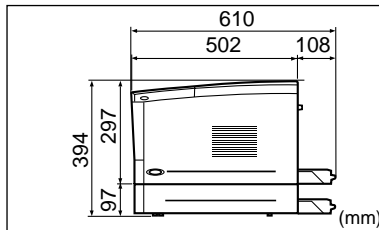
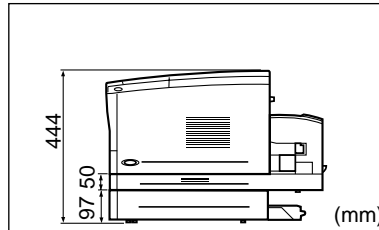
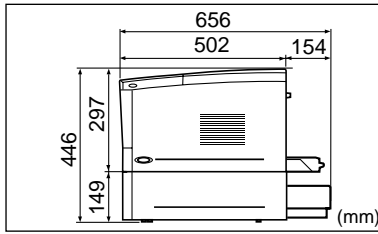
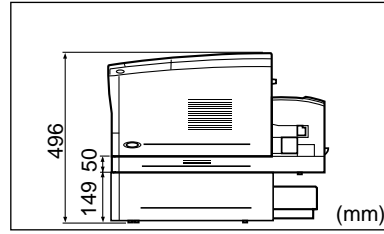
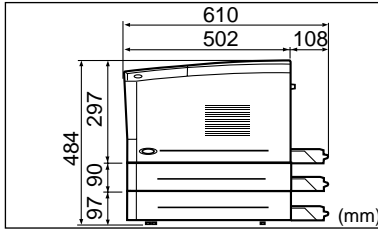
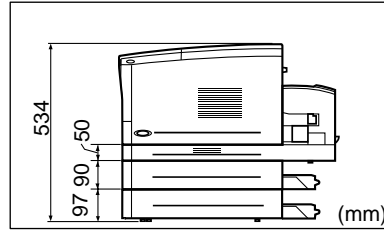
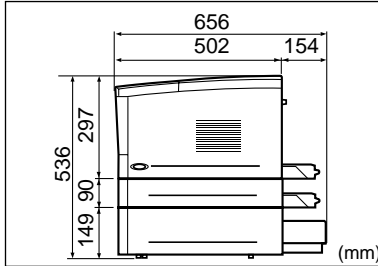
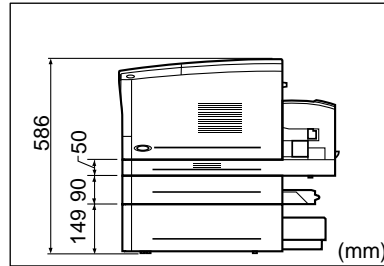
■ソフトウェアの仕様

内蔵コントロールコマンド	LIPS II+ ／ LIPS III ／ LIPS IV 標準 N201（PC-PR201/80A）／標準 ESC/P
内蔵スケーラブルフォント	平成明朝体 ™W3* 注、平成角ゴシック体 ™W5* 注、ラインプリンタボールド
* 注：	これらのフォントは（財）日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。 Courier、Dutch、Swiss、Symbol
有効印字領域	上下左右とも周囲 5*mm（封筒は 10mm）の範囲には印字できません。
* 注：	フルブリード紙は除く。

各部の寸法

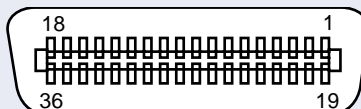
■平面図

標準仕様

両面仕様

足の位置

■側面図

標準仕様

両面仕様

250 枚カセット仕様

250 枚カセット両面仕様

500 枚カセット仕様

500 枚カセット両面仕様

250 枚＋ 250 枚カセット仕様

250 枚＋ 250 枚カセット両面仕様

250 枚＋ 500 枚カセット仕様

250 枚＋ 500 枚カセット両面仕様

インタフェース仕様

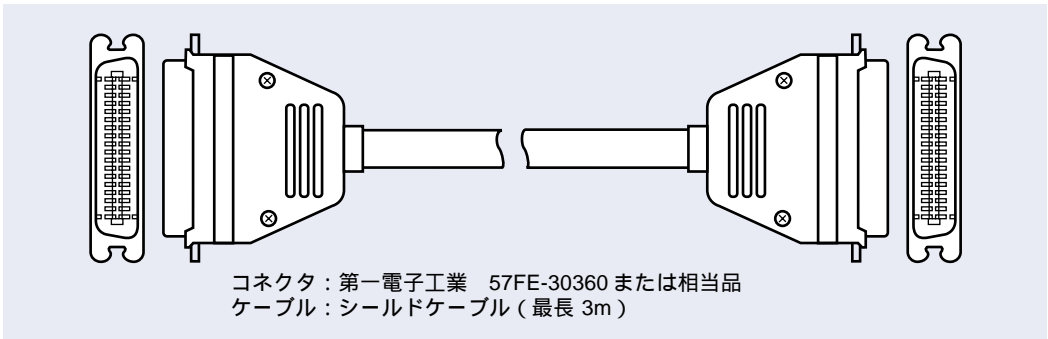
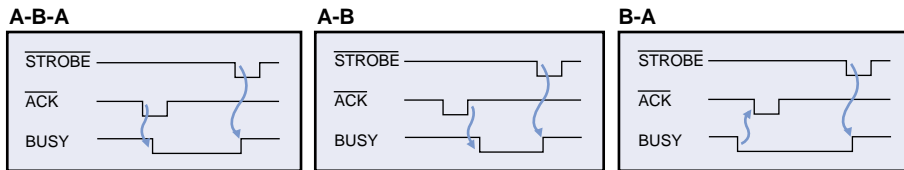
パラレルインタフェース（セントロニクス準拠）

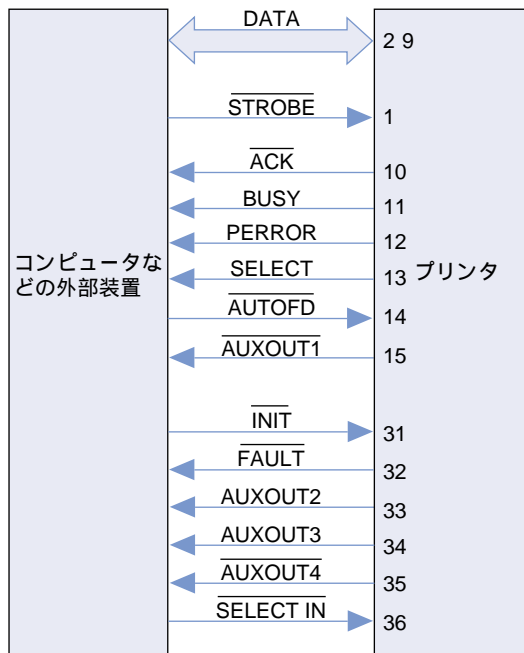
●信号線とピン配置

ピン番号	信　号	ピン番号	信　号
1	STROBE	19	GND (STROBE)
2	DATA0	20	GND (DATA0)
3	DATA1	21	GND (DATA1)
4	DATA2	22	GND (DATA2)
5	DATA3	23	GND (DATA3)
6	DATA4	24	GND (DATA4)
7	DATA5	25	GND (DATA5)
8	DATA6	26	GND (DATA6)
9	DATA7	27	GND (DATA7)
10	ACK	28	GND (PERROR, SELECT, ACK)
11	BUSY	29	GND (BUSY, FAULT)
12	PERROR	30	GND (AUTOFD, SELECT IN, INIT)
13	SELECT	31	INIT
14	AUTOFD	32	FAULT
15	AUXOUT1	33	AUXOUT2
16	Logic GND	34	AUXOUT3
17	Chassis GND	35	AUXOUT4
18	Peripheral Logic High	36	SELECT IN

●「AUXOUT」は、拡張用の信号出力で、現在は未使用です。

●コネクタおよびケーブル

●タイミングチャート

メモ

● タイミングはメニュー機能の「拡張機能／インタフェースグループ」で変更します。
(→ LIPS 機能ガイド)

●結線図

用語集

EP-62 カートリッジ

キヤノン独自の、トナー、感光体ドラム、クリーニングユニットを一体にしたカートリッジです。トナーが無くなったら他のユニットも一緒に交換するため、常に安定した高印字品質を維持できます。また、交換作業も非常に簡単です。EP-62は、A4原稿（印字比率：約5%、濃度：工場出荷時の初期値）で約10,000枚プリント可能です。

LIPS

LIPSとは、キヤノンの日本語プリンタ用に開発されたコントロールコマンドです。LIPS II、LIPS II+、LIPS III 、LIPS IV、LIPS IVcの5種類があり、LIPS IV、LIPS IVcはLIPS IIIの機能を拡張したもので、フルカラープリントにも対応しています。それぞれのコマンドは上位互換を保っています。本プリンタはLIPS II+とLIPS III、LIPS IVに対応しています。

MaxiMem（マキシメム）

高精細プリントを最大限に引き出す、キヤノン独自のメモリ効率化機能です。

NetSpot

NetSpotは、ネットワーク上のプリンタやパソコンに接続されたプリンタをパソコンからプリンタの設定や管理を行うためのユーティリティソフトです。本プリンタに標準添付されており、必要に応じてパソコンにインストールして使用します。
（→LIPSソフトウェアガイド）

NetSpot Job Monitor

NetSpot Job Monitorは、プリンタの状態をリアルタイムで表示するためのユーティリティソフトです。本プリンタに標準添付されており、必要に応じてパソコンにインストールして使用します。
（→LIPSソフトウェアガイド）

NVRAM

NVRAMとは、Non-Volatile Random Access Memoryの略で、電源を切っても内容が保存される、読み書き可能なメモリのことです。本プリンタではメニュー機能の設定内容を保存するために用いられており、常に最新の設定内容が保存できるようになっています。

RAM

RAMとは「Random Access Memory」の略で、読み書き可能なメモリですが、電源を切ると登録した内容が消えてしまいます。本プリンタでは、システムワークメモリや受信バッファに使っています。また、本プリンタのメモリ容量を増加するために、オプションの拡張RAMが用意されています。

ROM

ROMとは「Read Only Memory」の略で、読み出し専用メモリです。電源を切っても内容が消えません。本プリンタでは、システムのプログラムを書き込んでいます。また、オプションのコントロールROMに使用されています。

USB コネクタ

USB とは「Universal Serial Bus」の略で、パソコンと周辺機器との間のデータ伝送方式（インタフェース）のひとつです。Windows98 パソコンや Macintosh パソコンのプリンタ接続やキーボード接続、マウス接続などに利用されています。

エミュレーションモード

パソコンメーカー各社の専用プリンタをエミュレーション（模倣）して動作するモードです。本プリンタは、N201 エミュレーションモード、ESC/P エミュレーションモードを内蔵しており、プリントデータに応じて自動的に切り替えてプリントします。また、N5200 シリーズや PS/55 シリーズ、FM-R シリーズ、HP-GL などに対応した専用プリンタをエミュレート（模倣）するコントロール ROM（オプション）も用意されています。
（→第 3 章「動作モードについて」**P.74**）

オプション ROM

本プリンタでは、別売のオプションとして、「フラッシュメモリ」、「コントロール ROM」を用意しています。フラッシュメモリは、オプションのフォントやオーバレイなどをダウンロードするための ROM です。コントロール ROM は、本プリンタを N5200 シリーズや PS/55, PS/V シリーズ、FM-R シリーズなどに対応した専用プリンタとして使用可能にします。
（→フラッシュメモリ、コントロール ROM）

オフライン

パソコンとプリンタ間の回線が切断され、パソコンからのプリントデータを受信できない状態をいいます。用紙の選択やメニュー機能を使うときは必ずオフラインの状態にします。オフライン状態では、操作パネルのオンラインランプは消灯しています。
（→第 3 章「オンラインとオフライン」**P.62**）

オンライン

パソコンとプリンタ間の回線がつながって、パソコンからのプリントデータを受信できる状態をいいます。プリントは必ずオンラインの状態で行います。用紙の選択やメニュー機能は設定できません。オンライン状態では、操作パネルのオンラインランプが点灯しています。
（→第 3 章「オンラインとオフライン」**P.62**）

オーバレイ

２ページ分のデータを重ね合わせて1ページの書類としてプリントすることをいいます。本プリンタには、オーバレイ用のメモリ領域が用意されています。このメモリにあらかじめ重ね合わせてプリントしたいデータを登録しておくことで、プリント時に重ね合わせることができます。各種の帳票を多量にプリントするときなど、まず帳票のフォーマットデータを登録しておけば、後から数値などのデータを送るだけでスピーディーにプリントすることができます。
（→ LIPS ソフトウェアガイド、LIPS 機能ガイド）

オンデマンド定着

従来のレーザビームプリンタでは非常に困難な課題であった、省エネとクイックスタートを可能にした、キヤノン独自の画期的な定着方式です。プリンタ未使用時の電力消費を極限までカットし、データの受信と同時にプリントのスタートが可能です。

拡張 RAM

プリンタのメモリを増設するためのオプションです。最大128MBまで増設でき、標準で16MBのメモリを最大144MBまで拡張できます。拡張RAMを装着すると、ファインモードや両面プリント可能な用紙サイズを拡大することができます。
（→付録「オプションについて」**P.183**）

クリーニング用紙

定着ローラを清掃するための用紙です。プリントした用紙が黒点状に汚れるときは、クリーニング用紙をプリントして、定着ローラの清掃を行います。
（→第5章「トナーカートリッジを交換する」**P.120**）

高階調モード

高階調モードは、600dpiの1ドットを4階調（2ビット）で表現することにより、2400dpi × 600dpi相当の階調の滑らかさでプリントするモードです。高精細印字と高速プリントを両立しています。
（→第3章「プリント画質について」**P.67**）

コントロール ROM

パソコンメーカー各社の専用プリンタをエミュレート（模倣）するためのオプションです。N5200シリーズ、PS/55シリーズ、FM-Rシリーズ、HP-GLなどに対応したコントロールROMが用意されています。
（→付録「オプションについて」**P.184**）
（→エミュレーションモード）

コントロールコマンド

ページにプリントする文字や罫線、網かけ、図形、イメージなどのデータ、および印字位置や印字方法など、どこに何をどのようにプリントするかをプリンタに指示するための命令です。本プリンタは、キヤノン独自のLIPS IVの他、シリアルプリンタ用のN201エミュレーションモード、ESC/Pエミュレーションモード のコントロールコマンドを内蔵しています。
（→エミュレーションモード）
（→第3章「動作モードについて」**P.74**）

システムワークメモリ

主に多角形描画などの図形処理のときにシステムが使用するメモリです。工場出荷時の状態では、搭載されているメモリ容量に応じて自動的に確保されます。取り付けられている拡張RAMや印字動作／フォームキャッシュメモリの設定によって確保できる容量は変わります。
（→拡張RAM、描画メモリ、受信バッファ、フォームキャッシュメモリ）

受信バッファ

パソコンから送られたプリントデータを一時的に保存しておくためのメモリです。取り付けられている拡張RAMや印字動作／フォームキャッシュメモリの設定によって確保できる容量は変わります。
（→拡張RAM、描画メモリ、システムワークメモリ、フォームキャッシュメモリ）

ジョブ

パソコンから送られ、プリンタ内でひとまとまりとして管理、処理されるデータの単位を表します。データの送られてくるインタフェースやプロトコルごとに区別して管理されます。従来機用のプリンタドライバなどを使用してデータを送信した場合は、ジョブタイムアウトまでデータの終了を認識できないことがあります。

スーパースムージングテクノロジー

キヤノン独自のイメージ処理技術で、文字や図形の輪郭部のギザギザを自動的に検知してスムージング処理を行います。本プリンタのレーザビームの走査線密度はクイックモードで300dpi、ファインモードで600dpiですが、スーパースムージングテクノロジーで、クイックモード時1200dpi相当×600dpi、ファインモード時2400dpi相当×600dpiの高品位印字を実現しています。

スーパーファインモード

画像データや写真イメージデータを高品位なデータ処理解像度1200dpiで出力するモードです。

スケーラブルフォント

文字を外郭の曲線や直線を数式で記録し、数値を変えることで文字を拡大・縮小したり変形できるタイプのフォントです。輪郭線で文字を表すため、拡大しても曲線部分がギザギザになりません。本プリンタでは、明朝体と角ゴシック体、ラインプリンタボールド、およびCourier、Dutch、Swiss、Symbolなどの欧文書体のスケーラブルフォントが使えます。

セントロニクス

パソコンと周辺機器を接続するパラレルインタフェースの代表的な規格です。パソコンで扱っている16ビットや32ビットのデータを、8本の線を使い、8ビットずつ同時に伝送します。シリアルインタフェースに比べて高速なデータ伝送が可能ですが、ケーブル長の限界が3m程度に制限されます。現在では、ほとんどのパソコンでプリンタケーブルの規格として採用されています。
本プリンタでは、接続しているパソコンからプリンタの設定や状態の管理ができる、IEEE1284対応の双方向通信が可能な方式を採用しています。
（→パラレルインタフェース）
（→第2章「パソコンと接続する」**P.42**）

動作モード

本プリンタ が動作している状態をいいます。本書では、どのコントロールコマンドに対応できる状態になっているかで、LIPSモードやN201エミュレーションモード、ESC/Pエミュレーションモードなどと呼びます。本プリンタは、標準でLIPSモード、N201エミュレーションモード、ESC/Pエミュレーションモードの3つの動作モードを自動切り替えで使用することができます。
（→第3章「動作モードについて」**P.74**）
（→エミュレーションモード）

パラレルインタフェース

パソコンと周辺機器との間のデータ伝送方式（インタフェース）のひとつです。
パソコンで扱っている16ビットや32ビットのデータを、複数の線を使って数ビットずつまとめて（パラレルで）伝送します。データをまとめて送るため高速伝送が可能ですが、ケーブルの線数を多く必要とし、線間の干渉などによる信号ロスも多いため、ケーブルの長さに制限があります。
（→USBコネクタ、セントロニクス）
（→第2章「パソコンと接続する」**P.42**）

ビットマップフォント

１つの文字を点の集合で表したフォントのことです。ビットマップフォントは拡大率（文字サイズ）に応じてパターンが必要で、拡大率に制限があります。グラフィックセット、文字ピッチ、文字サイズ、文字スタイル、文字太さ、書体（これらを属性と呼ぶ）の組み合わせ方によっていろいろなフォントになります。

描画メモリ

スーパーファイン（1200dpi）やファインモード（600dpi）、両面プリント時に確保する描画用のメモリ容量です。印字動作を「画質優先」に設定すると、システムワークメモリや受信バッファ用のメモリを自動調整し、入力データに依存せずに600dpiの処理が可能になります。また、スーパーファインやファインモード、両面プリント可能な用紙サイズは、取り付けられている拡張RAMやフォームキャッシュメモリの設定で変わります。
（→LIPS機能ガイド）
（→拡張RAM、受信バッファ、システムワークメモリ、フォームキャッシュメモリ）

ファインモード

画像データや写真イメージデータを高品位なデータ処理解像度600dpiで出力するモードです。

フォームキャッシュメモリ

オーバレイに使用するフォーム画像を保持するためのメモリ領域です。
（→オーバレイ、拡張RAM、描画メモリ、受信バッファ、システムワークメモリ）

フォント

印字する文字や数字やシンボルの集合のことをフォントと呼びます。1つのフォントでは文字やシンボルは同じデザインとなっていますが、フォントごとに文字のデザインが異なり、このデザインのことを書体と呼びます。和文フォントには明朝体やゴシック体、欧文フォントにはDutch、Courierなどの種類があります。また、文字を表すデータの違いでビットマップフォントとスケーラブルフォントがあります。
本プリンタは、明朝体と角ゴシック体、ラインプリンタボールド、Courier、Dutch、Swiss、Symbolのスケーラブルフォントを標準で内蔵しています。
（→ビットマップフォント、スケーラブルフォント）

フラッシュメモリ

オプションのフォントやオーバレイなどをダウンロードするためのオプションメモリです。
(→付録「オプションについて」**P.185**)
(→オプション ROM)

プリンタドライバ

アプリケーションソフトで作成したデータをプリンタが受け付けるデータに変換するためのソフトウェアです。通常、アプリケーションソフトにプリンタの種類毎にファイルで用意され、接続したプリンタに合わせてアプリケーションソフトに組込んで使用します。お使いのプリンタに対応したプリンタドライバがないと、アプリケーションソフトから正しくプリントできません。本プリンタには、Windows用とMacintosh用のプリンタドライバ（LIPS IV）が付属しており、単にデータの変換だけでなく、プリンタの各種機能の設定ができます。
(→ LIPS ソフトウェアガイド)

メニュー機能

本プリンタ の動作モードや各種機能を設定するための機能です。操作パネルのキーやユーティリティソフト「NetSpot」から設定できます。
(→ LIPS ソフトウェアガイド、LIPS 機能ガイド)

優先動作モード

動作モードの自動切り替え時に、受信したデータの解析ができなかったときに優先的に選択される動作モードです。本プリンタの工場出荷時の設定はN201エミュレーションモードになっています。LIPS、または ESC/P エミュレーションモードに変更できます。(→動作モード)

索引

英数字

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

付録

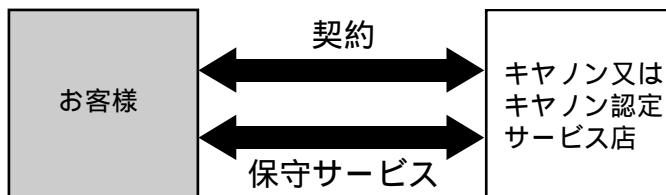
付録

保守契約制度のご案内

ご購入製品をいつまでもベストの状態で
ご使用いただくために

このたびはキヤノン事務機をご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくキヤノン製品の無償修理保証期間経過後の保守サービスとして「キヤノン保守契約制度」を用意しています。当制度はキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持・管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ便利でお得な当制度に是非ともご加入いただき、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

■キヤノン保守契約制度とは

ご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）

精密機器だからこそ保守契約が必要です

ご購入いただきました機械は精密機器です。この機械は大切な情報の計算、記録、保管、伝達等の目的でご購入いただいております。万一にでも、思いがけないトラブルが発生した場合、お仕事の上に時間的なロス等の不便が生じます。そこでトラブルが起こってからではなく、トラブルを未然に防ぐために日頃の専門的な「手入れ」が必要になります。この「手入れ」をキヤノンでは保守契約制度で完全に実施いたします。また、万一のトラブルにも「サービスエンジニア」が修理にあたる万全の体制を備えています。

保守契約制度は、キヤノン製品を安心してお使いいただくために設けたお客様のための制度です。

キヤノンの保守契約制度にご加入いただきますと、ただちに「お客様用カルテ」を作成し、コンピュータに登録を行い、ご愛用品の「健康管理」を開始いたします。

■キヤノン保守契約制度の内容およびメリット

内　容	メリット
●定期点検の実施 キヤノン認定のサービスエンジニアが定期的に機械の保守点検を実施します。 （製品により定期点検回数が異なります。また、一部定期点検を設けていない製品もあります。）	トラブルの発生を未然に防止することで、製品の信頼性を高め、更に製品の寿命も伸びます。
●優先サービス 万一トラブルが発生した場合には、最優先のサービスが受けられます。	トラブル時の業務停止時間を最小限に押さえます。
●保守契約料金は一定 保守契約料金は契約時に定額を支払うだけです。	サービス費用の予算がたてやすく、また事務の簡素化が計れます。
●修理料金は無料 保守契約料金には定期点検と偶発的に発生したトラブル時の訪問料金、部品代、技術料等いっさいを含んでおります。	契約期間中に発生したトラブルは、その内容や回数にかかわらず無料です。 （但し、機種により一部特定部品は有償。天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。）
●スポット料金より割安 トラブルの内容により保守契約料金より１回のスポット料金の方が高い場合もあります。	スポット料金より年間維持経費は大巾に割安になります。

■購入時契約のおすすめ

ご愛用品は原則として保守契約に加入してご使用願うことになっております。また、ご購入時に加入いただきますと、手続きなどの手間は一度ですみ便利です。

キヤノン保守契約に関するお申し込み、お問い合わせはお買い上げの販売店もしくはキヤノン販売（株）までお願いいたします。

商標について

Canon、Canon ロゴ、Flash Buddy、LBP、LIPS、NetSpot は、キヤノン株式会社の商標です。
FontComposer、FontGallery、LASER SHOT、MaxiMem、TypeWing は、キヤノン株式会社の登録商標です。
Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標または商標です。
Apple、EtherTalk、Macintosh、TrueType は、米国 Apple Computer, Inc. の登録商標または商標です。
AT、IBM、PowerPC、PS/55 シリーズ、PS/V シリーズは、米国 International Business Machines Corporation の登録商標または商標です。
NetWare、Novell は、米国 Novell, Inc. の登録商標です。
HP、HP-GL は、米国 Hewlett-Packard Company の米国の商標です。
Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。
NetHawk、NetHawk SP-LS III は新潟キヤノテック株式会社の商標です。
N5200 シリーズ、PC-9800 シリーズ、PC-PR201/80A は、日本電気株式会社の商品名です。
ESC/P、ESC/P-J84 は、セイコーエプソン株式会社の商標です。
Unix は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国および他の国における登録商標です。
FM-R シリーズは、富士通株式会社の商品名です。

下記の書体は米国ビットストリーム社よりライセンスを受けています。
Dutch 801 Bold, Dutch 801 Bold Italic, Dutch 801 Italic, Dutch 801 Roman, Swiss 721, Swiss 721 Bold, Swiss 721 Bold Oblique, Swiss 721 Oblique, Symbol

Century 702 Century Schoolbook, Century 702 Century Schoolbook Bold, Century 702 Century Schoolbook Bold Italic, Century 702 Century Schoolbook Italic, Chancery 801 ITC Zapf Chancery Medium Italic, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Book, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Book Oblique, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Demi, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique, ITC Zapf Dingbats, Revival 711 ITC Bookman Demi, Revival 711 ITC Bookman Demi Italic, Revival 711 ITC Bookman Light, Revival 711 ITC Bookman Light Italic, Swiss 721 Narrow, Swiss 721 Narrow Bold, Swiss 721 Narrow Bold Oblique, Swiss 721 Narrow Oblique, Zapf Calligraphic 801, Zapf Calligraphic 801 Bold, Zapf Calligraphic 801 Bold Italic, Zapf Calligraphic 801 Italic, Zapf Humanist 601, Zapf Humanist 601 Bold, Zapf Humanist 601 Italic

下記の書体名は米国ビットストリーム社の商標です。
Dutch 801, Swiss 721
下記の書体名は米国インターナショナルタイプフェイス社の商標です。
ITC Avant Garde Gothic, ITC Bookman, ITC Zapf Chancery, ITC Zapf Dingbats

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
本プリンタで使用している明朝体、ゴシック体のフォントは、それぞれ平成明朝体™W3、平成角ゴシック体™W5 を使用しています。これらのフォントは（財）日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

Canon

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報及びソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容についてご了解いただいたものとさせていただきます。

■ 情報の入手方法

インターネット、ＦＡＸ情報サービス、パソコン通信を利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

❑ キヤノン販売ホームページ（http://www.canon-sales.co.jp/）

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

❑ キヤノンFAX情報サービス

札幌（011）728-0485　秋田（018）826-0441　仙台（022）211-5730　東京（03）3455-5962
名古屋（052）936-0758　大阪（06）4795-9011　広島（082）240-6729　高松（087）826-1621
福岡（092）411-9510

音声メッセージにしたがって操作をしてください。
ダイヤル回線をご利用の場合は、トーン切り換えを行ってください。
情報BOX番号は「各種ドライバ入手方法 ご案内：10001」「ドライバ郵送サービス一覧：11001」となります。

❑ @niftyキヤノンステーション（http://www.nifty.com）

@niftyアクセス後、キヤノンステーションへのGOコマンド「SCANON」を入力してください。「電子会議」の「【プリンタ LASER SHOT】インフォメーション」内に掲載されています。
※キヤノンステーションは会員制のスクエアです。@niftyで予め入会の手続きをお取りください。

■ ソフトウェアの入手方法

ダウンロードサービスおよび郵送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

❑ キヤノン販売ホームページ（http://www.canon-sales.co.jp/）

キヤノン販売ホームページにアクセス後、ダウンロードサービスをクリックしてください。

❑ @niftyキヤノンステーション（http://www.nifty.com）

@niftyアクセス後、キヤノンステーションへのGOコマンド「SCANON」を入力してください。「データライブラリ」の「【LASER SHOT】ドライバ・ライブラリ」にプリンタドライバが登録されています。
※キヤノンステーションは会員制のスクエアです。@niftyで予め入会の手続きをお取りください。

❑ CD-ROM・FDの郵送サービス

郵送サービス手数料を郵便振替にてお払い込みいただき、プリンタドライバなどのソフトウェアのＣＤ-ＲＯＭもしくはＦＤを郵送にてお届けいたします。お申し込み方法、ソフトウェアの種類、内容、金額はＦＡＸ情報サービス、キヤノン販売ホームページ（ＦＡＱ）などでご確認いただき、下記振込先へお払い込みください。

口座番号：00160-1-51418
口座名称：セザックス株式会社キヤノンプリンタドライバ係

- 「通信欄」には必ず「メディア名称・品番」をご記入ください。
- 「払込住所氏名欄」の記載住所へ発送いたします。なお、当サービスの対象エリアは日本国内とさせていただきます。
- お客様のお電話番号は必ずご記入ください。
- お払い込みには郵便局備え付けの払込書をご利用ください。払込料金はお客様負担となります。
- ソフトウェアの種類により、CD-ROM/FDのメディアが異なります。

お客様ご相談窓口について

LASER SHOT LBP-1610の取り扱い方法、消耗品などのお問い合わせ、および修理サービスについてのご相談は、お買い上げの販売店または下記の窓口にご相談ください。

■ 製品取り扱い方法ご相談窓口

技術的なご質問・お取り扱い方法については、下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター　全国共通電話番号　　キヤノンお客様サポートネット

TEL 0570-01-9000 <該当番号：42>*1

全国64ヶ所の最寄りのサービス拠点までの通話料金のみで製品に関するご質問に電話でお答えします。
なお、携帯電話等をご使用の場合は、（043）211-9627をご利用ください。

上記窓口の受付時間*2は以下のとおりです。
月曜～金曜（祝日を除く）：9:00～12:00、13:00～18:00、19:00～21:00
土、日、祝日（1/1～1/3は休み）：10:00～12:00、13:00～17:00

*1 該当番号は予告なく変更することがあります。音声メッセージに従って該当番号を選択してください。
*2 受付時間は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

■ 消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、上記**お客様相談センター**までご相談ください。

■ 修理サービスのご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。ご不明な場合は、上記**お客様相談センター**までご相談ください。